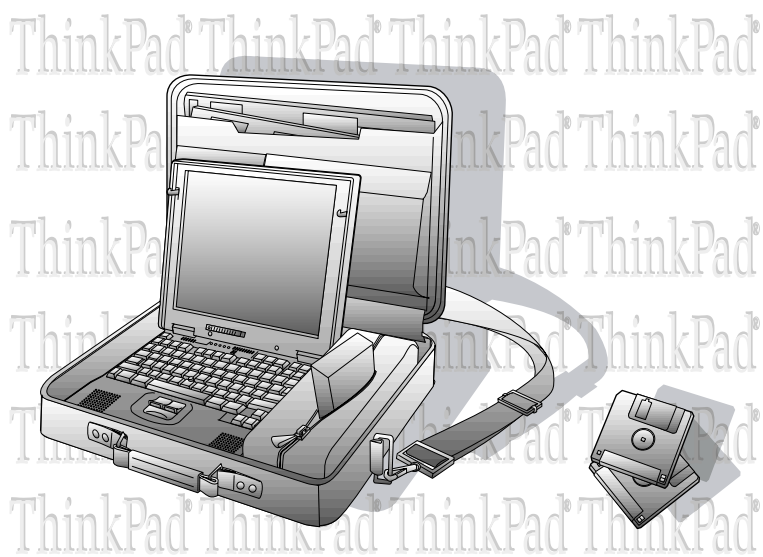




IBM ThinkPad 600X ユーザーズ・リファレンス

このたびは **IBM® ThinkPad® 600X** を お買い上げいただきありがとうございます。

この ThinkPad は、
お客様の技術的要件と高い信頼にお応えできるよう開発されました。
モバイル・コンピューターのニーズにしっかりと取り組んだ製品を
今後も作り続けるため、
IBM にお客様登録をしていただくようお願いいたします。



機能の特長

高度なテクノロジーを集積したコンパクト設計

薄型、軽量で持ち運びに適した ThinkPad 600X は、コンピューターを携帯しての出張や旅行に最適です。いつでもどこでも必要なときに ThinkPad をお使いいただけます。

高速プロセッサ

Intel® 高速プロセッサ搭載により、高速データ処理が可能になり、パフォーマンスが向上しました。

大容量のハードディスク・ドライブ

大容量のハードディスク・ドライブが、お客様のさまざまなビジネス・ニーズにお応えします。

大型カラー液晶ディスプレイ (LCD)

大型の TFT (Thin-Film Transistor) ディスプレイは、鮮明でクリアな文字とグラフィックスを表示できます。

リチウム・イオン・バッテリー・パック

大容量のリチウム・イオン・バッテリー・パックによって、ThinkPad を長時間携帯して使用できます。

3D ステレオ・サウンド搭載のオーディオ機能

ThinkPad にはオーディオ録音および再生機能が内蔵されており、再生機能では 2 つのスピーカーから 3D (3 次元) オーディオをお楽しみいただけます。3D ステレオ機能を使用可能にすると、2 つのスピーカーからのサウンドが立体的に生成されます。

オーディオ機能は、次のものをサポートします。

- 最大 16 ビット、ステレオ、44 kHz サンプリングによるウェーブ・オーディオ録音および再生
- Sound Blaster インターフェースを使った DOS 用のゲーム。

オーディオ機能の使用法 ➡ [オンライン・ユーザーズ・ガイド](#)

Mini PCI モデム

電話回線を介して、内蔵モデムによりデータおよびファックスの送受信が可能です。モデムは、V.90 プロトコルと、最大 56 Kbps のデータ送信速度をサポートすることにより、会社の外からでも簡単に効率のよい通信が可能です。

モデム機能の使用方法 → [オンライン・ユーザズ・ガイド](#)

拡張制御機能付きのトラックポイント®

ThinkPad には、トラックポイントを押すだけで選択操作のできる拡張トラックポイント機能が付いています。トラックポイントの真ん中に取り付けられたセンター・ボタンによって、トラックポイントが、スクロール制御デバイスや拡大鏡に変わります。

トラックポイントの使用方法 → [9ページの『トラックポイント』](#)

PC カード・サポート

ThinkPad には 16 ビット PC カード、CardBus カード、および ZV (Zoomed Video) カードを取り付けられる、PC カード用スロットを 2 つ装備しています。

PC カードの取り付け方法 → [76ページの『PC カードの取り付け』](#)

| | |
|-------------------------------|------|
| 機能の特長 | iv |
| 本書について | xi |
| 安全に正しくお使いいただくために | xiii |
| 絵表示について | xiii |
| 危険/注意ラベルの表示について | xiii |
| レーザーに関する承諾事項 | xvii |
| ThinkPad の取り扱いについて | xix |
| 避けていただきたいこと | xix |
| 行っていただきたいこと | xxi |
| ThinkPad のお手入れ | xxi |
| ThinkPad の持ち運び | xxii |
| バッテリーの寿命を長もちさせるには | xxii |
| | |
| 第1章 ご使用の ThinkPad について | 1 |
| 各部の機能と名称 | 2 |
| システム状況インジケータ | 6 |
| 各部の機能と名称 | 9 |
| キーボードの機能 | 9 |
| 数値キーパッド | 15 |
| ウルトラスリムベイ | 16 |
| ThinkPad ユーティリティ・プログラム | 17 |
| オンライン・ユーズ・ガイド | 31 |
| ソフトウェア環境の回復 | 32 |
| 削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復 | 32 |
| ConfigSafe | 36 |
| ThinkPad の最新情報 | 37 |
| バッテリー・パックの交換 | 38 |
| サービス体制 | 40 |
| Web サイトでのヘルプ | 40 |
| 記録用紙 | 41 |
| | |
| 第2章 ThinkPad の機能拡張法 | 43 |

| | |
|---------------------------------------|-----------|
| トラックポイントのカスタマイズ | 45 |
| メモリーの増設 | 49 |
| DIMM の取り付け | 50 |
| DIMM の取り外し方法 | 54 |
| ハードディスク・ドライブのアップグレード | 56 |
| マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続 | 60 |
| マウスまたは数値キーパッドの接続 | 60 |
| 外付けキーボードとマウスの接続 | 62 |
| トラックポイント機能 | 64 |
| 外付けディスプレイの接続 | 65 |
| ThinkPad へのテレビの接続 | 69 |
| デュアル・ディスプレイ機能の使用 | 72 |
| PC カードの取り付け | 76 |
| PC カードの取り外し | 79 |
| 拡張ユニットの使用 | 80 |
| コールド・ドッキング | 81 |
| コールド・アンドドッキング | 84 |
| ホット・ドッキングおよびウォーム・ドッキング | 84 |
| ホット・アンドドッキングとウォーム・アンドドッキング | 84 |
| リソースの競合を避けるためのデバイスの事前設定 | 86 |
| 拡張ユニットの IDE ドライブの使用 | 87 |
| ウルトラスリムベイ・デバイスの交換 | 91 |
| ウルトラスリムベイのデバイスのウォーム・スワップ | 92 |
| ディスク・ドライブの外付け接続 | 94 |
| 外付けディスク・ドライブ取り付けキットからディスク・ドライブを取り外すには | 96 |
| 第3章 パスワードと盗難の予防 | 97 |
| パスワードの使用 | 98 |
| パスワードの入力 | 100 |
| パスワードの設定 | 100 |
| パスワードの変更または消去 | 103 |
| パーソナライゼーション・エディターの使用 | 109 |
| パーソナル・データの入力 | 109 |
| パーソナル・データの削除 | 112 |
| ロック機能の使用 | 113 |
| セキュリティーねじの使用 | 114 |

| | |
|-----------------------------|-----|
| 第4章 問題が起きたら... | 115 |
| ヒント | 117 |
| 拡張ユニットの使用 | 119 |
| 汎用シリアル・バス (USB) コネクタの使用 | 119 |
| DVD-ROM ドライブの使用 | 120 |
| PC カードの使用 | 120 |
| 2 枚目の CardBus カードの使用 | 121 |
| マイクロホンの使用 | 121 |
| 問題判別ガイド | 122 |
| 問題判別表 | 123 |
| エラー・コードまたは画面上のメッセージ | 125 |
| エラー・コードや画面上のメッセージで表示されない問題 | 132 |
| 入力装置の問題 | 132 |
| サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題 | 134 |
| LCD の問題 | 138 |
| インジケータの問題 | 139 |
| バッテリーの問題 | 140 |
| ハードディスク・ドライブの問題 | 141 |
| CD-ROM ドライブの問題 | 141 |
| DVD-ROM ドライブの問題 | 143 |
| 赤外線通信の問題 | 145 |
| オーディオまたは電話機能の問題 | 146 |
| 汎用シリアル・バス (USB) の問題 | 149 |
| PC カードまたは PCI モデムの問題 | 149 |
| その他の PC カードの問題 | 151 |
| 拡張ユニットまたはポート・リプリケータの問題 | 154 |
| プリンタの問題 | 158 |
| 外付けディスプレイの問題 | 158 |
| テレビの問題 | 162 |
| その他のオプションの問題 | 163 |
| ソフトウェアの問題 | 165 |
| その他の問題 | 165 |
| 付録A. 製品仕様 | 167 |
| 機能 | 167 |
| 仕様 | 169 |
| IBM 電源コード | 170 |

| | |
|-----------------------------|-----|
| 付録B. 特記事項 | 173 |
| 西暦 2000 年対応および説明 | 173 |
| 商標 | 174 |
| Electronic emission notices | 176 |
| Telecommunication notice | 178 |
| 製品の注記要件 | 181 |
| オーストラリアで使用する時の注意 | 181 |
| 索引 | 183 |

本書について

本書には、IBM ThinkPad 600X を操作する上で役立つ情報が記載されています。ThinkPad を実際にお使いになる前に、*ThinkPad セットアップ・ガイド*と本書の第 1 章を必ずお読みください。

『第 1 章 ご使用の ThinkPad について』
では、ThinkPad の基本機能を紹介します。



『第 2 章 ThinkPad の機能拡張法』
では、オプションの取り付け方法
および ThinkPad の各種機能の使用法に
ついて説明します。

『第 3 章 パスワードと盗難の予防』
では、パスワード、パーソナライゼーション・
エディター、およびロック機能の使用法に
ついて説明します。

『第 4 章 問題が起こったら...』では、問題が起こった場合の対処方法について説明します。
この章には、問題判別ガイドが含まれます。

『付録 A 製品仕様』では、ThinkPad に関する機能と仕様について説明します。また、電源コードについての情報も記載してあります。

『付録 B 特記事項』には、ThinkPad に関する保証内容と本書に関する特記事項が記載してあります。

また、本書の最後には『索引』が付いています。

本書で使用されているアイコン

次は、ThinkPad で使用する各オペレーティング・システムに固有の手順や説明を表すためのものです。



Microsoft® Windows® 98 に関する情報



Microsoft Windows NT に関する情報



Microsoft Windows 95 に関する情報





Windows 3.1, OS/2 Warp、および DOS の使用方法に関する情報 → <http://www.ibm.com/jp/pccsvc/thinkpad.html>

安全に正しくお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくご使用いただくための安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

本製品を正しくご使用いただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示については、以下の絵を表示しています。

| | |
|---|---|
|  危険 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

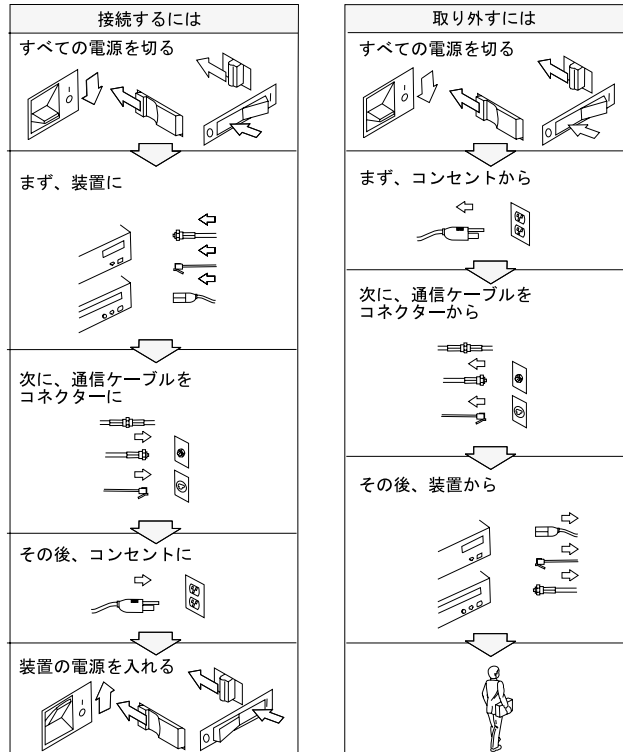
危険/注意ラベルの表示について

この製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全上に関しての、危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

この取扱説明書に記述されている内容以外に、危険または注意ラベルによる表示がある場合は (たとえば製品上)、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

⚠ 危険

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、コンピューターまたは接続装置を設置または移動するとき、またはカバーを開ける際には、下記の手順でケーブルの接続および取り外しを行ってください。3 ピンの電源コードを使用する場合は、必ずアース付きのコンセントをご使用ください。



⚠ 危険

安全については、基本的な注意のほか、次の事項に常に注意して、火災および感電の危険を削減してください。

- **ThinkPad** を水中または水のそばで使用しないでください。
- 雷雨のときには、
 - **ThinkPad** を電話線に接続しないでください。
 - 電話の壁ソケットに電話線を接続したり、取り外したりしないでください。

⚠ 危険

充電式のバッテリー・パックを間違った方法で交換すると、爆発する危険があります。バッテリー・パックには、少量の有害物質が含まれています。ケガをしないように、次のことに注意してください。

- バッテリーを交換するときは、**IBM** 推奨品または相当品をご使用ください。
- バッテリー・パックを火気に近づけないでください。
- バッテリー・パックを水や雨に露出しないでください。
- バッテリー・パックを分解しないでください。
- バッテリー・パックをショートさせないでください。
- バッテリー・パックを幼児の手の届くところに置かないでください。

バッテリー・パックをごみ廃棄場で処分されるゴミと一緒に捨てないでください。バッテリーを処分するときは、地方自治体の条例または規定、および会社の安全標準に従ってください。

⚠ 危険

バックアップ・バッテリーを間違った方法で交換すると、爆発する危険があります。

リチウム・バッテリー (**IBM P/N 02K6502 UL-認定済みコンポーネント [file no. MH12210]**) は、リチウムを含んでいるので、取り扱い方法や処分方法を間違えると爆発の危険があります。

交換するときは、同じタイプのバッテリーと交換してください。

ケガや死亡事故を防ぐために次のことに注意してください。 **(1)** バッテリーを水中に投げたり、浸したりしないでください。 **(2)** バッテリーを **100°C** 以上にしないでください。 **(3)** 修理や分解をしないでください。バッテリーを処分するときは、地方自治体の条例または規定、および会社の安全標準に従ってください。

⚠ 注意

液晶ディスプレイ (**LCD**) 内の蛍光灯の中には水銀が含まれています。液晶ディスプレイをゴミ廃棄場で処分されるゴミと一緒に捨てないでください。 **LCD** の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

LCD はガラス製なので、**ThinkPad** を乱暴に扱ったり落としたりすると壊れることがあります。 **LCD** が壊れて内部の液体が目に入ったり、手についたりした場合は、すぐに水で **15** 分以上洗ってください。その後、何らかの症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

火災の危険を削減するため、電話線は **No. 26 AWG** 以上 (太い線) をご使用ください。

レーザーに関する承諾事項

IBM ThinkPad 600X に搭載されている CD-ROM または DVD ドライブには、レーザーが使用されています。次のようなドライブの分類ラベルが、ドライブの表面にはってあります。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1
LUOKAN 1 LASERLAITE
APPAREIL A LASER DE CLASSE 1
KLASS 1 LASER APPARAT

この CD-ROM ドライブは、米国では分類 I のレーザー製品に対する連邦規定 (DHHS 21 CFR) 副章 J の厚生省規約 21 の要件に準拠していると認定されています。

その他の国では、このドライブは EN60825 の要件に準拠していると認定されています。


危険

CD-ROM または **DVD** ドライブを分解しないでください。**CD-ROM** 内部にはお客様による調節や保守の必要な部品はありません。

本書で指定された内容以外のお客さまによる整備、調整、または手順を行った場合は、レーザーの放射および露出の危険があります。

Class 1 のレーザー製品は危険物と見なされていません。このレーザー・システムおよび CD-ROM または DVD-ROM ドライブの設計は、通常の操作や保守などの作業では、Class 1 レベルを超えるレーザー放射は起こらないことを保証しています。

ドライブには、Class 3A のレーザー・ダイオードを内蔵しているものがあります。次の警告に注意してください。

 **危険**

開放すると、可視または不可視のレーザーを放射します。レーザーを直視しないようにしてください。光線を見つめたり、光学機器を通して光線を直視しないでください。

ThinkPad の取り扱いについて

適切に使用し、ここに記載されている注意に従えば、ご使用の ThinkPad を長期間快適にご活用いただけます。

ここでは、ノート型パソコンの一般的な取り扱い上の注意を紹介します。お客様のご使用条件により、説明の内容が適用できない場合があります。付属品のチェックリストを使用して、ThinkPad の付属品を確認してください。

ノート型パソコンは、取り扱いに注意を要する精密機械です。ThinkPad は、耐久性のあるノート型パソコンとして、通常の使用環境で正常に機能するように設計され、テストされていますが、取り扱いには多少の注意が必要です。

避けていただきたいこと

- ThinkPad を落としたり、ぶつけるなど、物理的な衝撃を与えないでください。
- ThinkPad の上に重いものを置かないでください。
- ThinkPad の上に液体をこぼさないでください。
- ThinkPad を水中または水の近くで使用しないでください。
- ThinkPad をスーツケースやバックの中につく詰め込まないでください。LCD が壊れることがあります。

カバーを外から強く押し付けると、キーボード (またはトラックポイント・スティック) が LCD にあたって、LCD に引っかき傷のような跡が残ることがあります。そのような傷ができたなら、柔らかな乾いた布で軽くふいてください。傷が消えないときは、布を市販の LCD クリーナーで湿らせて、傷をもう一度ふきとってください。カバーを閉じる前に、LCD を必ず乾燥させてください。

- ThinkPad を分解しないでください。ThinkPad の分解や修理は、専門の修理サービス技術者に任せてください。
- ThinkPad の LCD の表面を引っかいたり、曲げたり、たいたたり、押しついたりしないでください。
- LCD とキーボードのあいだ、およびキーボードの下には、なにも置かないでください。
- LCD の部分を持って、ThinkPad を持ち上げないでください。LCD を開いた状態で ThinkPad を持ち上げるときは、底 (キーボード) を持ってください。

- LCD を開いた状態、または閉じた状態にしておくために、ラッチを改造したり、ラッチにテープを貼ったりしないでください。
- AC アダプターが接続されているときに、ThinkPad を裏返さないでください。アダプターのプラグが損傷する可能性があります。
- ハードディスクがデータにアクセスしているときに (インジケーター点滅中)、ThinkPad を動かさないでください。
- 気温が 5° C 以下、または 35° C 以上の場所で、ThinkPad を使用または保管しないでください。
- モーター、電磁石、テレビ、冷蔵庫、または大型スピーカーなど、強い電磁波を発生する電気機器から 13 cm 以内には ThinkPad を置かないでください。
- ThinkPad の上に、使用中の携帯電話を置かないでください。電話機の影響で、コンピューター・システムが誤動作することがあります。
- 自動車の内部やその他の激しく振動する場所に、ThinkPad を常置しないでください。
- 外付けまたは着脱式ハードディスク、ディスケット・ドライブ、および CD-ROM ドライブを ThinkPad からはずしているときに、これらを押したり、落としたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- ディスケット・ドライブや CD-ROM ドライブの中央部分を押さないでください。
- ディスケットをディスケット・ドライブに斜めに入れしないでください。ディスクをまっすぐに入れないと、ドライブが損傷する恐れがあります。
- ディスケットに複数のラベルを重ねて貼らないでください。ラベルはしっかりと貼ってください。複数のラベルを貼ったり、ラベルがしっかりと貼られていないと、ドライブ内ではがれたり、破れたりして、引っ掛かることがあります。
- CD-ROM トレイのレンズには触らないでください。
- CD-ROM が CD-ROM ドライブの中心軸にカチッと合はまる音がするまでは、CD-ROM トレイを閉じないでください。
- コンパクト・ディスクの表面は触らないでください。コンパクト・ディスクは、ディスクの端を持ってください。
- モデムは、PBX (構内交換機) やその他の内線デジタル電話回線に接続しないでください。ThinkPad を接続できるのは、公衆交換回線網 (PSTN) だけです。PSTN 以外の電話回線を使用すると、モデムが壊れることがあります。ご使用の回線の種類がわからないときは、電話設備の管理者に問い合わせてください。ホテルやオフィスビルなどの多くでは、内線デジタル電話回線が使用されています。そのような場所では、電話ケーブルを接続する前に確認してください。

- ThinkPad の操作中、またはバッテリーの充電中に、長時間に渡って ThinkPad をひざや身体の一部に接触したままにしないでください。ThinkPad は、通常の操作中に熱を発生します。この熱は、システムの活動レベルやバッテリーの充電レベルにより変化します。衣服を着ている場合でも、身体に長時間接触していると、不快感を感じたり、やけどになることがあります。

行っていただきたいこと

ThinkPad は、精密電子機械として扱ってください。

- ハードディスク、ディスケット・ドライブ、または CD-ROM ドライブを取り付けるときは、オンライン・ユーザズ・ガイドの指示にしたがって、装置に表示された位置以外は押さないようにしてください。
- ウルトラスリムベイに CD-ROM ドライブやディスケット・ドライブを取り付けるときは、ThinkPad から AC アダプターを取り外してください。
- ThinkPad のドライブを交換するときは、プラスチックのベゼル・フェース (付属している場合) を取り付け直してください。
- 外付けまたは着脱式ハードディスク、ディスケット・ドライブ、および CD-ROM ドライブは、使用しないときは、適切な容器や箱の中に保管しておいてください。
- キャリング・ケースは、ThinkPad 保護のために高品質のものを選んでください。
- ビニール袋などの梱包材料は、幼児が窒息事故などを起こさないように、幼児の手の届かない安全な場所に保管してください。
- IBM にお客様登録をしてください (詳しくは付属の「IBM サービスのご案内」をお読みください)。登録していただいたお客様には、IBM からさまざまなお知らせをさせていただく場合があります。
- 定期的に IBM の Web ページ (<http://www.ibm.com/jp/pccsvc/thinkpad.html>) を見て、ThinkPad の最新情報を入手してください。

ThinkPad のお手入れ

ThinkPad をときどき次の方法で清掃してください。

- 中性洗剤を含ませた柔らかい布で、ThinkPad の外側をふいてください。
- LCD やキーボードには、クリーナーを直接吹きかけないでください。
- LCD は、柔らかい乾いた布でふいてください。

ThinkPad の持ち運び

ThinkPad を持ち運ぶときは、ThinkPad やデータを損傷しないように、次の指示にしたがってください。

1. CD-ROM ドライブやディスク・ドライブからメディアを取り出して
ください。
2. 接続しているすべての装置の電源をオフにしてください。
3. ThinkPad の電源をオフにするか、サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードにして、LCD を閉じてください。サスペンド・モードにしたときは、サスペンド・インジケータが点灯していること、電源をオフにしたときやハイバネーション・モードにしたときは、電源インジケータがオフになっていることを確認してください。
4. ThinkPad に外付けで接続されているケーブルやコード類をすべて抜いて
ください。
5. ThinkPad の開閉個所やカバーがすべて閉じていることを確認してくだ
さい。
6. 十分なクッションと保護の役目をするキャリング・ケースを使用してくだ
さい。

ハードディスクがデータにアクセスしているときに (インジケータ点滅中)、ThinkPad を動かさないでください。ThinkPad を移動する前に、インジケータがオフになっていることを確かめてください。

バッテリーの寿命を長もちさせるには

ThinkPad のバッテリー電力の消費量は、使用頻度、操作温度、および保管期間 (使用しなかった場合) などの条件により異なります。バッテリーの寿命を延長するためのヒントを次に示します。

- すべての電力を使いきってからバッテリー・パックを充電します。完全に放電されていないバッテリー・パックを再充電すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- バッテリー・パックの充電を始めたら、完全に充電しきるまで使用しないでください。
- ThinkPad のバッテリー省電力モードをできるだけ使用してください。
 - スタンバイ
 - サスペンド
 - ハイバネーション

詳細情報 ➡ [オンライン・ユーザズ・ガイド](#)

- LCD の輝度を抑えてください。

- アドバンスド・パワー・マネージメント (APM) を使用してください。オペレーティング・システムには、それぞれ独自の電力管理機能があります。
- 内蔵シリアル装置 (モデム、シリアル・ポート、赤外線ポート) を使用しないときは、これらの装置への電力供給をオフにしてください。
- ThinkPad を長期間使用しないときは、バッテリー・パックを取り外して、温度の低い場所に保管してください。



第1章

ご使用の ThinkPad について



本章では、ThinkPad の基本的な情報について説明します。

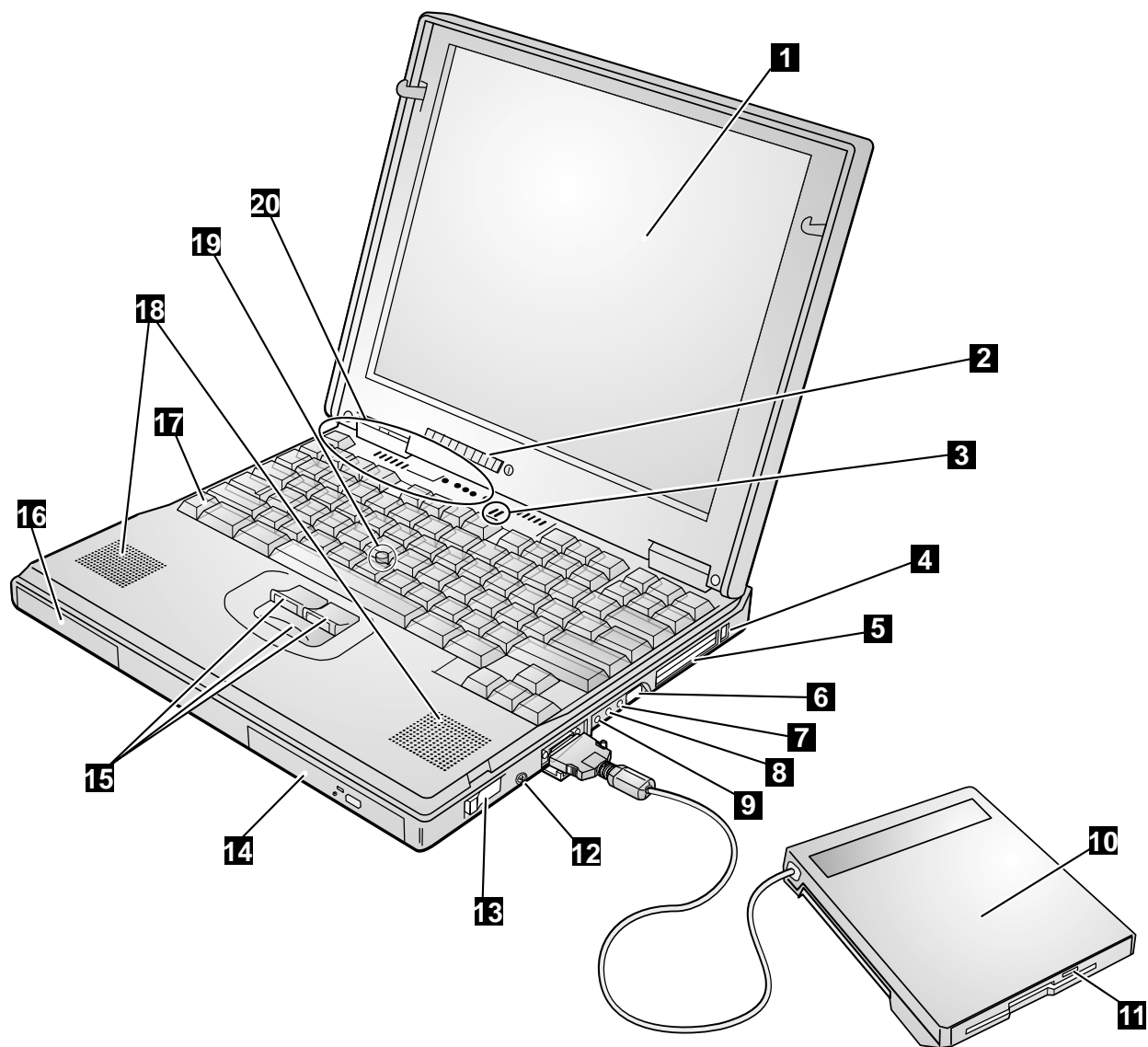
注

ThinkPad の電源をオフにするには、電源スイッチを 1 秒間だけ押してから離します。再度電源を入れる場合は、5 秒以上待ってから行ってください。また、ThinkPad をサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードにした場合も、5 秒以上待ってから通常の操作状態に戻してください。

| | |
|-----------------------------|----|
| 各部の機能と名称 | 2 |
| システム状況インジケータ | 6 |
| 各部の機能と名称 | 9 |
| キーボードの機能 | 9 |
| トラックポイント | 9 |
| Fn キー | 12 |
| 数値キーパッド | 15 |
| ウルトラスリムベイ | 16 |
| ThinkPad ユーティリティ・プログラム | 17 |
| Easy-Setup | 17 |
| 「ThinkPad 機能設定」プログラム | 27 |
| オンライン・ユーザズ・ガイド | 31 |
| ソフトウェア環境の回復 | 32 |
| 削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復 | 32 |
| ソフトウェア・セレクション CD の使用 | 32 |
| リカバリー CD の使用 | 34 |
| ConfigSafe | 36 |
| ThinkPad の最新情報 | 37 |
| バッテリー・パックの交換 | 38 |
| サービス体制 | 40 |
| Web サイトでのヘルプ | 40 |
| 記録用紙 | 41 |

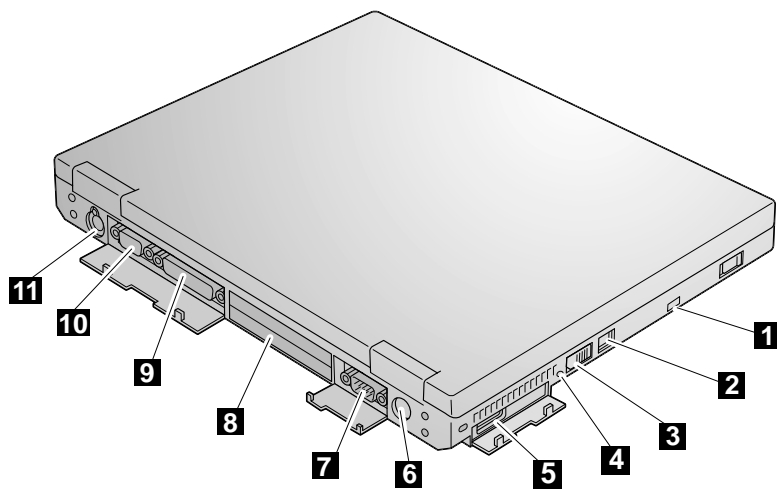
各部の機能と名称

正面図

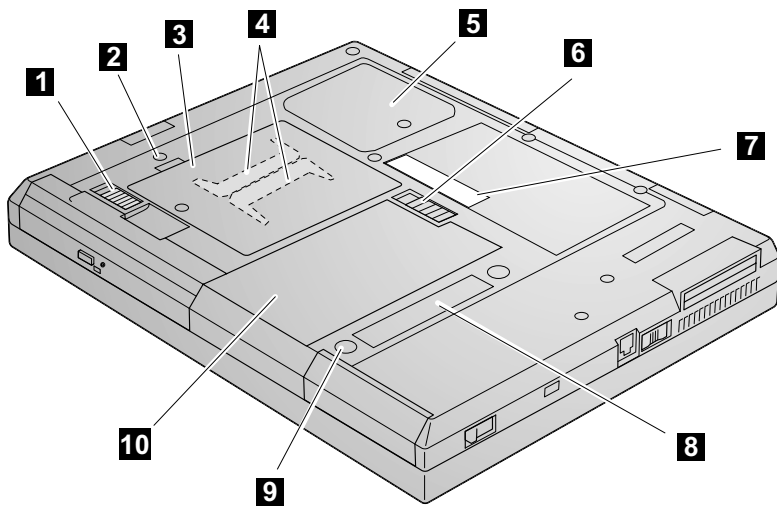


- 1** カラー液晶ディスプレイ (LCD) パネル。ThinkPad の出力を表示します。
- 2** 輝度調節つまみ。ディスプレイの輝度を調節します。
- 3** 内蔵マイクロホン。オーディオ対応のアプリケーション・プログラムと共に使用することで、音声を ThinkPad に取り込めます。
- 4** PC カード・イジェクト・ボタン。PC カード・スロットから PC カードを取り出すときに押します。
- 5** PC カード・スロット。PC カードを挿入します。
- 6** 赤外線ポート。赤外線通信機能をもつ他のデバイスと通信を行うことができます。
- 7** ヘッドホン・ジャック。直径 3.5 mm (⅝インチ) のジャックで、ステレオのヘッドホンまたは外付けスピーカーを接続します。
- 8** ライン入力ジャック。直径 3.5mm (⅝ インチ) のジャックで、外付けステレオ・オーディオ機器を接続します。
- 9** マイクロホン・ジャック。直径 3.5mm (⅝ インチ) のジャックで、マイクロホンを接続します。
- 10** 外付けディスク・ドライブ。ウルトラスリムベイに別のデバイスを取り付けているときには、ディスク・ドライブを外付けで接続できます。
- 11** ディスク・イジェクト・ボタン。ディスク・ドライブからディスクを取り出すときに押します。
- 12** ビデオ出力コネクター。ThinkPad をテレビや VTR に接続して、映像信号を送る場合に使用します。(DVD ドライブ搭載モデルにのみ装備されています。)
- 13** LCD ラッチ。これを手前に引くと LCD が開きます。
- 14** ウルトラスリムベイ。CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブなどのストレージ・デバイスを取り付けることができます。(➡ 16 ページ)
- 15** クリック・ボタン。トラックポイント **19** と一緒に使用することで、マウス・ボタンと同様の働きをします。
- 16** ハードディスク・ドライブ。ThinkPad に標準装備されているハードディスク・ドライブです。
- 17** Fn キー。ファンクション・キーと一緒に使用して、Fn キー機能を実行します。
- 18** 内蔵スピーカー。左右にあり、ステレオ・サウンドを生成します。
- 19** トラックポイント。組み込み式のポインティング・デバイスで、マウスと同様の働きをします。
- 20** システム状況インジケータ。対応する記号によってシステムの状況を示します。(➡ 6 ページ)

背面図



底面図



ThinkPad の背面図

- 1 セキュリティー・キーホール。セキュリティー・システム・ロックをここに取り付けます。
- 2 モデム・コネクター。ThinkPad を電話回線に接続する場合に使用します。
- 3 電源スイッチ。ThinkPad の電源をオンまたはオフにします。
- 4 リセット・スイッチ (電源遮断スイッチ)。アプリケーションが停止した場合や、ThinkPad が入力をまったく受け付けなくなった場合に、ThinkPad の電源をオフにするのに使用

ThinkPad の底面図

- 1 ウルトラスリムベイ・デバイス・ロック。ウルトラスリムベイに取り付けられたデバイス用のロックです。
- 2 ベイ用 LED。点灯している場合は、システムが使用中であることを意味します。ベイにあるデバイスを取り外さないでください。
- 3 メモリー・スロット・カバー。メモリー・スロットのカバーです。
- 4 メモリー・スロット。それぞれにオプションの SDRAM DIMM (Dual Inline Memory

します。ボールペンなどの先でスイッチを押してください。

- 5 汎用シリアル・バス (USB) コネクター。USB インターフェースに対応するデバイスをここに接続できます。最近のデジタル・デバイスの多くは、この新しい規格に準拠しています。
- 6 電源ジャック。AC アダプターのケーブルをここに接続します。
- 7 シリアル・コネクター。シリアル・デバイス用の 9 ピンのケーブルをここに接続します。

Module) を 1 枚ずつ取り付けることができます。

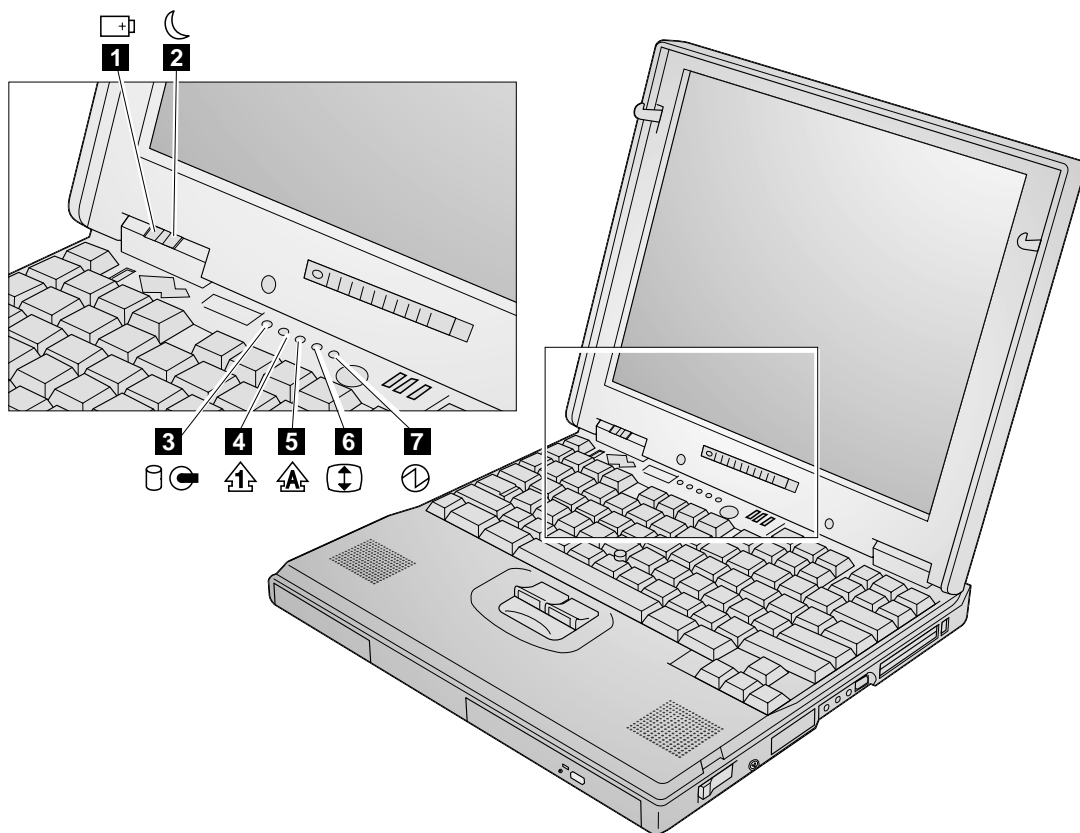
- 5 ミニ PCI モデム・スロット・カバー。モデム・カードのスロットをカバーします。
- 6 バッテリー・パック・ラッチ。バッテリー・パックのロックまたは解除を行います。
- 7 製造番号ラベル。ThinkPad を識別するラベルです。サービスを受ける場合に、この番号が必要になります。






- 8 システム拡張コネクター (240 ピン)。セクタベース 600 を接続することができます。
- 9 パラレル・コネクター。パラレル・プリンターの信号ケーブルをここに接続します。
- 10 外付けディスプレイ・コネクター。外付けディスプレイ (CRT) をここに接続します。
- 11 外付け入力装置コネクター。マウスまたは数値キーパッドを ThinkPad に外付けで接続する場合に使用します。外付けキーボードは、オプションのキーボード/マウス・ケーブルを使用してこのコネクターに接続できます。



- 8 ここにネーム・プレートを貼ります。
- 9 ハードディスク用ねじ。ハードディスクを取り付けまたは取り外す場合は、このねじを緩めます。ThinkPad に付属のセキュリティーねじをハードディスク用ねじとして使用することもできます。
- 10 バッテリー・パック。ThinkPad 用の内蔵電池です。

システム状況インジケータ

ThinkPad のシステム状況インジケータは、点灯または色 (緑およびオレンジ) によって ThinkPad の現在の状況を示すものです。各インジケータの役割は記号で表されます。次に、各記号の位置と意味を示します。



| 記号 | インジケータ ーの色 | 意味 |
|--|---------------|---|
| 1 バッテリー状況  | 緑 | 操作に十分なバッテリー残量があります。 |
| | オレンジの点滅 | バッテリー・パックを充電する必要があります。このインジケータがオレンジ色の点滅を始めると、ThinkPad でピーブ音が 3 回鳴ります。 |
| | オレンジ | バッテリー・パックを充電しています。 |
| 2 サスペンド・モード  | 緑 | ThinkPad がサスペンド・モードであることを示します。(➡ オンライン・ユーザーズ・ガイド) |
| | グリーン の点滅 | ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに移行中である、あるいはサスペンド・モードやハイバネーション・モードから通常の操作状態へ移行中であることを示します。 |
| 3 ドライブ使用中  | オレンジ | ハードディスクに対するデータの読み書き中、または DVD または CD-ROM ドライブからのデータの読み取り中であることを示します。このインジケータが点灯しているときは、ThinkPad をサスペンド・モードにしたり、ThinkPad の電源をオフにしたりしないでください。 |
| 4 ナム・ロック  | 緑 | このインジケータが点灯している場合は、キーボードの一部のキーを数値キーパッドとして使用できます。 Shift キーを押しながら NumLk キーを押すと、数値キーパッド機能を使用可能または使用不可にできます。詳細情報 ➡ 15 ページの『数値キーパッド』 |
| 5 キャプス・ロック  | 緑 | このインジケータが点灯している場合は、Caps Lock (キャプス・ロック) モードで入力できます。このモードでは、 Shift キーを押さなくても、アルファベット (A ~ Z) はすべて大文字で入力されます。 Shift キーを押しながら Caps Lock キーを押すと、キャプス・ロック・モードを使用可能または使用不可にできます。 |

| 記号 | インジケータ の色 | 意味 |
|---|--------------|---|
| 6 スクロール・ロック  | 緑 | このインジケータが点灯している場合は、スクロール・ロック・モードが使用できます。矢印キーは、画面スクロール機能キーとして機能します。この状態では、矢印キーでマウス・ポインタを移動させることはできません。アプリケーション・プログラムによっては、この機能をサポートしません。 ScrLk キーを押すと、スクロール・ロック・モードを使用可または使用不可にすることができます。 |
| 7 電源  | 緑 | ThinkPad が使用できる状態であることを示します。ThinkPad の電源がオンで、サスペンド・モードに入っていないときに点灯します。 |

各部の機能と名称

ここでは、次の機能について説明します。

- キーボードの機能
- ウルトラスリムベイ
- ThinkPad ユーティリティー
- オンライン・ユーザーズ・ガイド

キーボードの機能

ThinkPad のキーボードには、次の機能が付いています。

- トラックポイント
- **Fn** キー
- 数値キーパッド

トラックポイント

キーボードには、トラックポイントという特殊なポインティング・デバイスが組み込まれています。これを使うと、ポインティング、選択、ドラッグなどの操作を、通常のタイプ入力位置から指を離さずに一連の手順の中で行うことができます。

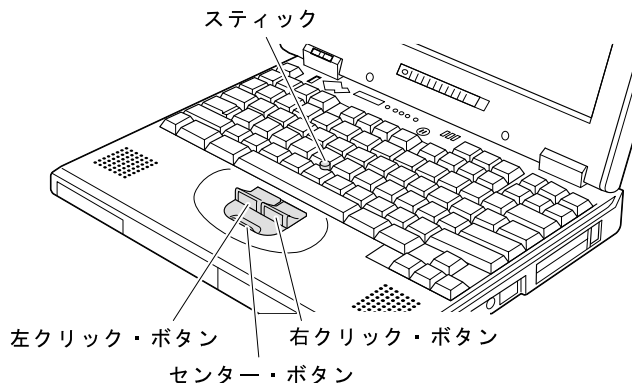


トラックポイントの次の機能をカスタマイズできます。

- プレス・セレクト
- 感度
- スクロールまたは拡大表示

詳細情報 ➡ 45ページの『トラックポイントのカスタマイズ』

トラックポイントは、キーボード上のスティックとキーボード手前の 3 つのクリック・ボタンとで構成されています。画面上のマウス・ポインターの動きは、スティックの先についてるキャップを押す指の圧力の強さによってコントロールできます。圧力は、キーボード面に対して平行に前後左右に加えます。スティック自体は *動きません*。マウス・ポインターの移動速度は、スティックに加えられる圧力の強さによって決まります。左および右クリック・ボタンの機能は、通常のマウスの左および右ボタンの機能に対応し、使用するソフトウェアによって異なります。センター・ボタンの機能については、47 ページで説明します。



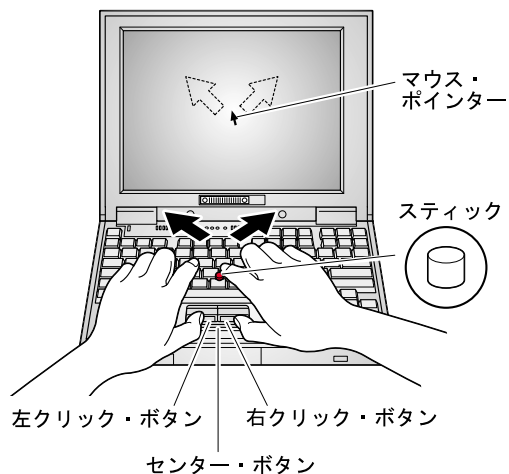
トラックポイントをはじめてお使いになる場合は、まず、次の説明をお読みください。

- 1** 両手をタイプ位置に置きます。マウス・ポインターを移動させたい方向に、どちらかの人差し指を使ってスティックをゆっくりと押します。

スティックを LCD 方向に押すと、マウス・ポインターが画面の上方向に移動します。スティックを手前に押すと、マウス・ポインターが画面の下方向に移動します。また、スティックを左右の方向に押すと、マウス・ポインターが左右の方向に移動します。



マウス・ポインターがドリフト (浮動) する場合があります。これは、故障ではありません。ただし、トラックポイントを使用するのは、マウス・ポインターの動きが止まってからにします。



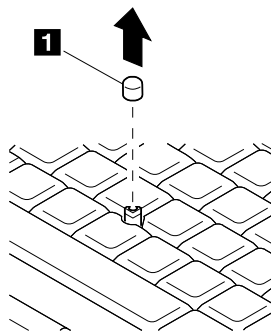
2 使用しているソフトウェアの要求に応じて、両手の親指で左右のクリック・ボタンを押して、選択およびドラッグ操作を行います。

プレス・セレクトを使用可能にすると、トラックポイントのスティックを、左クリック・ボタンまたは右クリック・ボタンと同じように機能させることができます。詳細情報 → 45ページの『トラックポイントのカスタマイズ』



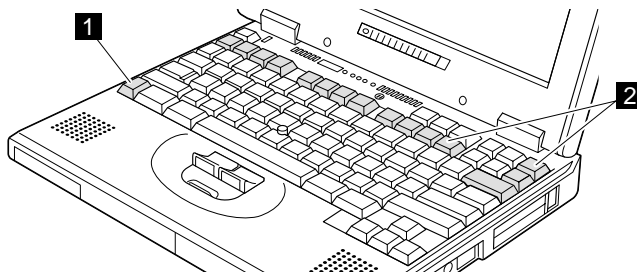
キャップの交換

トラックポイントのスティックの先に付いているキャップ **1** は着脱式です。必要に応じて、付属の予備キャップと交換できます。また、付属品を使い切ってしまった場合は、オプションでもご購入いただけます。



Fn キー


Fn キー機能は、特定の操作を瞬時に実行する便利な機能です。次の表で示す機能を使用するときは、Fn キー **1** を押しながら、対応するファンクション・キー **2** (F1 ~ F12、PgUp、PgDn、またはBackSpace) を押します。



Fn キー・ロック機能

次の設定をすると、Fn キーを押しながらファンクション・キーを押すのと同じ機能が得られます。

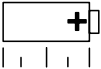



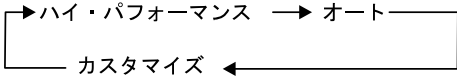


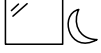

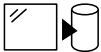
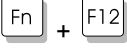
「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動し(➡ 27ページの




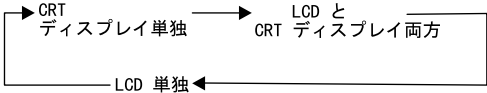
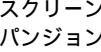











『「ThinkPad 機能設定」プログラム』)「ユーザー補助」() アイコンをクリックしてから、「Fn キー・ロック」に対して「使用する」を選択します。また、コマンド・プロンプトで PS2 FNS E と入力しても同じように設定できます。

Fn キー・ロック機能を使用可能にしてから、Fn キーを1回だけ押し、次にファンクション・キーをどれか押します。ThinkPad は、Fn + ファンクション・キーが押されたときと同じように作動します。

ロック機能を使用可能にしてから、Fn キーを2回押すと、それ以降はファンクション・キーを押すだけで、Fn キーとそのファンクション・キーの組み合わせとして認識されます。これを止めるには、もう一度 Fn キーを押します。

次の表は、**Fn** キーとその他のキーの組み合わせによる機能を示します。

| 機能とアイコン | キーの組み合わせ | 意味 |
|---|---|--|
| 省電力機能 | | |
| バッテリー・メーター・プログラム表示のオン/オフ  |  (Windows にのみ対応します) | このキーの組み合わせを使用すると、バッテリーの残量を示すウィンドウが表示されます (または消えます)。バッテリー残量のパラメーターをウィンドウで設定できます。 注: このキーの組み合わせを使用するには、事前にバッテリー・メーター・プログラムを始動しておく必要があります。 バッテリー・メーター・プログラムを始動する手順は、次のとおりです。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを、「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「バッテリー・メーター」をクリックします。 |
| パワー・モードの切り替え  |  | パワー・モードは、次のように変化します。  |
| バッテリー使用時の省電力機能 | | |
| スタンバイ・モード  |  | ThinkPad はスタンバイ・モードになります。このモードに関する詳細情報 ➡ オンライン・ユーザーズ・ガイド |
| サスペンド・モード  |  | ThinkPad はサスペンド・モードになります。このモードに関する詳細情報 ➡ オンライン・ユーザーズ・ガイド |
| ハイバネーション・モード  |  | ThinkPad はハイバネーション・モードになります。このモードに関する詳細情報 ➡ オンライン・ユーザーズ・ガイド |

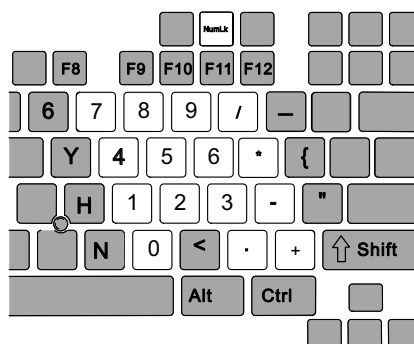
| 機能とアイコン | キーの組み合わせ | 意味 |
|---|---|---|
| その他の機能 | | |
| LCD と外付けディスプレイの切り替え  |  +  | 外付けディスプレイ (CRT) が接続されている場合は、ThinkPad の出力は次の順序で表示されます。  <p>注: テレビがマルチモニタ機能のセカンダリ モニタであるが、同時表示ディスプレイとして使用されている場合は、これらのキーによる切り替えはサポートされません。</p> |
| スクリーン・エクスパンション  |  +  | LCD に表示されている解像度が、実際の LCD の解像度よりも小さい場合は、LCD の画面イメージ・サイズが拡大モードと通常モードに切り替わります。 |
| 音量アップ  |  +  | 音量が上がります。 |
| 音量ダウン  |  +  | 音量が下がります。 |
| ミュート  |  +  | 音声がおフになります。 注: 1. ThinkPad の電源をいったんオフにし、再度オンにしても、この機能は使用不可になりません。 2. 音声をオンにするには、 Fn + PgUp を押すか、または Fn + PgDn を押します。 |



ThinkPad がサスペンド・モードのときに、ファンクション・キーを押さずに **Fn** キーだけを押しすと、ThinkPad は通常の操作状態に戻ります。

数値キーパッド

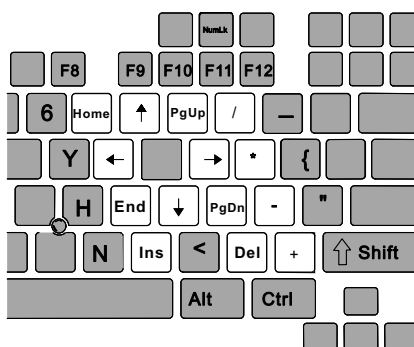
ThinkPad のキーボードの一部は、数値キーパッドのテン・キーのように使用することができます。数値キーパッドとして使用するには、**Shift** キーを押しながら **NumLk** キーを押してください。数値キーパッドとしての使用を無効にするときも同じ操作をします。ただし、外付けキーボードまたは外付け数値キーパッドが接続されているときは、キーボード上のこの数値キーパッド機能は使用できません。



「数値キーパッド」を有効にしているあいだは、Shift キーを押しながら数値キーパッドの各キーを押すと、一時的にカーソル制御キーや画面制御キーとして使用することができます。



カーソル制御キーおよび画面制御キーの機能は、キーには印刷されていません。



ウルトラスリムベイ

ThinkPad 600X には、ウルトラスリムベイが装備されています。



ウルトラスリムベイ

ウルトラスリムベイには、次のデバイスのいずれかを取り付けることができます。

- ウェイト・セーバー・ベゼル
- ディスケット・ドライブ
- ウルトラスリム DVD ドライブ
- ウルトラスリム CD-ROM ドライブ
- スーパーディスク (LS-120) ドライブ
- ウルトラスリム HDD アダプター
- ウルトラスリム・バッテリー
- Zip 100 MB ウルトラスリムベイ・ドライブ

これらのデバイスの詳細については、それぞれのデバイスに付属の資料を参照してください。

ウルトラスリムベイのデバイスの交換 → 91ページの『ウルトラスリムベイ・デバイスの交換』

ディスク・ドライブの外付け接続 → 94ページの『ディスク・ドライブの外付け接続』

ThinkPad ユーティリティー・プログラム

ThinkPad には、次のユーティリティーが用意されており、簡単に構成できるようになっています。

- Easy-Setup
- 「ThinkPad 機能設定」プログラム

ここでは、これらのユーティリティー・プログラムの概要について説明します。

Easy-Setup

ThinkPad には、各種のセットアップ・パラメーターを選択するための *Easy-Setup* と呼ばれる使いやすいプログラムが内蔵されています。

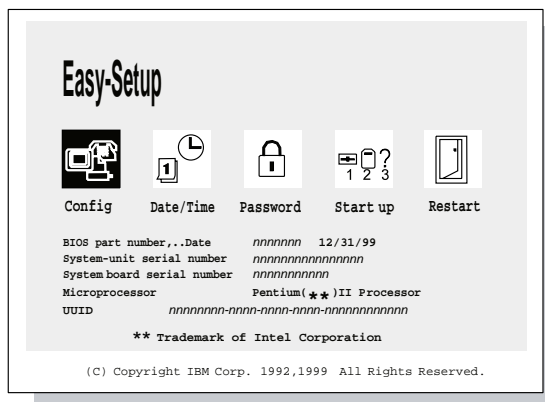
- 「**Config**」：ご使用の ThinkPad の構成を設定します。
- 「**Date/Time**」：日付と時刻を設定します。
- 「**Password**」：パスワードを設定します。
- 「**Start up**」：始動デバイスの優先順位を設定します。
- 「**Restart**」：システムを再始動します。

Easy-Setup を始動する手順は、次のとおりです。

1 ThinkPad の電源をオフにし、ディスク・ドライブにディスクが入っている場合はそれを取り出します。

2 **F1** キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。
「Easy-Setup」メニューが表示されるまで、**F1** キーを押し続けます。

パスワードが設定してある場合は、「Easy-Setup」メニューが表示されるのは、パスワードを入力してからになります。



3 矢印キーまたはトラックポイントを使って変更したいアイコンに移動し、そのアイコンをクリックします。

サブメニューが表示されます。

4 変更したい項目を変更します。

5 サブメニューを終了するには、「**Exit**」をクリックします。

6 「Easy-Setup」メニューを終了するには、「**Restart**」をクリックします。

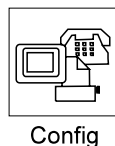
ThinkPad が再起動します。



画面の配色の変更

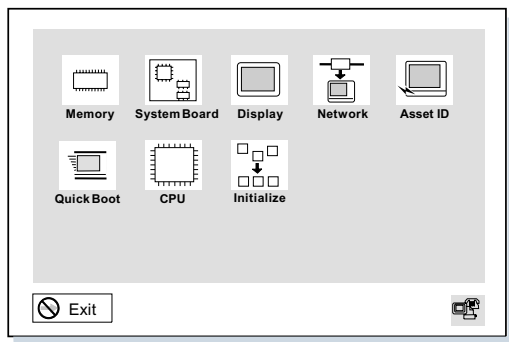
「Easy-Setup」メニュー画面の配色を変更するには、**Ctrl+PgUp** キーまたは **Ctrl+PgDn** キーの組み合わせを使用します。

元の配色に戻すには、**Ctrl+Home** キーを押してください。



Config

「**Config**」アイコンをクリックすると、次のような「Config」サブメニューが表示されます。



「**Memory**」アイコンによって、取り付けられているメモリーのサイズと使用できるメモリー容量が表示されます。



「**System Board**」アイコンによって、取り付けられているシステム・ボードについての情報が表示されます。



「**Display**」アイコンによって、画面の出力先を「**Single**」のビデオ・サブシステム (1 つのディスプレイ) にするか、「**Multiple**」のビデオ・サブシステム (複数のディスプレイ) にするかを設定します。この機能は、ビデオ・アダプター・カードを取り付けた拡張ユニットを使用したときにだけ使用可能です。「**Single**」を選択すると、拡張ユニットのアダプター・カードが使用可能になります。「**Multiple**」を選択すると、複数ディスプレイの環境で、拡張ユニットの内蔵ビデオ・システムとビデオ・アダプター・カードの両方が使用可能になります。「**Multiple**」を選択し、複数ディスプレイ機能を使用しないと、内蔵のビデオ・システムだけが使用可能になります。



「**Network**」アイコンを使用すると、Wake-on-LAN 機能 (オプション) または Flash-over-LAN 機能 (オプション) を使用可能にしたり使用不可にしたりすることができます。これらの機能が使用できるのは、拡張ユニットを接続している場合だけです。



「**Asset ID**」ボタンを使用すると、Antenna Security または Gate Security を使用可能にしたり使用不可にしたりすることができます。

「**Antenna**」を選択すると、ThinkPad から RFID オプションが取り外せません。「**Gate**」を選択すると、ポート・ゲートから ThinkPad が持ち出されるのを防止します。セキュリティー機能のサポートは、特定のモデルに限られており、スーパーバイザー・パスワードが設定されているときに有効になります。ただし、この機能は現時点で日本国内ではご利用いただけません。



「**Quick Boot**」アイコンによって、シンプル・ブート・フラグ機能を使用可能または使用不可にします。



注意

シンプル・ブート・フラグ機能

この機能では、BIOS およびオペレーティング・システムの動作とブート・パフォーマンスを、インストールされているオペレーティング・システムと以前のブートに基づいて自動的に最適化します。

この機能が使用可能になっている場合は、プラグ・アンド・プレイ対応可能なオペレーティング・システム（たとえば、Windows 98 など）がインストールされると、システム BIOS がシステム割り込み、メモリー・ウィンドウ、およびシステム内のすべての装置に関する入出力ポート範囲などといった、ハードウェア・リソースを構成することはありません。

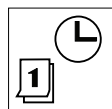
プラグ・アンド・プレイ対応でないオペレーティング・システムを使用する場合は、この機能を使用不可にして、**BIOS** がハードウェア・リソースを構成するようにします。



「**CPU**」ボタンは、CPU の製造番号を使用可能または使用不可にします。

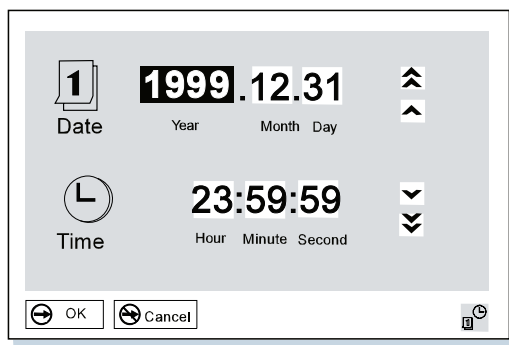


「**Initialize**」アイコンによって、デバイスの設定をすべて初期値に戻します。



Date/Time

「Date/Time」アイコンをクリックすると、次のような「Date and Time」サブメニューが表示されます。これは、現在の日付と時刻を設定するときに使用します。



日付と時刻を変更する手順は、次のとおりです。

- 1 マウス・ポインターを変更したいフィールド (年、月、日、時、分または秒) に移動し、日付や時刻を入力します。



入力する代わりに、ポインターを矢印アイコン(▲、▲、▼、または ▼)のどれかに合わせて日付や時刻を調節することもできます。

二重矢印アイコンをクリックすると、数字をさらに速くスクロールできます。

- 2 変更内容を保管するには「OK」をクリックし、それらを取り消す場合は「Cancel」をクリックします。



Password

「**Password**」アイコンをクリックすると、次のような「Password」サブメニューが表示されるので、これを使用してパスワードを設定することができます。



このアイコンを選択すると、始動パスワードを設定するサブメニューが表示されます。



このアイコンを選択すると、ハードディスク・ドライブ (**HDD**) パスワードを設定するメニューが表示されます。

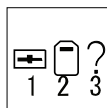


このアイコンを選択すると、スーパーバイザー・パスワードを設定するサブメニューが表示されます。

パスワードに関する詳細 → 98ページの『パスワードの使用』



かぎのかかっていないアイコンは、パスワードがまだ設定されていないことを示しています。



Start up

「**Start up**」アイコンをクリックすると、「Start up」サブメニューが表示されます。このサブメニューを使って、始動または起動に使用するデバイスの優先順位を変更できます。

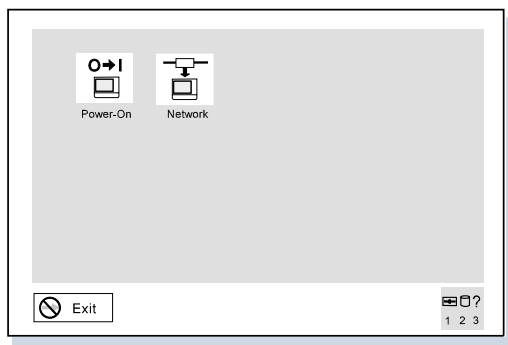
たとえば、着脱式ハードディスク・ドライブや PC カードなど複数のデバイスにオペレーティング・システムがインストールされている場合は、それらのデバイスのどれかからシステムを始動することができます。

始動優先順位を変更する手順は、次のとおりです。

- 1 「Easy-Setup」メニューで「**Start up**」アイコンをクリックします。「Startup」サブメニューが表示されます。

重要

始動優先順位を変更した後は、ドライブ名の割り当てが変わることがあるので、コピー、保管、フォーマット操作などで誤ったデバイスを指定しないよう、細心の注意が必要です。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消されたり、上書きされたりすることがあります。



注:



電源スイッチでオンにするときは、「**Power-On**」アイコンで始動優先順位を設定します。



Wake on LAN を始動するときは、「**Network**」アイコンで始動優先順位を設定します。Wake on LAN は、通常、LAN 管理者が組織内ネットワークの中で ThinkPad にリモート・アクセスする場合に使用します。この機能が使用できるのは、拡張ユニット (オプション) を接続している場合だけです。

- 2 「**Power-On**」または「**Network**」をクリックします。

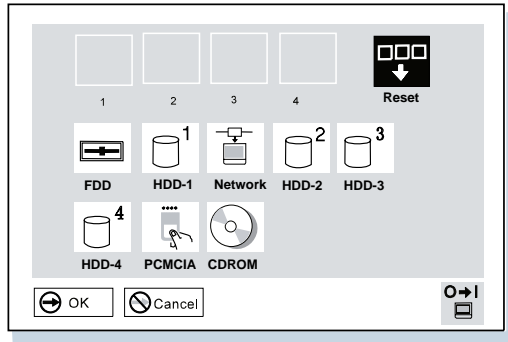
これらのオプションに関する説明については、24ページの『「Power-On」サブメニュー』および26ページの『「Network」サブメニュー』を参照してください。

- 3 マウス・ポインターを「**Reset**」アイコンに移動して、クリックします。
- 4 始動優先順位を1番にするデバイスを選択してから、そのアイコンをクリックします。

デバイスを4つまで設定することができます。

- 5 「OK」をクリックするか、**Enter** キーを押して、変更内容を保管します。

「Power-On」サブメニュー



「FDD」アイコンは、ウルトラスリムベイ内のディスク・ドライブに割り当てられます。ウルトラスリムベイ内のディスク・ドライブは、外付けディスク・ドライブよりも常に優先されます。ウルトラスリムベイ内にディスク・ドライブがなくても ThinkPad に外付けディスク・ドライブがある場合、または拡張ユニット内にディスク・ドライブがある場合は、そのディスク・ドライブが「FDD」になります。

「HDD-1」～「HDD-4」アイコンは、次の優先順位でそれぞれのハードディスク・ドライブに割り当てられます。

1. プライマリー・ハードディスク・ドライブ (ThinkPad のハードディスク・ベイ内に装備されています)
2. ウルトラスリムベイ内のハードディスク・ドライブ
3. セレクタドックのウルトラベイ トレイ内のハードディスク・ドライブ
4. セレクタドックのデバイス・スペース内のハードディスク・ドライブ
5. セレクタドックの SCSI コネクタ経由で ThinkPad に接続されたハードディスク・ドライブ

たとえば、ThinkPad のウルトラスリムベイにはハードディスク・ドライブがないが、セレクタドックにハードディスク・ドライブが付いている場合は、そのハードディスク・ドライブが「HDD-2」になります。

トークンリング・カードまたはその他のネットワーク・カードを使用して、リモート・プログラム・ロード (RPL) を行っている場合は、次の手順に従ってください。

1. 「**Network**」ボタンをクリックします。「Speed」メニューが表示されます。
2. トークンリング・カードを使用している場合は、使用するネットワークの速度（「**4**」または「**16**」）をクリックし、**Enter** キーを押します。

トークンリング・カード以外のネットワーク・カードを使用している場合は、RPL 速度を指定する必要はありません。「**Esc**」キーを押して、このメニューを終了してください。

たとえば、ATA-3 (PC カード Type III) HDD またはフラッシュ・メモリー・カードを表す「**PCMCIA**」を選択し、システムを始動することができなかった場合は、セカンダリー IDE デバイスを使用不可にしてから、システムを再始動します。カードによっては、CD-ROM または DVD-ROM ドライブと互換性がない場合があります。

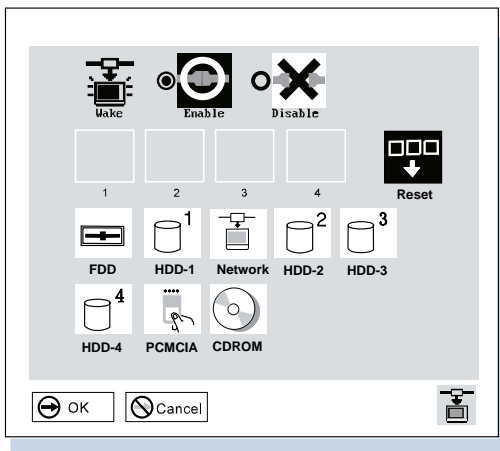
「**CDROM**」アイコンは、ウルTRASリムベイ内の CD-ROM ドライブに割り当てられます。ウルTRASリムベイ内に CD-ROM ドライブがなくても、セクタドック内に CD-ROM ドライブがあれば、「**CDROM**」アイコンはその CD-ROM ドライブに割り当てられます。ウルTRASリムベイとセクタドックの両方に CD-ROM ドライブがある場合は、アイコンは、ウルTRASリムベイ内の CD-ROM ドライブに割り当てられます。

「Network」サブメニュー



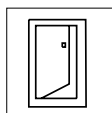
この機能が使用できるのは、拡張ユニット・オプションを接続している場合だけです。

「Network」サブメニューでは、Wake-on-LAN 機能を使用可能にしたり使用不可にしたりすることができます。



Wake on LAN が使用可能になっている場合は、ネットワーク管理者は、リモート・ネットワーク管理ソフトウェアを使用して、LAN 内に接続されているリモート・マシンの電源をオンにすることができます。使用している ThinkPad がネットワーク管理者のシステム管理のもとにない場合は、この機能を使用不可 (Disable) にしてください。

詳細情報 → オンライン・ユーザーズ・ガイドの「システム管理の使用」



Restart

「Restart」アイコンをクリックすると、Easy-Setup プログラムを終了し、ThinkPad を再起動します。

「ThinkPad 機能設定」プログラム



「ThinkPad 機能設定」プログラムの具体的な詳細情報を見たい場合は、「ヘルプ」ボタンをクリックします。

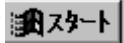
「ThinkPad 機能設定」プログラムを使うと、ThinkPad の内蔵デバイスを必要に応じてセットアップしたり、カスタマイズすることができます。たとえば、ポートを使用可能または使用不可にしたり、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイを切り替えたり、省電力機能を設定したりすることができます。

ここでは、「ThinkPad 機能設定」プログラムの始動方法について説明します。



Windows 98 の場合:

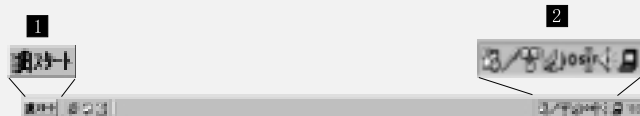
Windows 98 の場合の「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動する手順は、次のとおりです。

1. 「スタート」ボタン()をクリックします。
2. マウス・ポインターを「設定」に移動します。次に「コントロール パネル」をクリックします。
「コントロール パネル」ウィンドウが表示されます。
3. 「ThinkPad 機能設定」アイコンをダブルクリックします。



また、次のどちらかの手順に従って、「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動することもできます。

- 「スタート」 **1** ボタンをクリックし、マウス・ポインターを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。
- タスクバー **2** の右側に「ThinkPad」アイコンが表示されていることを確認して、そのアイコンをダブルクリックします。



次のウィンドウが表示されます。



- 1** 「ディスプレイ・デバイス」ボタン。これらのボタンのいずれか 1 つをクリックして、表示出力先のタイプを LCD、外付けディスプレイ、または LCD + 外付けディスプレイのどれかに設定します。
- 2** 「電源設定」ボタン。電源設定を変更します。
- 3** 「デバイス マネージャを開く」ボタンをクリックすると、「システム・プロパティ」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでデバイスを使用可能または使用不可にできます。
- 4** 「システム・リソース一覧表示」ボタンをクリックすると、「システム・リソース一覧」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでメモリー・アドレスとその他の割り当ての設定を確認できます。
- 5** 「ヘルプ」ボタン。オンライン・ヘルプを表示します。
- 6** 「デバイス」ボタン。ウィンドウから各デバイス用のボタンをクリックします。デバイスが使用可能な場合は、ボタンの横の赤いインジケーターがオンになります。このインジケーターが消えているときは、そのデバイスは使用できません。

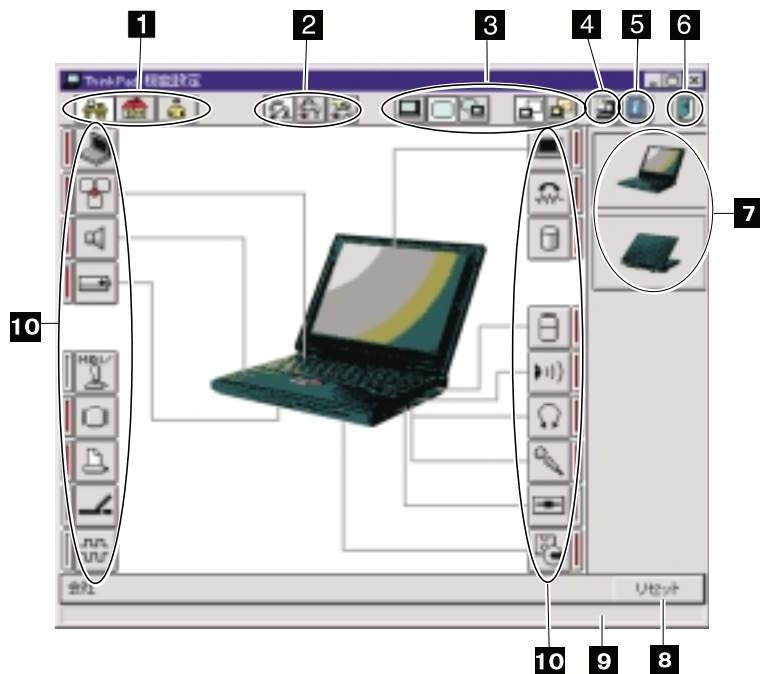


Windows NT の場合：

Windows NT で「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動する手順は、次のとおりです。

- 1 画面の下隅にある「スタート」をクリックします。
- 2 マウス・ポインターを「設定」に移動します。次に「コントロール パネル」をクリックします。
「コントロール パネル」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ThinkPad 機能設定」アイコンをダブルクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



- 1 「ワンタッチ設定」ボタン。これらのボタンのどれかをクリックして、システム構成を設定します。

- 2** 「パワー・モード」ボタン。これらのボタンのどれかをクリックして、パワー・モードを「ハイ・パフォーマンス・モード」、「オート・モード」、または「カスタマイズ・モード」のどれかに設定します。
- 3** 「ディスプレイ・デバイス」ボタン。これらのボタンのいずれか 1 つをクリックして、表示出力先のタイプを LCD、外付けディスプレイ (CRT)、またはその両者のどれかに設定します。プレゼンテーションを行う場合は、「プレゼンテーション」ボタンをクリックして、ディスプレイ・タイマーや省電力モード・タイマーなどのシステム・タイマーを使用不可にし、プレゼンテーション中に画面が消えることのないように設定できます。
- 4** 「バージョン情報」ボタンをクリックすると、「ThinkPad 機能設定」のバージョン番号が表示されます。
- 5** 「ヘルプ」ボタン。オンライン・ヘルプを表示します。
- 6** 「終了」ボタン。このボタンをクリックすると、変更を保管して、「ThinkPad 機能設定」が終了します。
- 7** 「描写方向」ボタン。「前面表示」ボタンまたは「背面表示」ボタンをクリックすると、ハードウェアの位置が表示されます。
- 8** 「リセット」ボタン。このボタンをクリックすると、各オプションに対して初期値を設定し、変更した値を取り消します。
- 9** 「ステータス」バー。各デバイス・ボタンにマウス・ポインターを合わせると、ボタンが示すデバイスの名前と状態がこのステータス・バーに表示されます。
- 10** 「デバイス」ボタン。ウィンドウから各デバイス用のボタンをクリックします。次に、表示されるウィンドウからそのデバイスのオプションを設定します。デバイスが使用可能な場合は、ボタンの横の赤いインジケーターがオンになります。このインジケーターがオフのときは、そのデバイスは使用できません。

画面の右上隅にある三角形の最小化ボタンをクリックすると、ウィンドウの上部のみが表示されます。

オンライン・ユーザーズ・ガイド

ThinkPad には、*オンライン・ユーザーズ・ガイド*が入っており、旅行中でも簡単に重要情報が得られるようになっています。*オンライン・ユーザーズ・ガイド*には、次の情報が記載されています。

- 基本編：
 - ThinkPad の海外での使用
 - マルチメディア機能の使用
 - ThinkPad の保護
 - バッテリー・バックの使用法
 - PC カードの使用法
 - よくある質問と答え
- 応用編：
 - システム・リソースについて
 - ソフトウェアのインストール
 - システム管理機能の使用
 - PS2 コマンドの使用
 - モデム・コマンドの使用
 - オプション使用時のヒント
- サポート情報：
 - *オンライン・ユーザーズ・ガイド* の内容
 - その他のマニュアルの内容
 - IBM Web サイトで情報を検索する
 - 取り扱い上のヒントと使用時の姿勢について
 - サービス体制
 - 用語集

オンライン・ユーザーズ・ガイド を始動するには、Windows のデスクトップで、「スタート」ボタンをクリックします。次に、カーソルを「プログラム」に移動し、「**ThinkPad** *オンライン・ユーザーズ・ガイド*」をクリックします。

「*オンライン・ユーザーズ・ガイド*」が表示されます。参照したい項目に進み、必要に応じて印刷してください。

ソフトウェア環境の回復

ソフトウェア環境を回復したり、オペレーティング・システムを再インストールするために、ThinkPad には次の機能があります。

- ソフトウェア・セレクション CD (Software Selections CD)
- リカバリー CD (Product Recovery CD-ROM)
- ConfigSafe
- ThinkPad Web サイト

削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復

最新情報については、次の ThinkPad Web サイトにアクセスしてください。最新版が入手可能な場合は、次の Web サイトで発表されます。

<http://www.ibm.com/jp/pccsvc/thinkpad.html>



この Web サイトにアクセスすると、Windows 3.1、OS/2 Warp、および DOS 用のドライバー・ディスクット・イメージを入手することができます。

ソフトウェア・セレクション CD の使用

ソフトウェア・セレクション CD はインストールを簡素化するために提供されており、この CD-ROM を使用してシステムをカスタマイズすることができます。これには、Windows 98、Windows 95、および Windows NT の環境で ThinkPad を使用するためのハードウェア・デバイス・ドライバーおよび初期インストールされているソフトウェアがすべて含まれています。

Windows 3.1、OS/2 Warp、および DOS 用のデバイス・ドライバー

➔ <http://www.ibm.com/jp/pccsvc/thinkpad.html>

ソフトウェア・アプリケーションやハードウェア・デバイス・ドライバーを再インストールする必要がある場合は、ソフトウェア・セレクション CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに挿入します。各機能のメニューは自動的に表示されます。

ソフトウェア・セレクション CD には次の機能があります。

- 「プログラムのインストール」
このページは、次のことを行う場合に使用します。
 - ThinkPad に初期インストールされていない付属ソフトウェアのインストール
- 「プログラムのアンインストール」
ソフトウェア・セレクション CD からインストールしたアプリケーション・プログラムで「アプリケーションの追加と削除」リストにそのアンインストール項目がある場合は、これらをアンインストールできます。
- 「拡張機能」
 - 「設定の変更」
このページは、ソフトウェア・セレクション CD のイメージの場所の指定、ソフトウェア製品の情報の表示方法の選択などを変更することができます。
 - 「デバイス・ドライバーのインストール」
デバイス・ドライバーをインストールしたり、インストール方法を表示したりします。
 - 「デバイス・ドライバー・ディスクットの作成」
デバイス・ドライバーのディスクットを作成できます。
 - 「ソフトウェア・セレクション CD イメージの作成」
ソフトウェア・セレクション CD のイメージをご使用のハードディスクに書き込みます。
- 「ライセンス証書の表示」
このページには、各プログラムの使用許諾契約があります。
- 「ヘルプ」
このページには、ソフトウェア・セレクション CD の紹介と各アイテムの説明があります。

リカバリー CD の使用

誤ってハードディスクの内容を削除または損傷してしまった場合は、リカバリー CD を使って、初期インストールされているハードディスクの内容を購入時の状態に回復 (リカバリー) することができます。



この回復プログラムは、お客さま個人のデータや、カスタマイズした構成の設定をすべて削除します。ハードディスクの内容は、すべて出荷時の状態に設定されます。この CD-ROM を使用する前に、お客さま個人のファイルのバックアップを必ず作成してください。リカバリー CD に付いている説明書をよく読んでからリカバリーを行ってください。

リカバリー CD パッケージには、初期インストールされているイメージを含む CD-ROM が入っています。

回復処理には、最大で 2 時間かかる場合があります。

ThinkPad のウルトラスリムベイに CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブの取り付けが必要です。ThinkPad のウルトラスリムベイにディスクレット・ドライブが取り付けられている場合は、ディスクレット・ドライブを CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに取り替えます (→ 91 ページの『ウルトラスリムベイ・デバイスの交換』)。

ThinkPad が起動可能な CD-ROM をサポートするのは、CD-ROM からの起動機能が使用可能にされている場合です。リカバリー CD を使用する場合は、この機能を使用可能にしてから、システムの回復を行います。

1 リカバリー CD を CD-ROM または DVD-ROM ドライブに挿入します。

2 ThinkPad の電源をオフにします。

3 F1 キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。

「Easy-Setup」ウィンドウが表示されるまで、F1 キーを押したままにします。

4 「Start up」ボタンをクリックします。

- 5 「Power-on」 ボタンをクリックします。
- 6 「Reset」 ボタンをクリックします。
- 7 「CDROM」 ボタンをクリックします。
- 8 「OK」 ボタンをクリックします。
- 9 「Exit」 ボタンをクリックします。
これで CD-ROM からの起動機能が使用可能になりました。
- 10 「Restart」 をクリックしてから、「OK」 をクリックします。
ThinkPad が再起動します。
- 11 画面の指示に従います。詳しくは、リカバリー CD に付いている説明書を参照してください。
- 12 完了メッセージが表示されたら、リカバリー CD を CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブから取り出します。
- 13 ThinkPad の電源をオフにします。
- 14 F1 キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。
「Easy-Setup」 ウィンドウが表示されるまで、F1 キーを押したままにします。
- 15 「スタート」 ボタンをクリックします。
- 16 「Power-on」 ボタンをクリックします。
- 17 「Reset」 ボタンをクリックします。
- 18 装置の始動優先順位を設定して、「OK」 をクリックします。
- 19 「Exit」 ボタンをクリックします。
- 20 「Restart」 をクリックしてから、「OK」 をクリックします。

ThinkPad は、出荷時の初期インストールの状態です。

ConfigSafe

「ConfigSafe」とは、Windows 98、Windows 95、または Windows NT 用のアプリケーションの 1 つです。これは、システム設定情報を定期的に一時保存するものです。たとえば、新しいデバイス・ドライバやソフトウェアのインストール後に ThinkPad が正しく作動しなくなったときに、ConfigSafe を使用すると、インストール前のシステム設定情報のバージョンが復元されます。復元された状態では、新しいハードウェアやソフトウェアが作動しないかもしれませんが、再度 ThinkPad を設定し、起動させることが可能です。このアプリケーションは、お客様個人のデータも保護します。



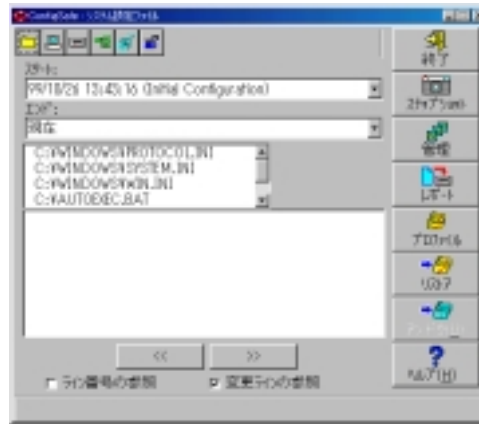
ConfigSafe は、工場出荷時にはインストールされていませんので、ソフトウェア・セレクション CD からインストールしてください。モデルによっては、デスクトップの「ThinkPad の工具箱」アイコンをダブルクリックして、「Toolbox」ウィンドウの「ConfigSafe インストール」アイコンをダブルクリックして、インストールすることもできます。

システム設定情報は、手動で取り出すこともできます。「ConfigSafe」を起動する手順は、次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 マウス・ポインターを「プログラム」、そして「ConfigSafe」に移動します。

3 「ConfigSafe」ボタンをクリックします。

「ConfigSafe」ウィンドウが表示されます。



各機能のヘルプを見たいときは、**F1** キーを押します。

ConfigSafe の使用方法に関する詳細情報 → それぞれのオンライン・ヘルプ

ThinkPad の最新情報

IBM では次の ThinkPad Web サイトで、最新のハードウェア・デバイス・ドライバおよびシステム BIOS のすべてを提供しています。

<http://www.ibm.com/jp/pccsvc/thinkpad.html>

サポートの詳細 → オンライン・ユーザーズ・ガイド

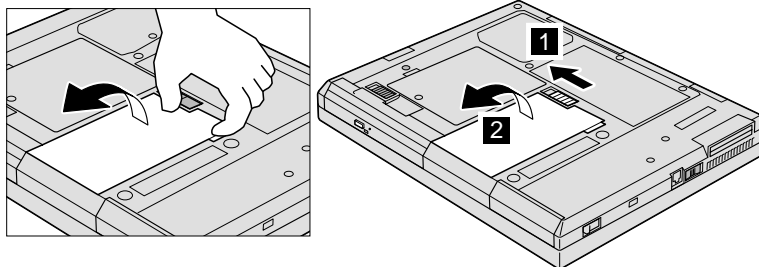
バッテリー・パックの交換

バッテリー・パックを交換する手順は、次のとおりです。

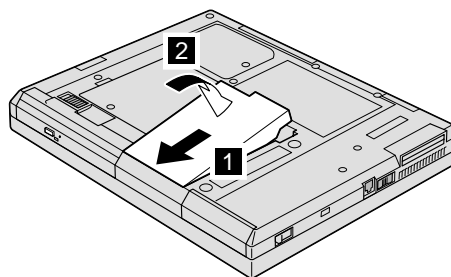


バッテリー・パックは、ThinkPad がハイバネーション・モードに入っているときには交換できますが、サスペンド・モードのときには交換できません。ただし、PC カードを使っている場合は、ThinkPad がハイバネーション・モードにならない場合があります。その場合は、ThinkPad の電源をオフにしてください。

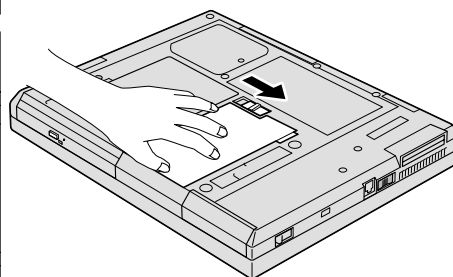
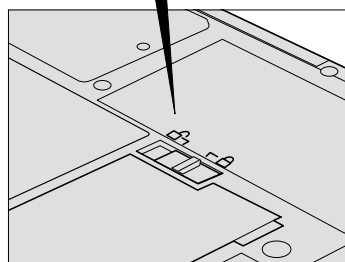
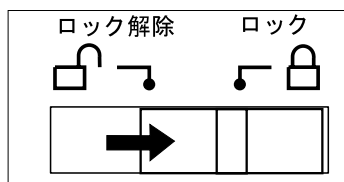
- 1 ThinkPad の電源をオフにするか、ハイバネーション・モードに入ります。
- 2 AC アダプターやその他のケーブル類を取り外します。
- 3 LCD を閉じ、ThinkPad を裏返します。
- 4 バッテリー・パック・ラッチをスライドさせてロック解除の位置にし **1**、バッテリー・パックを取り外します **2**。



- 5 フル充電した予備のバッテリー・パックの前の部分を ThinkPad のバッテリー・スペースの前の部分に合わせ **1**、バッテリー・パックを正しい位置に入れます **2**。



- 6** バッテリー・パックの後ろの部分轻轻一押ししてバッテリー・スペースに入れ、バッテリー・パック・ラッチをロック位置にスライドします。



これで、バッテリー・パックの交換が完了しました。

サービス体制

IBM PC ハードウェア製品をお買上げいただいた場合、保証期間中は、サポートとサービスを受けることができます。IBM から提供される無償または有償のサポートおよびサービスの内容については、付属の「IBM サービスのご案内」をお読みください。

保証について

保証期間中であっても、故障の原因がお客様による製品の誤用、事故、変更、不適切な物理環境または操作環境でのご使用、不適切なメンテナンスである場合、修理にかかる費用をご負担いただくことになります。

製品保証に関する全情報 → 付属の「IBM サービスのご案内」

修理サービスを依頼されるときは、次の情報が必要です。

- ThinkPad の ID 番号
- システムに取り付けられているオプション

注: 41 ページの記録用紙を使用してください。

- エラー・メッセージまたは不具合の内容

注: エラー・メッセージが分かっていると、サービス技術員はこのメッセージから必要な処置を判断し、迅速に効率よく問題に対処できます。

42 ページの記録用紙を使用してください。

Web サイトでのヘルプ

よくあるお問い合わせの情報を Web サイトで入手することができます。

→ <http://www.ibm.link.japan.ibm.co.jp/techinfo/index.html>

IBM は、お知らせすることなく、この Web サイトを改善、変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

記録用紙

オプション・リスト

ご使用の ThinkPad の機能に該当する項目を次のリストに記載してください。デバイスが 2 つ以上ある場合は、それぞれについて記入してください。たとえば、DIMM が 2 枚ある場合は、「DIMM」のチェックボックスにチェック・マークを付けて、「128 MB x 2」と記入します。

DIMM _____MB

PC カード

ハードディスク・ドライブ
_____MB

バッテリー・パック

外付けディスク・ドライブ

DVD/CD-ROM ドライブ

ID 番号

製造番号のラベルは、ThinkPad 本体の底面にあります。下の枠内に機種および製造番号(S/N) を記入してください。

| | |
|---------|---------------|
| IBM 製品名 | ThinkPad 600X |
| 機種 | 2645- _____ |
| 製造番号 | _____ |

ThinkPad の製造番号ラベルの位置 → 4 ページ

不具合記録用紙

- ThinkPad の情報:

機種: _____

製造番号: _____

購入日: __/__/__

- 不具合のタイプ:

継続する不具合 一時的な不具合

- エラー・コード:

- オペレーティング・システムとバージョン番号 (ご存じの場合):

Windows 98 バージョン _____

Windows 95 バージョン _____

Windows NT バージョン _____

- 不具合発生時に実行していたアプリケーション・プログラム:

- 不具合の症状:

不具合の内容を具体的に書いてください。

- 不具合を再現できましたか？

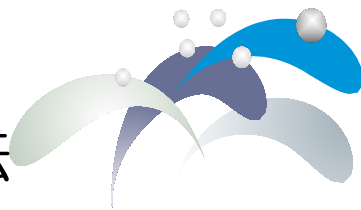
はい いいえ

「はい」の場合、どのようにして再現しましたか？



第2章

ThinkPad の機能拡張法




本章では、ThinkPad の機能をカスタマイズし、拡張する方法について説明します。外付けデバイスを接続して ThinkPad を使用したり、メモリーを増設したりすることができます。

| | |
|----------------------------|----|
| トラックポイントのカスタマイズ | 45 |
| メモリーの増設 | 49 |
| DIMM の取り付け | 50 |
| DIMM の取り外し方法 | 54 |
| ハードディスク・ドライブのアップグレード | 56 |
| マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続 | 60 |
| マウスまたは数値キーパッドの接続 | 60 |
| 外付けキーボードとマウスの接続 | 62 |
| トラックポイント機能 | 64 |
| 外付けディスプレイの接続 | 65 |
| ThinkPad へのテレビの接続 | 69 |
| テレビ出力機能を使用するときの注意事項 | 71 |
| デュアル・ディスプレイ機能の使用 | 72 |
| デュアル・ディスプレイ機能を使用不可にするには | 74 |
| デュアル・ディスプレイ機能の使用について | 75 |
| PC カードの取り付け | 76 |
| PC カードの取り外し | 79 |
| 拡張ユニットの使用 | 80 |
| コールド・ドッキング | 81 |
| コールド・アンドドッキング | 84 |
| ホット・ドッキングおよびウォーム・ドッキング | 84 |
| ホット・アンドドッキングとウォーム・アンドドッキング | 84 |
| リソースの競合を避けるためのデバイスの事前設定 | 86 |
| 拡張ユニットの IDE ドライブの使用 | 87 |
| ウルトラスリムベイ・デバイスの交換 | 91 |
| ウルトラスリムベイのデバイスのウォーム・スワップ | 92 |

| | |
|---|----|
| ディスク・ドライブの外付け接続 | 94 |
| 外付けディスク・ドライブ取り付けキットからディスク・ドライブを取り外すには | 96 |

トラックポイントのカスタマイズ

トラックポイントをカスタマイズする手順は、次のとおりです。

- 1 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
- 2 「トラックポイント」アイコン () をクリックします。
- 3 「トラックポイントのプロパティ」をクリックします。
「トラックポイントのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
このウィンドウで、次の機能を設定できます。

- プレス・セレクト
- 感度
- スクロールまたは拡大表示

「プレス・セレクト」の設定



「プレス・セレクト - オン」のボックスを選択してプレス・セレクトを使用可能にすると、トラックポイントのスティックを、左クリック・ボタンまたは右クリック・ボタンと同じように機能させることができます。

- 「ドラッグ - オン」にチェック・マークを付けると、トラックポイントのスティックを軽く押すことで、トラックポイントで選択したアイコンをドラッグできるようになります。

- 「リリース・セレクト - オン」にチェック・マークを付けると、トラックポイントからすばやく指を離すだけで、簡単にクリックできるようになります。マウス・ポインターをアイコン上に移動した後、トラックポイントからすばやく指を離した瞬間にクリックが入力されます。続けてトラックポイントをもう一度押すとダブルクリックと同様の効果が得られます。
- 「プレス・セレクトへの割り当て」プレス・セレクトに左ボタン、右ボタンのどちらの機能をもたせるかを選択します。たとえば、「左ボタン」を選択すると、マウス・ポインターをプログラムのアイコンに合わせ、トラックポイントのスティックを軽く押すことにより、そのプログラムを始動できるようになります。

スティックを押すタイミングの調節は、「クリックの速さ」で設定します。



クリックの速さの設定を遅くし過ぎた場合は、意図しないクリック、マウス・ポインターの遅れ、またはドラッグの遅れなどが起こることがあります。ただし、設定を速くし過ぎると、プレス・セレクトの操作が困難になります。

「感度」の設定



この機能は、ポインターとプレス・セレクトの両方の感度を同時に調節します。マウス・ポインターを移動するときの抵抗を強くし、プレス・セレクトをより強く押し入力するには、スライドを「重く」の方向に動かします。マウス・ポインターを移動するときの抵抗を軽くし、プレス・セレクトを弱く押すだけで入力するには、スライドを「軽く」の方向に動かします。

「スクロールまたは拡大表示」の設定



「スクロール機能」タブをクリックすると、トラックポイントのスクロールのプロパティを設定できます。

- スクロールまたは拡大表示機能の選択
次のラジオ・ボタンのどれか 1 つを選択します。
 - 「スクロール」
この機能を選択すると、トラックポイントを押すだけで、長い文書や大きなスプレッドシートを簡単にスクロールすることができます。スクロールするには、スクロール・バーを使わずに、センター・ボタンを押しながらトラックポイントを動かします。
 - 「拡大表示」
この機能を選択すると、ディスプレイの一部を拡大することができます。また、拡大表示されたウィンドウを通してクリックを入力することもできます。右クリック・ボタンでは、拡大表示されたウィンドウのサイズを変更し、左クリック・ボタンでは、その拡大率を変更します。センター・ボタンを押しながら、トラックポイントを動かすと、拡大表示されたエリアを移動することができます。
 - 「オフ」
これを選択すると、スクロール機能も拡大表示機能も使用できなくなります。
- 「スクロール方法」
次のラジオ・ボタンのどれか 1 つを選択します。

- 「センター・ボタンを押しながらトラックポイント」
このオプションを選択すると、センター・ボタンを押しながらトラックポイントを動かして、スクロール機能または拡大表示機能を制御することができます。センター・ボタンが押されていない状態では、トラックポイントは通常の動作、つまり、マウス・ポインターの制御を行います。
- 「外付けのマウスを使う」
このオプションを選択すると、外付けで接続されているマウスで上下左右にスクロール(または拡大表示されたウィンドウを移動)させることができます。この場合にトラックポイントは単にマウス・ポインターの制御を行います。
- 「トラックポイント」
このオプションを選択すると、センター・ボタンを押さずにトラックポイントで上下左右にスクロールするように設定できます。マウスを外付けで接続し、マウス・ポインターとして使用します。

センター・ボタンを押しながら、トラックポイントを動かすと、通常通りマウス・ポインターの制御を行います。

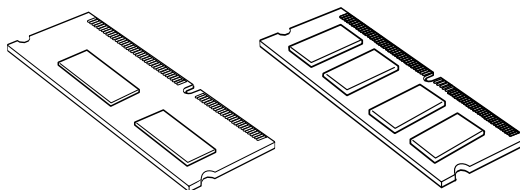


「外付けマウスを使う」ボタンおよび「トラックポイント」ラジ
オ・ボタンは、マウスを接続し、トラックポイントが使用可能にな
っているときのみ選択できます (→ 64ページの『トラックポイ
ント機能』)。

- 「スクロール機能ガイドを表示する」
このオプションを選択し、センター・ボタンを 3 回クリックすると、
「スクロール機能ガイド」が表示されます。この機能は、センター・
ボタンの使用方法に関するヘルプを表示します。

メモリーの増設

メモリーの増設は、プログラムの実行速度を速くするのに効果的な方法です。ThinkPad のメモリー容量は、オプションのメモリー・モジュール(DIMM) を取り付けて増やすことができます。



さまざまな容量の DIMM があります。DIMM は、ThinkPad の底面のメモリー・スロットに直接取り付けます。

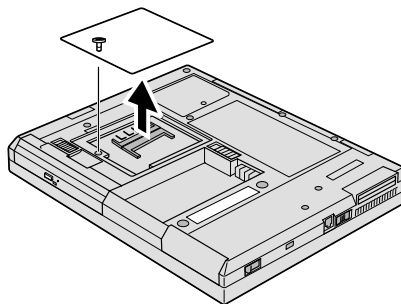
重要

ご使用の ThinkPad でサポートするのは、100 MHz (PC-100) の SDRAM (Synchronous Dynamic Random Access Memory) カードだけです。EDO DRAM (Extended Data Output Dynamic Random Access Memory) カードや 66 MHz の SDRAM はサポートされません。ThinkPad でサポートされていない DIMM を取り付けた場合は、システムの始動時に、エラー・コード 225 が表示される可能性があります。適切なメモリー・オプションは、IBM 特約店または IBM 営業担当員を通じてお求めになれます。

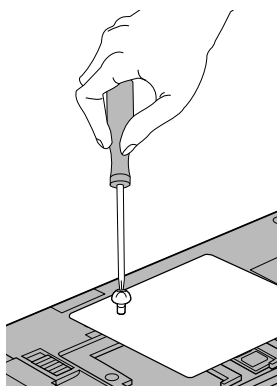
DIMM の取り付け

DIMM を取り付ける手順は、次のとおりです。

- 1 ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターやケーブル類をすべて取り外します。
- 2 LCD を閉じて ThinkPad を裏返し、バッテリー・パックを取り外します。(→38 ページ)
- 3 メモリー・スロット・カバーのネジを緩め、カバーを取り外します。



重要



ドライバーの取り扱い

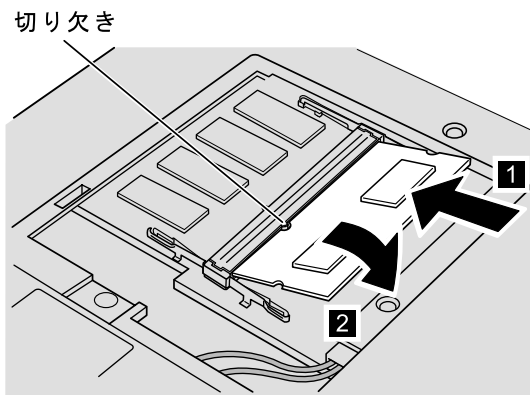
- ねじに合ったドライバーを使用します。
- ドライバーは、ねじ頭に垂直に当てて使用します。

ドライバーは正しく使用してください。そうしないと、ねじを損傷する場合があります。

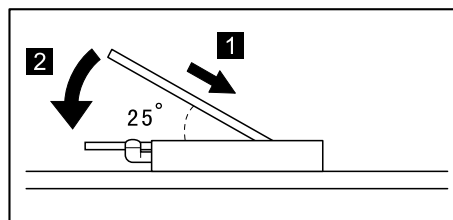
重要

DIMM の損傷を避けるため、DIMM の接点部分には手を触れないでください。

- 4 DIMM の側面に切り欠きがあることを確認します。
- 5 DIMM の切り欠きのある側をソケットの側に向けて、DIMM を約 25° の角度でソケットに差し込んでから、しっかりと押し込みます **1**。
- 6 カチッと音がして正しい位置に収まるまで DIMM を手前に倒します **2**。



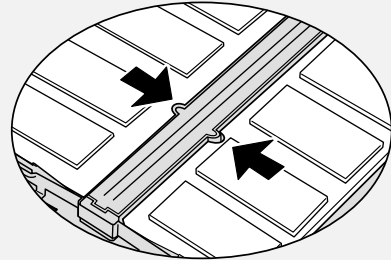
側面図





2 つの DIMM を取り付けることができます。2 つ目の DIMM を取り付けるには、4 から 6 のステップを繰り返します。

ソケットの突起と DIMM の切り欠きを確実に合わせてください。



7 最初にメモリー・スロット・カバーの後ろ側を合わせてから、カバーを元通りにメモリー・スロットの上に取り付け、ねじで締めます。

8 バッテリー・パックを元に戻します。(➡ 38 ページ)

9 ThinkPad を表に向けてから、電源をオンにします。

10 画面の左上隅に新しいメモリー・サイズが表示されるかどうか確認します。

たとえば、64 MB のメモリーが標準装備されている ThinkPad に 32 MB の DIMM を取り付けた場合は、次のように表示されるはずです。(合計メモリー・サイズを計算する方法については、次のページを参照してください。)

097728 KB OK

これで、DIMM の取り付けは完了しました。すべてのケーブルを元通りに接続してください。



1. 次のような状況が生じた場合は、ThinkPad の電源をオフにし、50 ページに戻って DIMM を取り付け直し、Easy-Setup でメモリー・テストを実行します。

- メモリー・カウントの下にエラー・コード 201 が表示された場合。

```
048576 KB OK
201
```

- メモリー・サイズの合計が、計算したサイズと違う場合。
2. エラー・コード 225 が表示されるのは、取り付けたメモリーが ThinkPad でサポートされていない場合です。
3. ThinkPad のメモリー容量を変更した場合は、次のようにして、ハイバネーション・ファイルを作成し直す必要があります。
- a) ThinkPad の電源をオフにします。
 - b) 追加した DIMM を取り外します。
 - c) ThinkPad の電源をオンにし、ハイバネーション・モードを使用不可にします。
 - d) DIMM を追加します。
 - e) ハイバネーション・モードを使用可能にします。

ハイバネーション・モードを使用不可および使用可能にする方法 → [オンライン・ユーザズ・ガイド](#)



メモリー合計サイズの計算方法

メモリー・サイズの合計は、メモリー・サイズ (64960 KB) に DIMM のメモリー・サイズを加えて、キロバイト (KB) 単位で計算します。

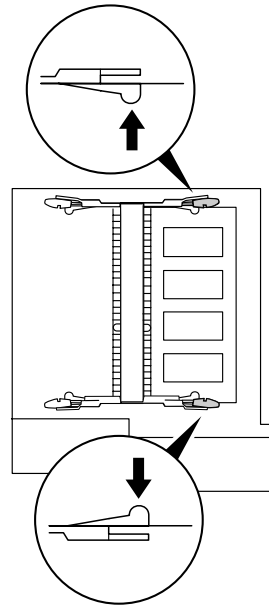
たとえば、64 MB の基本メモリーが装備されている ThinkPad に 32 MB の DIMM を取り付けけた場合は、約 96 MB になるはずですが。

ThinkPad では、メモリー・サイズがキロバイトで表示される場合があります。たとえば、96 MB のときは 97728 KB と表示されます。

注: 576 KB は、システムで予約されています。

DIMM の取り外し方法

- 1 ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターおよびケーブル類をすべて取り外します。
- 2 LCD を閉じて ThinkPad を裏返し、バッテリー・パックを取り外します。
- 3 メモリー・スロット・カバーのねじを緩めて、カバーを取り外します。
- 4 ソケットの両端のラッチ部分を同時に外側に押します。



- 5 DIMM を取り外します。
DIMM は安全な場所に保管しておいてください。
- 6 メモリー・スロット・カバーを取り付けてから、ねじを元通り締めます。
- 7 バッテリー・パックを元通りに取り付けます。

- 8 ThinkPad を元通りの向きに置いてから、取り外した AC アダプターやケーブル類を接続し直します。

ハードディスク・ドライブのアップグレード

ThinkPad に標準装備されている内蔵ハードディスク・ドライブをオプションのハードディスク・ドライブと交換すると、ThinkPad の記憶容量を増やすことができます。オプションのハードディスク・ドライブは、IBM 特約店または IBM 営業担当員を通じてお求めいただけます。



ハードディスク・ドライブの交換は、アップグレードや修理の目的でのみ行ってください。本機のハードディスク・ドライブは、たびたび交換するようには設計されていません。



ハードディスクの取り扱いについて

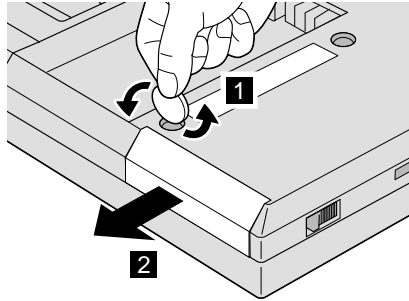
- 落としたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- カバーに圧力をかけないでください。
- コネクターには触れないでください。

このドライブは、非常にデリケートです。取り扱いを誤ると、重大な損傷やハードディスク内のデータの損失の原因となります。ハードディスク・ドライブを取り外す前に、ハードディスク内のすべての情報のバックアップ・コピーを作成してください。システムの作動中やサスペンド・モード中、あるいはハイバネーション・モード中には、ハードディスク・ドライブを絶対に取り外さないでください。

ハードディスク・ドライブを交換する手順は、次のとおりです。

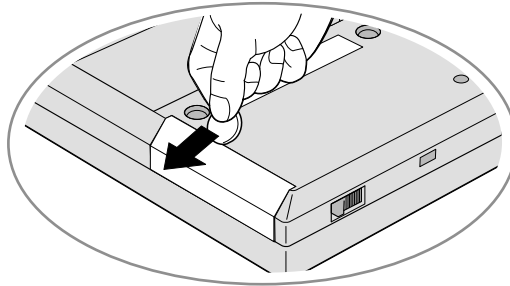
- 1 ThinkPad の電源をオフにしてから、AC アダプターおよびすべてのケーブル類を ThinkPad から抜き、ThinkPad を裏返します。
- 2 バッテリー・パックを取り外します。(→38 ページ)

- 3** **1** で示すように、コインを用いてマイナスねじを左回りに回して外してから、ハードディスク・ドライブ・カバーを取り外します **2**。

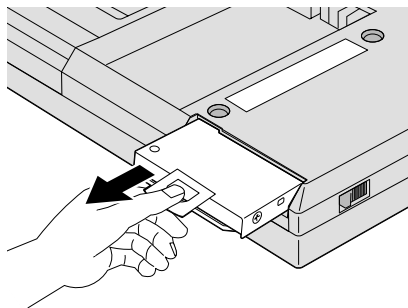


注意

つめでハードディスク・ドライブ・カバーを開けないでください。つめを痛める恐れがあります。ハードディスク・ドライブ・カバーを開く場合は、コインを使用してください。



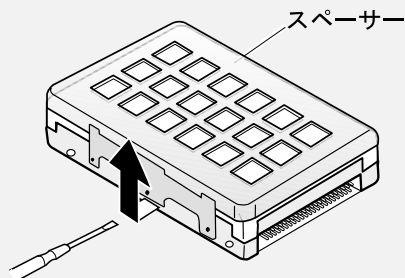
- 4** ハードディスク・ドライブのテープを引っ張って、ハードディスク・ドライブを取り外します。



5 新しいハードディスク・ドライブをベイに挿入します。ドライブがしっかりと接続されていることを確認してください。



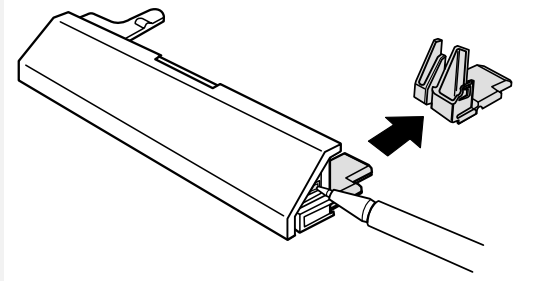
- ハードディスク・ドライブのコネクター・ピンが曲がらないように注意してください。
- ハードディスク・ドライブをベイに差し込むときは、無理に力を加えないようにします。コネクターはデリケートなので、損傷する恐れがあります。
- 取り付けるハードディスク・ドライブにスペーサーが付いている場合は、小型のドライバーなどを使ってスペーサーを外します。



6 ハードディスク・ドライブ・カバーを元通り取り付け、ねじを締めます。



- マイナスねじをセキュリティーねじに交換すると、ハードディスク・ドライブを簡単に取り外せないのですることができます。詳細情報 → 114ページの『セキュリティーねじの使用』
- ハードディスク・ドライブを取り付けた後、ハードディスク・ドライブのカバーがぴったりと納まらないときは、ハードディスク・ドライブ・カバーの横を押し、ボールペンの先などを使って、スペーサーを取り外します。




7 バッテリー・パックを元通りに取り付けます。(→ 38 ページ)

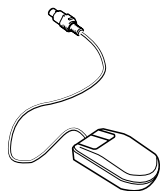
8 ThinkPad を元通りの向きにして、電源をオンにします。

マウス、数値キーパッド、および外付けキーボードの接続

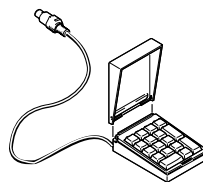
ここでは、ThinkPad にマウス、数値キーパッド、および外付けキーボードを接続する手順について説明します。

マウスまたは数値キーパッドの接続

マウスまたは数値キーパッドを、ThinkPad 背面の外付け入力装置コネクタ () に外付けで接続することができます。

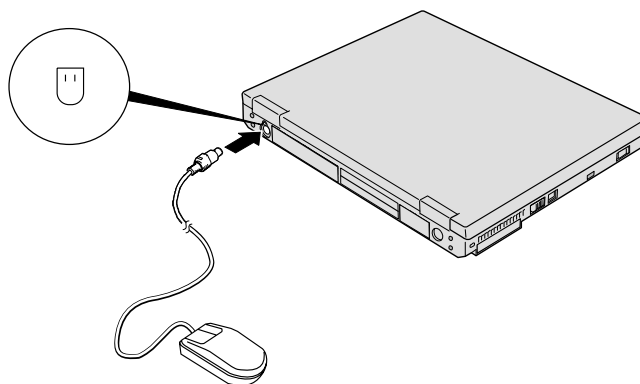


マウス

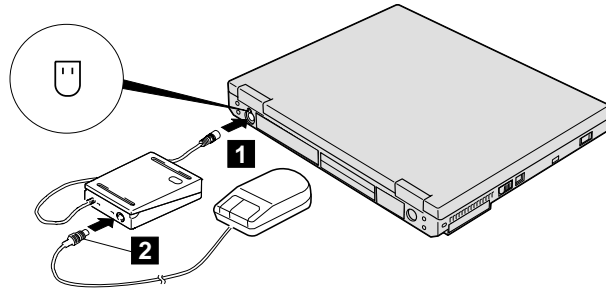


数値キーパッド

マウスを接続する場合は、図のように外付け入力装置コネクタに直接接続します。



数値キーパッドとマウスの両方を同時に使用する場合は、まず数値キーパッドのケーブルを ThinkPad 本体に接続し **1**、次にマウス・ケーブルを数値キーパッドの背面にあるコネクタに接続します **2**。



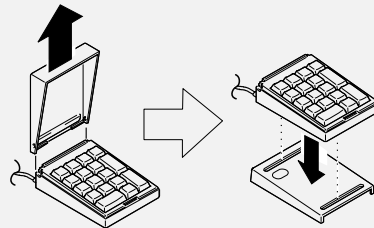
重要

IBM ミニマウスまたはモバイル・マウスとトラックポイントの両方を入力デバイスとして使用できます。IBM ミニマウス以外のマウスの接続

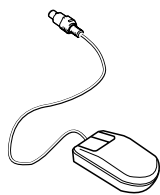
➔ 64ページの『トラックポイント機能』

注意

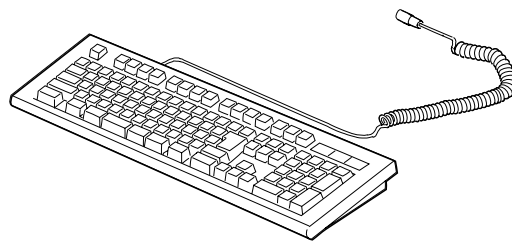
数値キーパッド・カバーを取り外し、数値キーパッドのスタンドとして使用できます。



外付けキーボードとマウスの接続



マウス



外付けキーボード

ThinkPad に外付けキーボードを接続する場合は、次のどちらかを使用してください。

- オプションのキーボード/マウス・コネクタ (オプション)
- セレクタベース 600 (ポートリプリケータ機能) (オプション)

外付けキーボードは、**ThinkPad** 本体の外付け入力装置コネクタに直接接続しても、作動しません。

オプションの詳細については、IBM の発行するシステム・ガイドやカタログなどを参照してください。

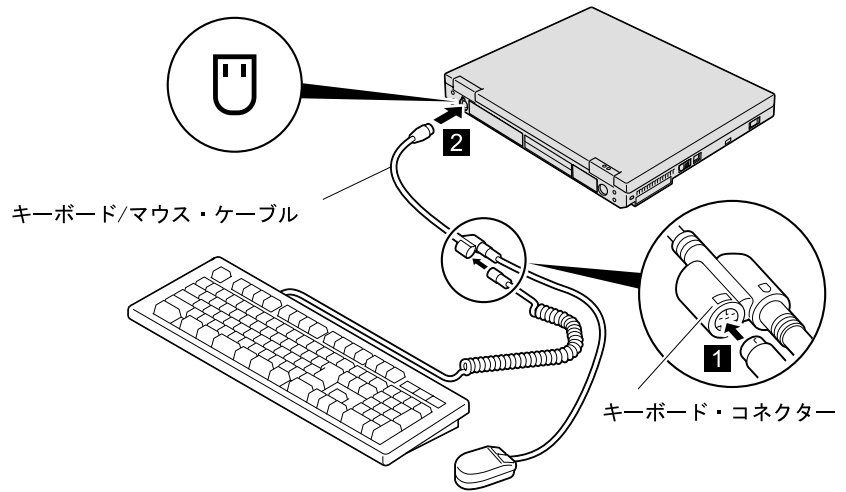
外付けキーボードを接続すると、次のキーが使用できなくなります。

- ThinkPad 本体のキーボード上の数値キーパッド
- 外付けの数値キーパッド

代わりに、外付けキーボードの数値キーパッドを使用してください。

外付けキーボードを接続するには、まず ThinkPad の電源をオフにします。次に、キーボード/マウス・ケーブルのキーボード・コネクタにキーボードを接続し **1**、ThinkPad にキーボード/マウス・ケーブルを接続します **2**。

マウスは、キーボード/マウス・コネクタのマウス・ポートに接続します。



IBM ThinkPad スペース・セーバー・キーボードの使用

IBM ThinkPad スペース・セーバー・キーボードを使用する場合は、そのキーボードに付属のデバイス・ドライバーをインストール しないでください。ThinkPad の電源をオンにすると、ThinkPad のユーティリティー・ディスクセット上のデバイス・ドライバーが自動的にトラックポイントを使用可能または使用不可にします。

トラックポイント機能

トラックポイントは、デフォルト設定で「自動使用不可」になっています。この設定では、外付け入力装置コネクタにマウスが接続されていて、次の条件のいずれかを満足すれば、トラックポイントは自動的に使用不可になります。

- システムが起動する。
- システムがサスペンド・モードからレジューム (通常モードに復帰) する。
- ThinkPad が拡張ユニットに接続される。

外付けマウスを接続していなければ、トラックポイントは使用可能になります。

トラックポイントを「使用する」に設定してあれば、トラックポイントは、IBM ミニーマウスと互換性のあるマウスと同時に使用できるように設計されています。

トラックポイントを使用可能にする手順は、次のとおりです。

1 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。

27ページの『「ThinkPad 機能設定」プログラム』を参照してください。

2 「トラックポイント」() ボタンをクリックします。

3 ドロップダウン・メニューの「使用する」をクリックします。

4 「OK」ボタンをクリックします。



マウスをシリアル・コネクタまたは USB コネクタに接続して使用している場合は、トラックポイントを同時に使用しないでください。「使用する」や「自動使用不可」ではなく、「使用しない」をクリックします。


外付けディスプレイの接続

ここでは、ThinkPad の LCD と外付けディスプレイ (CRT) の使用方法について説明します。

ThinkPad の LCD には、*TFT* (Thin-Film-Transister) テクノロジーが採用されています。この LCD では、XGA (1024x768 の解像度) ビデオ・モード、約 1,677 万色で出力を表示します。



VGA (640x480 の解像度)モードよりも高解像度をサポートする外付けディスプレイを接続すれば、最大 1280x1024 の解像度で表示できます。

外付けディスプレイを接続する手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad の電源をオフにします。
- 2** 外付けディスプレイ (CRT) を、ThinkPad 背面の外付けディスプレイ・コネクタ () に接続してから、電源コンセントに接続します。
- 3** 外付けディスプレイ (CRT) と ThinkPad の電源をオンにします。

- 4** 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。

➡ 27ページの『「ThinkPad 機能設定」プログラム』

- 5 「LCD と CRT ディスプレイ両方」 () ボタン、または「CRT ディスプレイ単独」 () ボタン (Windows 98 の場合は、画面の左上にあり、Windows NT の場合は、画面の上部中央やや右寄りにあります) をクリックして、表示先を選択します。

重要

- ムービーの再生中やゲームのプレイ中など、動画の作動中は、ディスプレイの表示モードを変更しないでください。アプリケーションをいったん終了してからディスプレイの表示モードを変更してください。
- 「LCD と CRT ディスプレイ両方」の機能を使用する場合は、外付けディスプレイの解像度とリフレッシュ・レートがご使用の ThinkPad と同一である必要があります。使用する外付けディスプレイの解像度とリフレッシュ・レートが、ThinkPad LCD の解像度 (1024 x 768) およびリフレッシュ・レート (60 Hz) をサポートしない場合は、「LCD と CRT ディスプレイ両方」を使用しないでください。



Fn+F7キーを押して、表示出力先を変更することもできます。

- 6 ご使用のディスプレイを次のように設定します。



サポートされる色数および解像度の説明 → 67ページの『解像度、色数、およびリフレッシュ・レート』

- a) 「スタート」ボタンをクリックします。
- b) マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。
- c) 「画面」をダブルクリックします。
- d) 「設定」タブを選択します。
- e) 「詳細...」をクリックします。
- f) 「モニタ」タブをクリックします。
- g) 「変更...」をクリックします。

「デバイス・ドライバーの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。画面の指示に従って、ディスプレイ・リストからディスプレイのタイプを選択し、新しい解像度、色数、およびリフレッシュ・レートをクリックします。

7 ThinkPad を再起動して、新しい設定を有効にします。

重要

ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときに、外付けディスプレイを取り外さないでください。
ThinkPad が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、**LCD** には何も表示されません。この制限事項は、いずれの解像度でも同様です。

解像度、色数、およびリフレッシュ・レート

次の表は、ThinkPad または外付けディスプレイで表示可能な解像度、色数、およびリフレッシュ・レートを示しています。この表を使用して、表示出力先（「LCD 単独」、「CRT ディスプレイ単独」、または「LCD と CRT ディスプレイ両方」）を設定します。



オペレーティング・システムのインストール時には、ThinkPad に付属の 1024x768 (XGA) モードを使用するためのディスプレイ・ドライバーをインストールする必要があります。

- 出力を LCD、または LCD と外付けディスプレイの両方に表示する場合 (「**LCD 単独**」 または 「**LCD と CRT ディスプレイ両方**」)

| 解像度 | サポートされている色数 |
|--------------------|----------------------------|
| 640 x 480 (VGA) | 256、65,536 色、および約 1,677 万色 |
| 800 x 600 (SVGA) | 256、65,536 色、および約 1,677 万色 |
| 1024 x 768 (XGA) | 256、65,536 色、および約 1,677 万色 |
| 1280 x 1024 (SXGA) | 256 (仮想画面) |



「仮想画面」機能を使用して、ThinkPad で生成される高解像度画面イメージを表示することができます。隠れている部分は、トラックポイントや他のポインティング・デバイスを動かすことで見ることができます。

- 出力を外付けディスプレイに表示する場合 (「**CRT ディスプレイ単独**」)

| 解像度 | サポートされている色数 | リフレッシュ・レート |
|--------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 640 x 480 (VGA) | 256、65,536 色、および約 1,677 万色 | 60 Hz、75 Hz、または 85 Hz |
| 800 x 600 (SVGA) | 256、65,536 色、および約 1,677 万色 | 60 Hz、75 Hz、または 85 Hz |
| 1024 x 768 (XGA) | 256、65,536 色、および約 1,677 万色 | 60 Hz、70 Hz、75 Hz、または 85 Hz |
| 1280 x 1024 (SXGA) | 256 | 60 Hz |




外付けディスプレイ (CRT) の機種によって、解像度やリフレッシュ・レートが制限されることがあります。

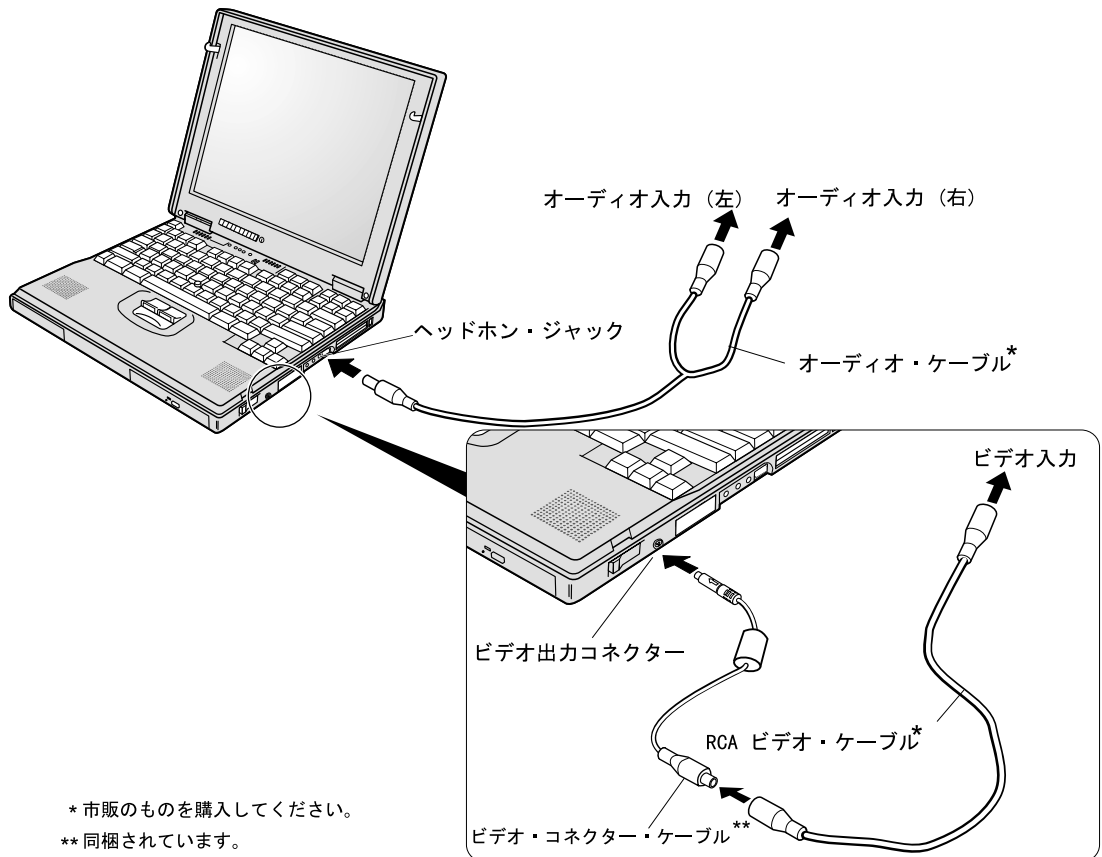
ThinkPad へのテレビの接続

ThinkPad にはビデオ出力アイコンがありますが、ビデオ出力機能をサポートするのは一部のモデルのみです。このセクションは、ビデオ出力コネクタが付いていてビデオ出力機能をサポートするモデルにのみ該当します。

TV を使用する場合の考慮事項 → 71ページ

ThinkPad 本体にテレビ (NTSC または PAL 型式) を接続し、ThinkPad の出力を表示させることができます。ThinkPad の出力をテレビで表示させる手順は、次のとおりです。

- 1 ThinkPad とテレビの電源をオフにします。
- 2 ビデオ・コネクタ・ケーブルをビデオ出力コネクタに接続し ()、次にその他の必要なケーブルをテレビに接続します。



* 市販のものを購入してください。

** 同梱されています。

- 3** ThinkPad 本体のヘッドホン・ジャックにオーディオ・ケーブルを接続し、次にそのケーブルをビデオ装置のオーディオ入力コネクタに接続します。

ビデオ装置にオーディオ入力コネクタが 1 つしかない場合は、オーディオ・ケーブルの左オーディオ・コネクタを使用します。

- 4** ビデオ出力コネクタ (TV 出力) は、次のように使用可能にします。

- a) 「スタート」ボタンをクリックします。
- b) マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。
- c) 「画面」をダブルクリックします。
- d) 「設定」タブを選択して、「詳細...」をクリックします。
- e) 「NeoMagic」タブで、「TV」チェック・ボックスを選択します。
- f) スライダーをクリックして、TV 解像度を 640 x 480 または 800 x 600 に選択します。
- g) 「詳細」ボタンをクリックします。
- h) 「TV オプション」タブを選択します。
- i) 「標準 TV 出力」フィールドで NTSC を選択します。
- j) 「出力の選択」フィールドで「コンポジット」(ビデオ端子) を選択します。



- 「フリッカー防止」チェック・ボックスを選択すると、画面上のフリッカーを低くできます。
- 「コントラスト」および「輝度」は、「出力オプション」フィールドで変更できます。

- k) 「OK」をクリックして、ウィンドウをクローズします。
- l) 「OK」をクリックして、変更を適用します。
- m) 「OK」ボタンをクリックします。



Windows NT ユーザーは、4dと4m のステップを省略してください。

テレビ出力機能を使用するときの注意事項

テレビ出力機能を使用するときには注意することがいくつかあります。

- 次の表には、テレビを使用する場合のディスプレイ・モードが示してあります。

| 解像度 | 色数 | テレビのディスプレイ・モード |
|-------------|----------------|---|
| 640 x 480 | 256、 65,536 | イメージ全体が画面に表示されます。 |
| 800 x 600 | | |
| 1024 x 768 | 256、 65,536 | イメージは仮想画面として表示されます。(LCD では、イメージ全体が画面に表示されます。) |
| 1280 x 1024 | 256 | イメージは仮想画面として表示されます。 |



- テレビでは約 1,677 万色は使用できません。テレビだけの出力表示はできません。
- テレビは、LCD と一緒に使用できますが、外付けディスプレイ (CRT) と一緒に使用することはできません。

- テレビで DOS 全画面 (VGA モード) を使用すると、画面には何も表示されません。
- ビデオ・クリップ (AVI または MPEG ファイル) を再生している場合に、ウィンドウ上にマウス・ポインターを移動すると、マウス・ポインターがイメージの下に隠れます。
- デュアル・ディスプレイ・モードの場合、またはイメージをテレビと LCD で同時に表示している場合は、**Fn + F7** (ディスプレイ切り替え) 機能は使用できません。
- テレビをセカンダリー・ディスプレイまたは同時表示としてこの機能を使用するには、ThinkPad を起動するたびに、テレビ設定を使用可能にする必要があります。
- テレビがセカンダリー・ディスプレイまたは同時表示として使用されている場合は、テレビの縦横比 (画面の形状) によって、最も小さい解像度を設定した場合でも、イメージの端が切れてしまうので、注意してください。

デュアル・ディスプレイ機能の使用

Windows 98 では、マルチモニタ サポート 機能を提供していますが、ThinkPad では、Windows 98 環境で デュアル・ディスプレイ 機能をサポートします。この機能により、Windows 98 のデスクトップは、LCD と CRT ディスプレイの組み合わせ、または LCD とテレビの組み合わせ (ただし、ThinkPad にビデオ出力コネクタが装備されている場合) に出力を表示することができます。それぞれのディスプレイに異なるデスクトップ・イメージを表示することができます。

デュアル・ディスプレイを使用する場合の考慮事項 → 75 ページ

ThinkPad へのテレビの接続 → 69 ページ



- テレビでデュアル・ディスプレイ機能を使用可能にするには、まず CRT を接続します。CRT でデュアル・ディスプレイ機能を使用可能にした後、出力場所をテレビに変更します。
- この操作中に、ThinkPad を再起動する必要があります。この機能を使用可能にする前に、作成したデータを保存し、アプリケーションを閉じてください。

デュアル・ディスプレイを使用可能にする手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad に外付けディスプレイ (CRT) またはテレビを接続します。



TV とのデュアル・ディスプレイでも、一度 CRT を接続してください。

- 2** 「スタート」ボタンをクリックします。
- 3** マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。
- 4** 「画面」をダブルクリックします。
- 5** 「設定」タブを選択します。

- 6 「詳細...」をクリックします。
- 7 「NeoMagic」タブを選択します。
- 8 「デュアルディスプレイ設定」チェック・ボックスを選択し、「OK」をクリックします。
オペレーティング・システムの再起動を指示するプロンプトが出されません。
- 9 「はい」をクリックして、ThinkPad を再起動します。
- 10 再起動後、コントロール パネルの「画面」をダブルクリックして、もう一度「画面のプロパティ」ウィンドウを開きます。
- 11 「設定」タブを選択します。
番号が割り当てられた 2 つのディスプレイのイメージが表示されます。
- 12 「モニター -2」アイコン (セカンダリー・ディスプレイである CRT またはテレビを表します) をクリックします。
- 13 「はい」をクリックして、「モニター -2」を使用可能にします。
- 14 「モニター -1」アイコン (プライマリー・ディスプレイである LCD を表します) をクリックします。
- 15 プライマリー・ディスプレイの色数および解像度を選択します。
- 16 「モニター -2」アイコン (セカンダリー・ディスプレイである CRT またはテレビを表します) をクリックします。
- 17 セカンダリー・ディスプレイの色数および解像度を選択します。
- 18 それぞれのディスプレイのアイコンをドラッグして、相対位置を設定します。



ディスプレイの相対位置は任意に設定できますが、アイコンは相互に接触している必要があります。

19 「OK」をクリックして、変更を適用します。

デュアル・ディスプレイ機能を使用不可にするには

- 1 「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。
- 3 「画面」をダブルクリックします。
- 4 「設定」タブを選択します。
- 5 「モニタ -2」アイコン (セカンダリー・ディスプレイである CRT またはテレビを表します) をクリックします。
- 6 「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」チェックボックスのチェック・マークを消します。

セカンダリー・ディスプレイ (モニタ -2) が使用不可になります。

デュアル・ディスプレイ機能を完全に使用不可にしたいときは (たとえば、セッションで、後に再び使用する場合など)、「OK」をクリックして、これ以降のステップは省略してください。この場合、ディスプレイ・アイコン (「モニタ -2」アイコン) をクリックすれば、セカンダリー・ディスプレイを使用可能にできます。

デュアル・ディスプレイ機能を完全に使用不可にする場合 (パフォーマンスの向上または一部の制限を取り除くため) は、次の手順を続けます。(12 (73ページ) からのステップを実行すれば、この機能をいつでも使用可能に戻すことができます。)

- 7 「詳細...」をクリックします。
- 8 「NeoMagic」タブを選択します。
- 9 「デュアルディスプレイ設定」チェック・ボックスのチェック・マークを外します。
- 10 「OK」ボタンをクリックします。

「システム設定変更」ウィンドウが表示され、オペレーティング・システムの再起動を指示するプロンプトが出されます。

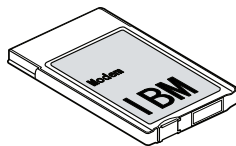
11 「はい」をクリックして、ThinkPad を再起動します。

デュアル・ディスプレイ機能の使用について

- プライマリー・ディスプレイは常に ThinkPad の LCD であり、セカンダリー・ディスプレイは CRT またはテレビのどちらかです。
- テレビでデュアル・ディスプレイ機能を使用可能にするには、まず CRT を接続します。CRT でデュアル・ディスプレイ機能が使用可能にした後、出力場所をテレビに変更します。
- CRT またはテレビのどちらかであるセカンダリー・ディスプレイには、最大 65,536 色まで選択することができます。
- セカンダリー・ディスプレイには、最大 1024x768 の解像度まで選択できます。
- CRT をセカンダリー・ディスプレイに設定していて、DOS 全画面を表示したい場合は、プライマリー (LCD) もセカンダリー (CRT) も DOS 全画面モードになります。
- デュアル・ディスプレイ機能を使用中にビデオ・クリップ (AVI または MPEG ファイル) を再生すると、LCD 上のみで、イメージがオーバーレー表示になります。
- ビデオ・クリップ (AVI または MPEG ファイル) を再生している場合に、ウィンドウ上にマウス・ポインターを移動すると、マウス・ポインターがイメージの下に隠れます。
- DirectDraw または Direct3D を使用するアプリケーションを全画面モードで再生すると、プライマリー・ディスプレイ (LCD) にしか表示されません。
- デュアル・ディスプレイ・モードの場合、またはイメージをテレビと LCD で同時に表示している場合は、**Fn + F7** (ディスプレイ切り替え) 機能は使用できません。

PC カードの取り付け

ここでは PC カードの取り付け方法について説明します。PC カード・ソフトウェアの使用方法的説明 ➡ [オンライン・ユーザーズ・ガイド](#)



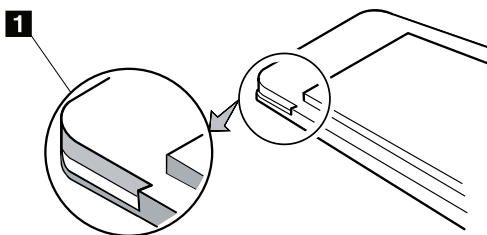
重要

ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときは、PC カードを取り付けしないでください。取り付けると、通常の操作状態に戻ったときにシステムが停止するおそれがあります。

ThinkPad には 2 つの PC カード・スロット (上段スロットと下段スロット) があり、次のタイプのカードをサポートします。

- PC カード (タイプ I、タイプ II、およびタイプ III)
- CardBus カード
- ZV (Zoomed Video)

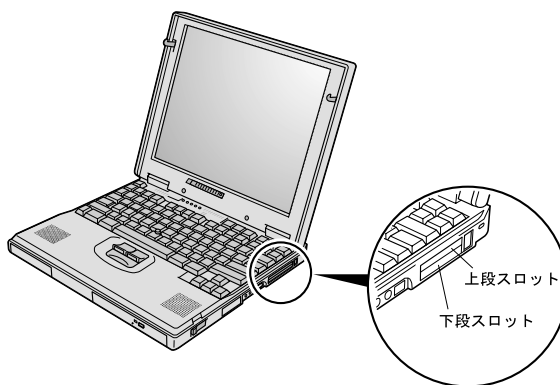
1 PC カードの切り込み **1** のある側を探します。



2 PC カードのタイプに応じて、正しい PC カード・スロットに PC カードを差し込みます。



- タイプ I またはタイプ II の PC カードは、上段スロット、下段スロットのどちらかに差し込んでください。
- タイプ III の PC カードは、下段スロットに差し込んでください。
- コンパクト・スマート・カードの中にはカードが厚くて ThinkPad の上段スロットに指し込めないものがあります。そうしたカードは、下段スロットに差し込んでください。



3 PC カードをコネクタにしっかりと差し込みます。



- **Windows 98** の場合
PC カード・ドライバーをインストールしていない場合は、Windows 98 がインストールを開始します。
- **Windows NT** の場合
ThinkPad には CardWizard という PC カード・サポート・ソフトウェアがあります。これにより、PC カードを ThinkPad に取り付けるとすぐにそのカードが使用可能になります。「SystemSoft CardWizard」ウィンドウが表示され、新しいカードの情報を知らせます。

PC カードの取り外し



ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときは、PC カードを取り外さないようにします。取り外すと、通常の操作状態に戻ったときにシステムが停止するおそれがあります。

ハードディスク PC カード、フラッシュ・メモリー PC カード、または SRAM PC カードなどのストレージ PC カードを PC カード・スロットから取り外す場合は、その前に PC カードを停止しておく必要があります。そうしないと、PC カード上のデータが破壊されたり失われたりする場合があります。

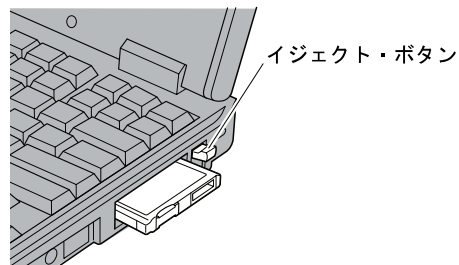
1 カードを停止します。

Windows 98 または Windows 95 で PC カードを停止するには、「PC カード (PCMCIA) のプロパティ」ウィンドウで停止したいカードを選択して、「停止」または「終了」ボタンをクリックします。

Windows NT でカードを停止するには、PC CardWizard の「アクション」メニューで「停止」を選択します。

2 PC カード・イジェクト・ボタンを押して、ボタンを飛び出させます。このボタンをもう一度押して、PC カードを取り出します。

3 PC カードを取り出し、安全な場所に保管します。



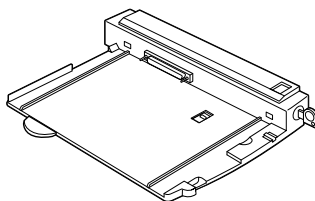
PC カードの使用に関する詳細情報 ➡ [オンライン・ユーザズ・ガイド](#)

拡張ユニットの使用

ThinkPad の本体をセレクトベース 600 (ポトリプリケーター機能) に接続し、次に拡張ユニットに接続することによって、ThinkPad の機能を拡張することができます。

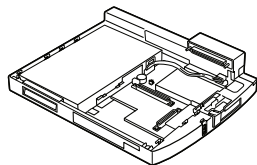


ポート・リプリケーターはオプションで、複数の入出力装置や外付けディスプレイを取り付ける場合に使用すると便利です。もちろん、これらのデバイスは、ThinkPad 本体に直接接続することもできます。

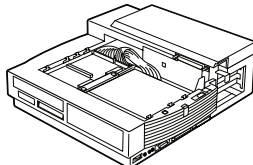


セレクトベース 600
(ポトリプリケーター機能)

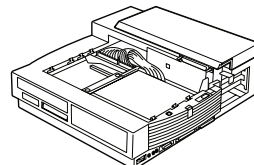
ThinkPad とセレクトベース 600 (ポトリプリケーター機能) を、次の拡張ユニットのどれかに接続 (ドッキング) することができます。



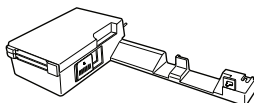
セレクトドック I



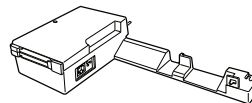
セレクトドック II



セレクトドック III



セレクトベース PC カード・イネーブラー



セレクトベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き)

ThinkPad は、次に示すような条件で拡張ユニットにドッキングすることができます。

- ThinkPad の電源がオフになっている場合 (コールド・ドッキング)
- ThinkPad がサスペンド・モードの場合 (ウォーム・ドッキング)
- ThinkPad が稼働している場合 (ホット・ドッキング)



- ハードウェア構成やオペレーティング・システムによっては、ウォーム・ドッキングやホット・ドッキングがサポートされない場合があります。ThinkPad を拡張ユニットにドッキングする方法の説明については、拡張ユニットやセクタベース 600 (ポトリプリケータ機能) に付属のユーザーズ・ガイドを参照してください。
- セクタベース 600 (ポトリプリケータ機能) 経由でセクタドック I 拡張ユニットにドッキングすると、状況インジケータの読み取りやウルトラスリムベイへのアクセスが困難になる場合があります。
- Windows 95、Windows NT、Windows 3.1、または DOS 環境では、ThinkPad を拡張ユニットにドッキングした 後で、PC カード・サポート・ソフトウェアをインストールする必要があります。PC カード・サポート・ソフトウェアをすでにインストール済みの場合は、いったんそれをアンインストールし、ThinkPad を拡張ユニットに接続した後で再インストールします。

コールド・ドッキング

次のような場合は、ThinkPad と拡張ユニットの両方の電源をオフにしてドッキング (コールド・ドッキング) しなければなりません。

- 初めて ThinkPad を拡張ユニットにドッキングする場合。

または

- デバイスの取り付けや取り外しなど、拡張ユニットのデバイス構成を変更した場合。

コールド・ドッキングは、ThinkPad に記録されていた拡張ユニットのデバイス状況をリセットします。その後は、いつでも ThinkPad を拡張ユニットにドッキングできるようになります。

ThinkPad をコールド・ドッキングする手順は、次のとおりです。

1 拡張ユニットに新しいデバイスを取り付けます。

2 電源コードまたは AC アダプターを接続します。


セレクトドック I またはセレクトドック II 拡張ユニットを使用する場合は、電源コードを拡張ユニットに、AC アダプターをセレクトベース 600 (ポートリプリケーター機能) に接続します。

セレクトドック III 拡張ユニットを使用する場合は、電源コードを拡張ユニットに接続します。

PC カード・イネーブラー、またはセレクトベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き) を使用する場合は、AC アダプターをセレクトベース 600 (ポートリプリケーター機能) に接続します。

3 拡張ユニットに ThinkPad をドッキングします。

ThinkPad を拡張ユニットにドッキングする方法については、該当の拡張ユニットに付属のユーザーズ・ガイドを参照してください。

セレクトドック I、セレクトドック II、またはセレクトドック III 拡張ユニットを使用している場合は、ドッキング状況マーク () が拡張ユニット状況インジケーターに表示され、ThinkPad が正しくドッキングされていることを示します。

重要

ディスプレイ・ドライバーのインストールを指示するプロンプトが表示された場合は、「キャンセル」をクリックして、そのウィンドウを終了します。構成情報を作成したら、ThinkPad を再起動し、ディスプレイ設定をカスタマイズする必要があります。

注意

4 ThinkPad の電源をオンにします。

Windows 98 または Windows 95 では、拡張ユニットの状況のチェックを開始し、2 回ほど再起動します。画面の指示に従ってください。

Windows 98 または Windows 95 では、この操作中に「Dock X」という名前が拡張ユニットに関する構成情報を作成します。

- X は、1 ~ 3 のどれかの数字です。
- 「バージョンが異なります」というメッセージが表示される場合があります。「このファイルを保存しますか?」というプロンプトに対しては、「はい」と応答してください。

5 Windows 98 または Windows 95で、「マイ コンピューター」、「コントロール パネル」、「システム」、「ハードウェア情報」タブを順にクリックします。

6 新しい構成情報、「Dock X」が作成されていることを確認します。また、「デバイス マネージャ」タブをクリックして、新しいデバイスが「装置一覧」に新たに表示されていることも確認します。

Dock X が作成されていない場合は、ステップ 1 からやり直してください。

デバイスの横に「!」マークまたは「x」マークが表示されている場合、リソースの競合が発生している可能性があります。この問題を解決するには → [オンライン・ユーザズ・ガイド](#)

新しい構成情報の「Dock X」が作成された後であれば、ThinkPad の電源をオンにしたままで、ThinkPad を接続したり (ドッキング)、取り外したり (アンドッキング) できます。

コールド・アンドocking

ThinkPad の電源がオフのときに、ThinkPad を拡張ユニットからアンドockingするには、次のようにします。

- 1 ThinkPad の電源をオフにします。
- 2 セキュリティー・キーを「取り出し」位置まで回してから、コンピューターを取り出します。
- 3 コンピューターを持ち上げます。

これでコールド・アンドockingができました。


ホット・Dockingおよびウォーム・Docking

コールド・Docking後の立ち上げ処理中に、オペレーティング・システムが拡張ユニットに取り付けられたデバイスを含めて、構成を設定しようと試みます。構成が設定されると、ThinkPad を拡張ユニットにホット・Dockingまたはウォーム・Dockingができます。拡張ユニット・デバイスは、すぐにThinkPad で使えるようになります。

ホット・アンドockingとウォーム・アンドocking



拡張ユニットにDockingされている ThinkPad がサスペンド・モードにならない場合は、次の手順を実行します。

1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
2. 「省電力」() ボタンをクリックします。
3. 「サスペンド/レジューム・オプション」タブをクリックします。
4. 「Docking中にサスペンド/ハイバネーションする」チェック・ボックスを選択します。

これで、ThinkPad はDocking中にサスペンド・モードに入ることができます。

ThinkPad を稼働時 (ホット・アンドocking) またはサスペンド・モード時 (ウォーム・アンドocking) に拡張ユニットからアンドockingする場合は、次の手順を実行します。

- 1 Windows 98 または Windows 95 で「スタート」ボタンをクリックし、次に、「取り出し」をクリックします。ThinkPad の LCD 画面がいったんオフになってから、オンになります。



または

拡張ユニットのセキュリティー・キーを「取り出し」位置まで回してから、キーを放します。

取り出し要求がオペレーティング・システムに出されます。この取り出し操作は、終了するまでに時間がかかる場合があります。



この取り出し操作が完了したかどうかを確認する場合は、もう一度「スタート」ボタンをクリックして、「取り出し」アイコンがまだ表示されるかどうかを調べてください。このアイコンがまだ表示されている場合は、その表示が消えるまで待ちます。

取りだし要求が消えない場合 → 154ページの『拡張ユニットまたはポート・リプリケーターの問題』

- 2 ビープ音が1回鳴ったら、セキュリティー・キーをもう一度背面側に回します。これで、拡張ユニットからThinkPadを取り外すことができます。




オペレーティング・システムが取り出し要求を拒否した場合は、画面にメッセージが表示されます。このような場合は、コールド・アンドockingを試してください。

リソースの競合を避けるためのデバイスの事前設定

Windows 98 または Windows 95 のプラグ・アンド・プレイ機能によって、拡張ユニットに取り付けたデバイスは、ThinkPad 本体の電源をオンにした直後から使用することができます。取り付けたデバイスが使えない場合は、システム・リソースの競合が発生している可能性があります。競合を避けるために、次を実行してください。

PCI アダプターまたは内蔵 SCSI デバイスの場合：

- 1 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動し、「拡張ユニット」() アイコンをクリックします。
- 2 少なくとも 1 つの IRQ 値を割り当てます。省略時の設定は IRQ 9 です。


ISA アダプター・カードの場合：

- 1 Windows 98 または Windows 95 の「デバイス マネージャ」をオープンし、新しいカード用として使用可能なリソースをチェックします。
- 2 セレクタドックおよびセレクタベース 600 (ポートリプリケーター機能) から電源コードを取り外します。
- 3 セレクタドックからセレクタベース 600 (ポートリプリケーター機能) を取り外します。
- 4 セレクタドックの拡張スロットから ISA アダプター・カードを取り外します。
- 5 ISA アダプター・カードのジャンパーまたは DIP スイッチを設定します。

IDE デバイス (ハードディスク・ドライブまたは **CD-ROM** ドライブなど) の場合:



次のステップに進む前に、『拡張ユニットの IDE ドライブの使用』をお読みください。

- 1 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動し、「拡張ユニット」() アイコンをクリックします。
- 2 「IDE デバイス」タブをクリックします。
- 3 「拡張ユニット中の IDE デバイス」リスト・ボックスの「使用する」を選択し (まだ選択していなかった場合)、ThinkPad を再起動します。
- 4 「デバイス マネージャ」をクリックして、新しい IDE デバイスと ThinkPad 内の他のデバイスとの間にリソースの競合が発生していないことを確認します。リソースの競合が生じている場合は、[オンライン・ユーザズ・ガイド](#) を参照してください。

拡張ユニットの IDE ドライブの使用

拡張ユニットに IDE デバイス (ハードディスク・ドライブまたは CD-ROM ドライブなど) を取り付けた場合、そのデバイスが使用可能になるよう、ThinkPad の設定を変更する必要があります。省略時には、ThinkPad は、プライマリー IDE チャンネルを主ハードディスク・ドライブ (プライマリー・マスター) 用として使用し、セカンダリー IDE チャンネルをウルトラスリムベイ内のデバイス (セカンダリー・マスター) 用として使用します。省略時の値である 2 チャンネルの初期値 IDE モードでは、IDE デバイスを拡張ユニットで使用することはできません。

拡張ユニットの IDE デバイスを使用可能にする場合は、省略時の設定を次のどちらかに変更する必要があります。


- 3 チャンネルの IDE モード。このモードでは、ウルトラスリムベイ内のデバイスに対し、ホット・スワップおよびウォーム・スワップ機能を使用することができます。3 番目の IDE チャンネル用の追加 IRQ が必要です。

- **2** チャンネルの **IDE** モード。このモードでは、追加 IRQ を割り当てる必要はありません。ただし、ウルトラスリムベイ内のデバイスに対して、ホット・スワップおよびウォーム・スワップ機能を使用することはできません。




IDE チャンネル構成を変更した場合は、ドライブ名の割り当ても変わることがあります。

3 チャンネルの IDE モードへの設定

- 1** 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。
- 2** 「拡張ユニット」() ボタンをクリックします。
「拡張ユニット」ウィンドウが表示されます。
- 3** 「デバイス マネージャ」ボタンをクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4** 「コンピュータ」、そして「プロパティ」をクリックします。
- 5** 「リソースの表示」タブ画面の現在の設定を確認して、IRQ 11 または 15 以外の選択可能な IRQ 値 (推奨値は IRQ 9) を決めます。使用可能な IRQ 値がない場合は、使用していないデバイスを削除して、場所を作ることができます。そうするには、「デバイス マネージャ」タブを選択し、削除するデバイスをクリックします。そして次に、「削除」ボタンをクリックします。
- 6** 「OK」をクリックして、「システムのプロパティ」ウィンドウをクローズします。
- 7** 「拡張ユニット」ウィンドウに戻って、「PCI ステアリング用 IRQ ホルダー」タブをクリックします。
- 8** 「1 番目の IRQ」の IRQ 値をステップ 5 で決めた使用可能な値に変更します。
- 9** 「IDE デバイス」タブをクリックします。

- 10 「拡張ユニット中の **IDE** デバイス」リスト・ボックスの「使用する」を選択します。
- 11 「**IDE** チャンネル」リスト・ボックスの「サード」を選択します。
- 12 「**OK**」をクリックして、「拡張ユニット」ウィンドウをクローズします。
- 13 「警告」ダイアログ・ボックスの「**OK**」をクリックして、システムを再起動します。

2 チャンネルの **IDE** モードへの設定

- 1 「**ThinkPad** 機能設定」プログラムを始動します。
- 2 「拡張ユニット」() ボタンをクリックします。
「拡張ユニット」ウィンドウが表示されます。
- 3 「デバイス マネージャ」ボタンをクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「コンピュータ」、そして「プロパティ」をクリックします。
- 5 「リソースの表示」タブの画面の現在の設定を確認して、IRQ 11 以外の選択可能な IRQ 値を決めます。使用可能な IRQ 値がない場合は、使用していないデバイスを削除して、場所を作ることができます。そうするには、「デバイス マネージャ」タブを選択し、削除するデバイスをクリックします。そして次に、「削除」ボタンをクリックします。
- 6 「**OK**」をクリックして、「システムのプロパティ」ウィンドウをクローズします。
- 7 「拡張ユニット」ウィンドウに戻って、「**PCI** ステアリング用 **IRQ** ホルダー」タブをクリックします。
- 8 「1 番目の **IRQ**」の IRQ 値をステップ 5 で決めた使用可能な値に変更します。

- 9** 「IDE デバイス」タブをクリックします。
- 10** 「拡張ユニット中の IDE デバイス」リスト・ボックスの「使用する」を選択します。
サード IDE が自動的に選択されます。
- 11** 「IDE チャンネル」リスト・ボックスの「セカンド」を選択します。
- 12** 「警告」ダイアログ・ボックスの「デバイスを使用不可にする」ボタンをクリックします。
- 13** 「OK」をクリックして、ダイアログ・ボックスをクローズします。
- 14** 「警告」ダイアログ・ボックスの「OK」をクリックして、システムを再起動します。

次の表は、デバイスと IRQ 値の関係を示しています。

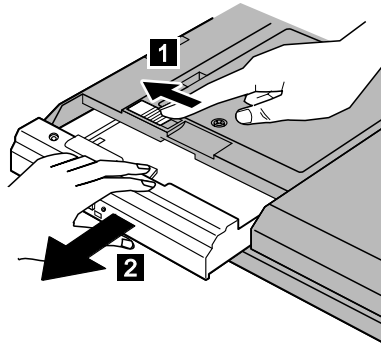
| デバイス | 2 チャンネルの IDE デフォルト・モード | 3 チャンネルの IDE モード | 2 チャンネルの IDE モード |
|--|------------------------|--------------------|--------------------|
| ハードディスク・ドライブ | IRQ 14、P-M | IRQ 14、P-M | IRQ 14、P-M |
| ウルトラスリムベイ | IRQ 15、S-M | IRQ 15、S-M | IRQ 14、P-S |
| 拡張ユニット | 使用不可 | IRQ 11、T-M および T-S | IRQ 15、S-M および S-S |
| 略語の意味: 1. P-M: プライマリ - マスター 2. P-S: プライマリ - スレーブ 3. S-M: セカンダリー - マスター 4. S-S: セカンダリー - スレーブ 5. T-M: サード - マスター 6. T-S: サード - スレーブ | | | |

ウルトラスリムベイ・デバイスの交換

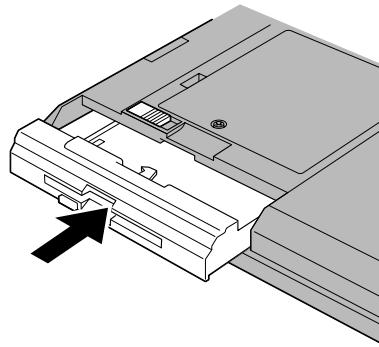
ウルトラスリムベイには、ストレージ・デバイスを 1 つ取り付けることができます。

次の手順では、一例として DVD-ROM ドライブをディスク・ドライブに交換する方法について説明しています。その他のストレージ・デバイスをウルトラスリムベイに取り付ける場合も、この手順に従います。

- 1** ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターとケーブル類を取り外してから、ThinkPad を裏返します。
- 2** ウルトラスリムベイのデバイス・ロックを押して、ロック解除の位置にしてから **1**、DVD ドライブを取り外します **2**。



- 3** ディスク・ドライブを差し込みます。



ウルトラスリムベイのデバイスのウォーム・スワップ

ウォーム・スワップとは、ThinkPad のサスペンド・モード時に、デバイスを取り外したり、再度接続したりすることを意味します。ThinkPad では、省略時にウォーム・スワップが使用可能になっています。

ウォーム・スワップが使用可能かどうか確認する手順は、次のとおりです。

1 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。

→ 27ページの『「ThinkPad 機能設定」プログラム』

2 「デバイスベイ」 () をクリックします。

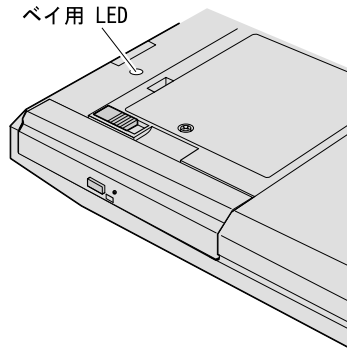
3 「デバイスのウォーム・スワップ」リスト・ボックスの「使用する」が選択されていることを確認します。

チェック・マークが付いていない場合は、そのチェック・ボックスにチェック・マークを付け、ThinkPad を再起動して、変更を有効にします。

ウルトラスリムベイのデバイスをウォーム・スワップするには、まず ThinkPad をサスペンド・モードにしてから、デバイスを交換します。

重要

ウルトラスリムベイのデバイスを取り外す場合は、ベイ用 LED がオフになっていることを確認します。



底面図

注意

1. ウルトラスリムベイにセカンド・ハードディスク・ドライブを取り付ける場合は、ウォーム・スワップを行うことはできません。ThinkPad の電源をオフにしてから、デバイスのスワップを行います。
2. ウルトラスリムベイ内のディスケット・ドライブは、外付けディスケット・ドライブよりも常に優先されます。たとえば、サスペンド・モードでウルトラスリムベイにディスケット・ドライブを取り付けて、ディスケット・ドライブを外付けで接続すると、コンピューターは、レジュームした後に、ウルトラスリムベイ内のディスケット・ドライブを認識します。
3. ディスケット・ドライブが外付けで接続されている場合は、別のディスケット・ドライブをウルトラスリムベイに取り付けることはできません。

ディスク・ドライブの外付け接続

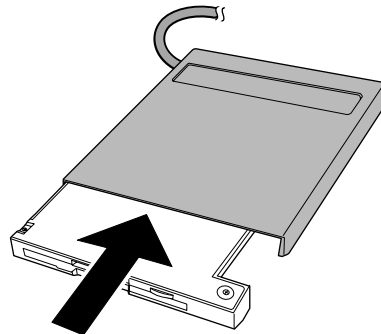
ディスク・ドライブは、外付けディスク・ドライブ・コネクタに接続して、外付けディスク・ドライブとして使用することができます。



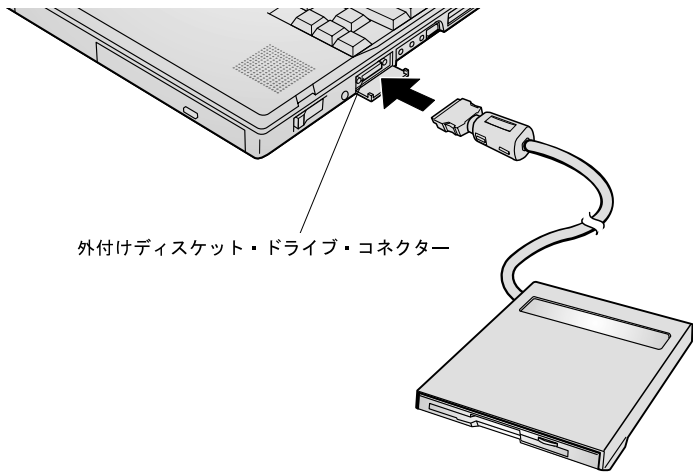
- ThinkPad にディスク・ドライブを接続し直したり、スワップしたときには、ThinkPad にドライブを認識させるために、その都度 ThinkPad をリブートする必要はありません。ThinkPad をサスペンド・モードにして、ディスク・ドライブを再度接続、またはスワップします。ThinkPad がレジュームしたときに、ディスク・ドライブを認識します。
- ウルトラスリムベイにディスク・ドライブを取り付けているときは、同時に外付けでディスク・ドライブを接続することはできません。

ディスク・ドライブを外付けで接続する方法は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad をサスペンド・モードにします。
- 2** ディスク・ドライブを外付けディスク・ドライブ取り付けキットに差し込み、しっかりと接続します。



- 3** ケーブルを外付けディスク・ドライブ・コネクタに接続します。



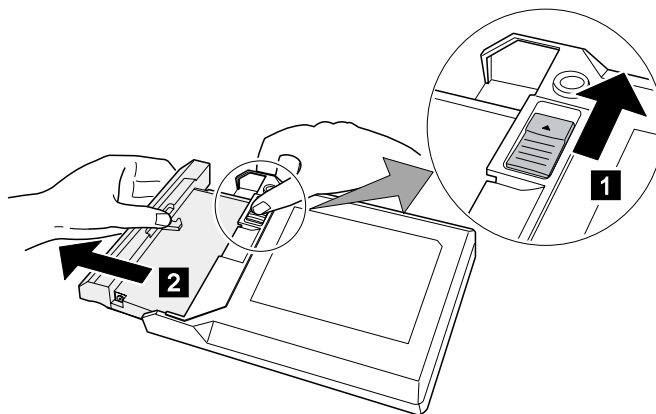
- 4** ThinkPad をサスペンド・モードから通常の状態に戻します。

外付けディスク・ドライブ取り付けキットからディスク・ドライブを取り外すには

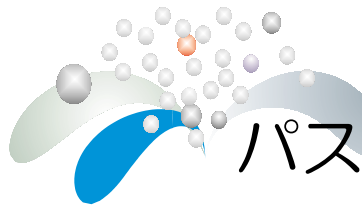
重要

外付けディスク・ドライブ取り付けキットはディスク・ドライブ専用設計されているので、それ以外のドライブを取り付けないようにしてください。

外付けディスク・ドライブ取り付けキットには、底にロックが付いています。ディスク・ドライブを取り付けキットから取り外す場合は、このロックをロック解除位置に入れた状態で取り外します。

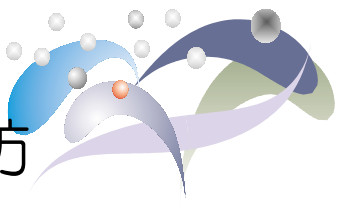


底面図



第3章

パスワードと盗難の予防



本章では、ThinkPad の盗難または不正使用を防ぐ方法について説明します。また、名前、住所などの個人データをパスワード・プロンプト画面に表示する方法についても記述します。

| | |
|---------------------------------|-----|
| パスワードの使用 | 98 |
| パスワードの入力 | 100 |
| パスワードの設定 | 100 |
| パスワードの変更または消去 | 103 |
| 始動パスワードおよびハードディスク・ドライブ・パスワードの場合 | 103 |
| スーパーバイザー・パスワードの場合 | 105 |
| スーパーバイザー権限による始動パスワードの消去 | 107 |
| パーソナライゼーション・エディターの使用 | 109 |
| パーソナル・データの入力 | 109 |
| パーソナル・データの削除 | 112 |
| ロック機能の使用 | 113 |
| セキュリティーねじの使用 | 114 |

パスワードの使用

ThinkPad には、使用許可を受けていない人が勝手にアクセスできないようパスワード設定機能が付いています。パスワードを設定すると、ThinkPad の電源をオンにするたびに画面にプロンプトが表示され、パスワードを入力しなければなりません。正しいパスワードが入力されないと、ThinkPad を使うことはできません。

ThinkPad には、次のパスワードを設定することができます。

- 始動パスワード

始動パスワードは、使用許可を受けていない人が勝手に ThinkPad を使うのを防ぐためのものです。始動パスワードは、始動時とサスペンド・モードから通常の操作状態に戻るときに必要です。

- ハードディスク・ドライブ・パスワード

ハードディスク・ドライブ・パスワードは、セキュリティー機能の追加機能です。たとえ始動パスワードを設定していたとしても、その ThinkPad のハードディスク・ドライブを取り外し、別の ThinkPad に取り付けられれば、ハードディスク内のデータにアクセスすることができます。しかし、ハードディスク・ドライブ・パスワードを設定していれば、そのパスワードを知らない人は、ハードディスク・ドライブ上のデータにアクセスできなくなります。ハードディスク・ドライブ・パスワードには次のセキュリティー機能があります。

- 始動時にハードディスク・ドライブ・パスワードを入力する必要があります。
- ハードディスク・ドライブが他の ThinkPad に移動されていても、ハードディスク・ドライブ・パスワードを始動時に入力しなければなりません。そのため、たとえハードディスク・ドライブが ThinkPad から取り外されても、使用許可を受けていない人はハードディスクにアクセスできないこととなります。
- スーパーバイザー・パスワードを設定していない場合は、ThinkPad がサスペンド・モードから通常の操作状態に戻るとき、ハードディスク・ドライブ・パスワードが必要となります。
- 「電源の管理のプロパティ」ウィンドウの「詳細」タブで「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」チェックボックスにチェック・マークを付けると、サスペンド・モードからレジュームする場合は、Windows 98 ログオン・パスワードを使用する必要があります。

- スーパーバイザー・パスワード
スーパーバイザー・パスワードはシステム管理者用のツールで、多くの ThinkPad を管理するために使われます。スーパーバイザー・パスワードはシステム管理者によって設定されるものであり、ユーザーには必要ありません。ユーザーは、スーパーバイザー・パスワードを知らなくても ThinkPad を起動することができます。ただし、Easy-Setup にアクセスするときだけは、スーパーバイザー・パスワードが必要です。このパスワードには次のセキュリティ機能があります。
 - システム管理者のみが Easy-Setup にアクセスできます。スーパーバイザー・パスワードが設定されていると、Easy-Setup を始動しようとするたびにパスワード・プロンプトが表示されます。
 - たとえ始動パスワードが設定されている ThinkPad であっても、システム管理者であればスーパーバイザー・パスワードを使ってその ThinkPad にアクセスできます。スーパーバイザー・パスワードが始動パスワードを上書きするからです。
 - スーパーバイザー・パスワードと始動パスワードの両方を設定すると、スーパーバイザー・パスワードだけが次のアイテムへのアクセスを許可します。
 - 始動優先順位の変更
 - 始動パスワードの変更または削除
 - スーパーバイザー・パスワードの変更または削除
 - Wake-on LAN 機能の使用可能化
 - スーパーバイザー・パスワードは、ハードディスク・ドライブ・パスワードとして上書きされます。スーパーバイザー・パスワードを設定すると、使用許可を受けていない人はハードディスク内のデータにアクセスできないので、ハードディスクを保護できます。
 - システム管理者は、同一のスーパーバイザー・パスワードを複数の ThinkPad に設定し、管理しやすくすることができます。
- その他のパスワード
一部の Microsoft のオペレーティング・システムでは、独自の Windows 用パスワードを提供しています。これらのパスワードの設定方法、変更方法、使用方法については、オペレーティング・システムのユーザーズ・ガイドを参照してください。

パスワードの入力

パスワードを設定すると、画面の左上隅にパスワード・プロンプトが表示されます。このプロンプトは、ThinkPad の電源をオンにするたびに、またはサスペンド・モードから通常の操作状態に戻るたびに表示されます。

ただし、事前設定のタイマーまたはモデム着信により、ThinkPad が通常の操作状態に戻ると、パスワード・プロンプトは表示されません。この場合は、任意のキーを押すか、ポインティング・デバイスを動かすと、パスワード・プロンプトを表示できます。

パスワードを入力する手順は、次のとおりです。

1 パスワードを入力します。

キーを押すたびに「•」の記号が表示されます。パスワードを入力するときは指をキーからすばやく離してください。1 つのキーを長く押し続けると、同じ文字が繰り返し入力されてしまいます。

2 Enter キーを押します。

正しいパスワードを入力すると「OK」が表示され、誤ったパスワードを入力すると「X」が表示されます。正しいパスワードの入力を 3 回間違えた場合は、ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってから電源をオンにして再度入力します。

パスワードの設定

パスワードを設定する手順は、次のとおりです。

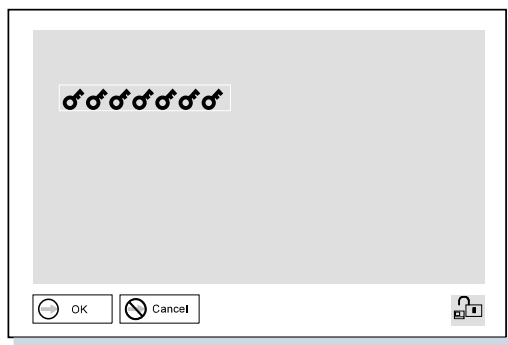
1 Easy-Setup を始動します。

- a) F1 キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。
- b) 「Easy-Setup」メニューが表示されるまで F1 キーを押し続けます。

2 「Easy-Setup」メニューの「Password」アイコンをクリックします。「パスワード」サブメニューの詳細 → 17 ページの『Easy-Setup』

3 「Power-On」(始動)、「HDD」(ハードディスク)、または「Supervisor」(スーパーバイザー)のうち、設定したいパスワードのアイコンをクリックします。

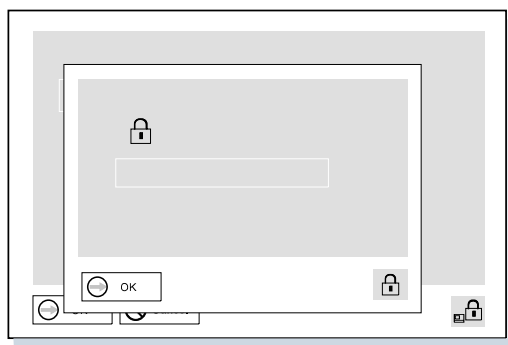
4 パスワードを入力します。



英字 (A~Z) と数字 (0~9) を組み合わせて、7文字以内の任意の文字を使用できます。大文字と小文字 (たとえばAとa) は、同じ文字として扱われます。**Shift** キーを使用しないと入力できない文字(たとえば、!、\$、および%)は使用できません。

間違った文字を入力してしまった場合は、**Backspace** キーを使用して消去してから、正しい文字を入力します。

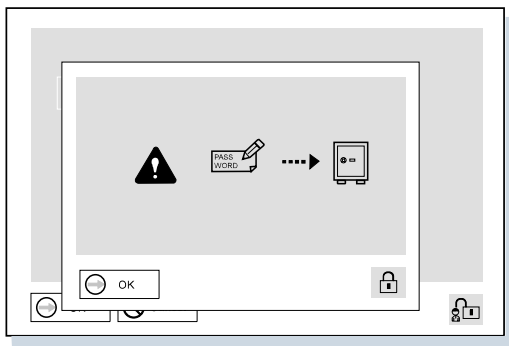
5 **Enter** キーを押します。パスワード確認用のウィンドウが表示されます。



- 6 確認のため、もう一度パスワードを入力し、**Enter** キーを押します。



ハードディスク・ドライブ・パスワードまたはスーパーバイザー・パスワードを設定した場合は、次のようなウィンドウが表示されます。これは、パスワードをメモして安全な場所に保管しておくことを指示するものです。



これで、パスワードが設定されました。



パスワードを忘れないように注意してください。
ハードディスク・ドライブ・パスワードやスーパーバイザー・パスワードを忘れた場合、パスワードを再設定することも、ハードディスクからデータを復元することもできません。IBM 特約店または IBM 販売店に ThinkPad をお持ちいただき、ハードディスクまたはシステム・ボードを交換していただくことになります。このサービスを受けるには、購入を証明するものが必要であり、有料になります。IBM 代理店や IBM 営業担当員でも、ハードディスク・ドライブを使用可能にすることはできません。

パスワードの変更または消去

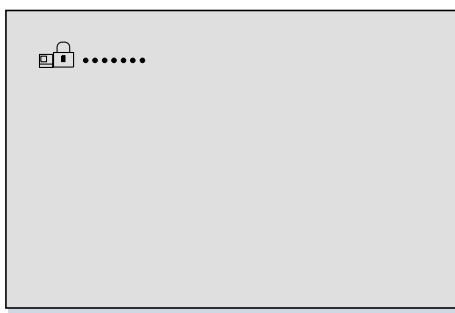
この機密保護機能は、他人が勝手にパスワードを消去し、ThinkPad を使用することを防いでいます。パスワードを変更または消去する手順は、次のとおりです。

始動パスワードおよびハードディスク・ドライブ・パスワードの場合

- 1 ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってからもう一度オンにします。

パスワード・プロンプトが表示されます。

- 2 現在のパスワードを入力します。

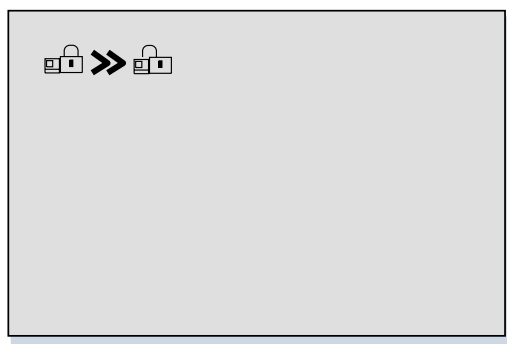


- 3 スペース・キーを押します。

パスワードを変更する場合は、ステップ 4 に進みます。

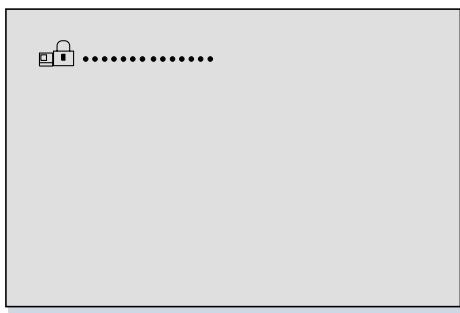
パスワードを消去する場合は、**Enter** キーを押します。

次のウィンドウが表示され、システムが再起動します。



これで、パスワードは消去されました。残りのステップは省略してください。

- 4** パスワードを変更する場合は、新しいパスワードを入力してから、スペース・キーを押します。



- 5** 確認のため、もう一度新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。

次のウィンドウが表示され、システムが再起動します。



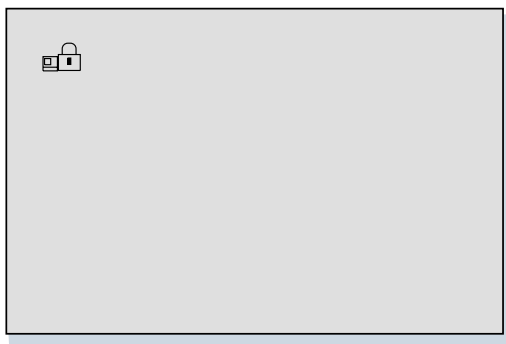
パスワードはメモし、安全な場所に保管しておいてください。

これで、パスワードが変更されました。

スーパーバイザー・パスワードの場合

1 Easy-Setup を始動します。

- a) F1 キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。
- b) パスワード・プロンプトが表示されるまで、F1 キーを押したままにします。

**2** スーパーバイザー・パスワードを入力します。

「Easy-Setup」メニューが表示されます。

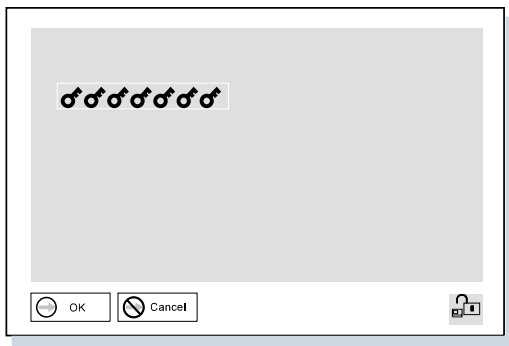
3 メニューの「Password」を選択します。**4** 「Supervisor」を選択します。

パスワードを変更する場合は、ステップ 8 に進みます。

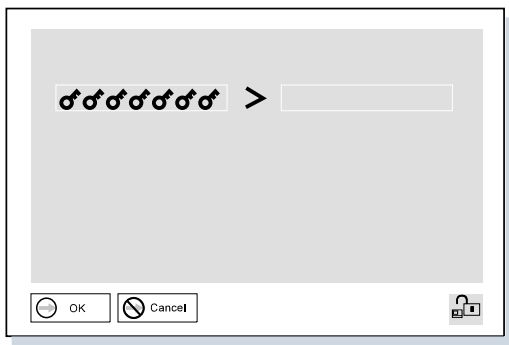
5 パスワードを消去する場合は、現在のパスワードを入力してから、スペース・キーを押します。**6** Enter キーを 2 回押します。**7** 「Exit」をクリックし、次に「Restart」をクリックします。

これで、スーパーバイザー・パスワードは消去されました。ThinkPad が再起動します。残りのステップは省略してください。

8 現在のパスワードを入力してから、スペース・キーを押します。



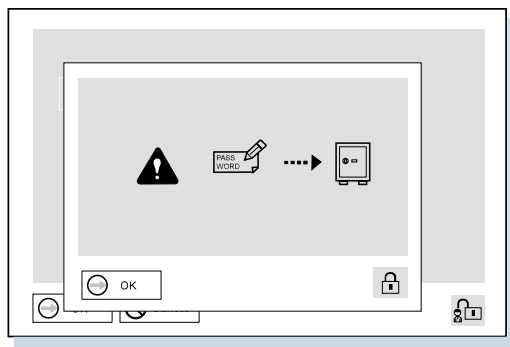
9 新しいパスワードを入力してから、**Enter** キーを押します。



10 確認のため、もう一度新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。



次のようなウィンドウが表示されます。これは、パスワードをメモして安全な場所に保管しておくことを指示するものです。



11 もう一度 **Enter** キーを押します。

12 「Exit」をクリックし、次に「Restart」をクリックします。

これで、スーパーバイザー・パスワードは変更されました。ThinkPad が再起動します。

スーパーバイザー権限による始動パスワードの消去

スーパーバイザー・パスワードを知っていれば、(始動パスワードを知らなくても) 始動パスワードを消去することができます。

1 **F1** キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにします。

パスワード・プロンプトが表示されます。

2 スーパーバイザー・パスワードを入力します。

「Easy-Setup」メニューが表示されます。

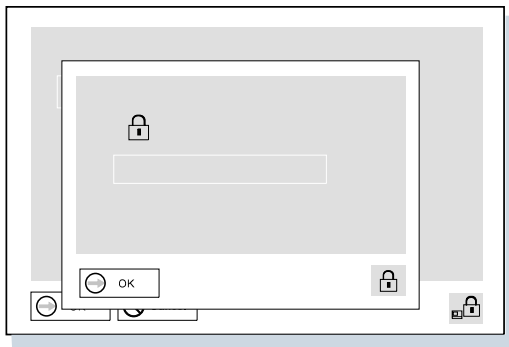
3 メニューの「**Password**」を選択します。

4 メニューの「**Power on**」を選択します。

5 スーパーバイザー・パスワードを入力してから、スペース・キーを押します。

6 **Enter** キーを押します。

パスワード確認用のウィンドウが表示されます。



7 もう一度 **Enter** キーを押します。

8 「**Exit**」をクリックし、次に「**Restart**」をクリックします。

ThinkPad が再起動します。これで、始動パスワードは消去されました。

パーソナライゼーション・エディターの使用

パーソナライゼーション・エディターを使うと、ThinkPad の電源をオンにするたびに、名前や住所などの個人情報を表示できます。この機能は、複数の ThinkPad が使用されている場所で個々の ThinkPad を識別したり、盗難から防止するのに役立ちます。

パーソナル・データの入力

パーソナライゼーション機能によるパスワード・プロンプト画面には、パーソナル・データ領域 **1** と背景のビットマップ領域 **2** の 2 つの領域があります。



「パーソナライゼーション・エディター」で名前、住所、および会社名を登録する手順は、次のとおりです。



この情報を表示するには、始動パスワードをあらかじめ設定しておく必要があります。

- 1 ThinkPad の電源をオンにします。
- 2 ソフトウェア・セレクション CDを使って、パーソナライゼーション・データ更新ディスクットのバックアップ・コピーを作成します。(詳細情報 → 32ページの『ソフトウェア・セレクション CD の使用』)

3 「パーソナライゼーション・データ更新ディスクレット」をディスクレット・ドライブに入れます。

4 次の手順で、「パーソナライゼーション・エディター」をオープンします。

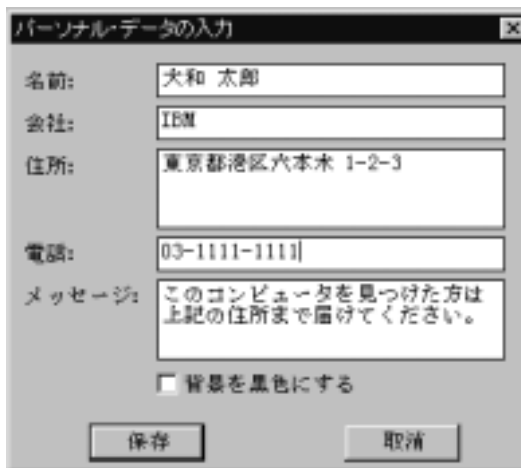
a) 「スタート」ボタンをクリックします。

b) マウス・ポインターを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「パーソナライゼーション・エディター」をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



5 「パーソナル・データ」をクリックし、ボックス内に必要な情報を入力します。「OK」をクリックして、データを保管します。



背景のビットマップを変更する場合は、ステップ 6 に進みます。変更しない場合は、ステップ 10 に進みます。

6 「パーソナライゼーション・エディター」ウィンドウで「背景」を選択します。

Windows の「ペイント」が自動的にオープンします。

7 イメージを作成したり、背景に色を付けたりします。

ビットマップ・サイズは、160x100 ピクセルにしてください。サイズを変更するには、「変形」を選択してから、「キャンパスの色とサイズ」を選択します。「幅」を 160 に、「高さ」を 100 に、「単位」をピクセルに指定します。

8 「ファイル」から「名前を付けて保存」を選択し、作成した図形を「パーソナライゼーション・データ更新ディスクット」に、ファイルの種類を 16 色のビットマップに指定して保存します。



画面の全画面の大きさを確認したい場合は、「プレビュー」を選択してください。

9 Enter キーを押して、直前のウィンドウに戻ります。

10 システムを終了させ、ThinkPad の電源をオフにします。

- 11** 「パーソナライゼーション・データ更新ディスクレット」をディスクレット・ドライブに入れ、ThinkPad の電源をオンにします。
- 12** 「メイン・メニュー」画面で「パーソナライゼーション・データの更新」を選択し、画面の指示に従います。
これで設定したパーソナル・データは「パーソナライゼーション・データ更新ディスクレット」から ThinkPad の不揮発性メモリーに格納されます。
- 13** データを保管したら、ThinkPad の電源をオフにします。
- 14** パスワードが設定されていない場合は、設定してください。
詳細については、「ヘルプ」をクリックしてください。

入力した情報は、次に ThinkPad の電源をオンにしたときから表示されます。

パーソナル・データの削除

パーソナル・データを削除し、初期値のパスワード・プロンプトに戻す手順は、次のとおりです。

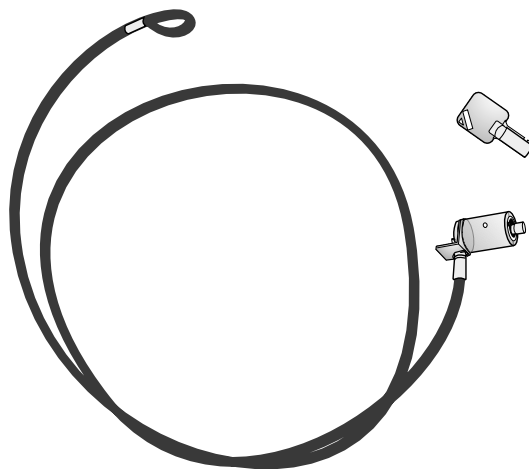
- 1** ThinkPad の電源をオフにします。
- 2** 「パーソナライゼーション・データ更新ディスクレット」をディスクレット・ドライブに入れ、ThinkPad の電源をオンにします。
- 3** 「メイン・メニュー」画面で「パーソナライゼーション・データの削除」を選択し、画面の指示に従います。
- 4** データを更新したら、ThinkPad を再起動します。

ロック機能の使用

ThinkPad の不正使用防止のため、ThinkPad にセキュリティー・システム・ロックを取り付けることができます。

ロックの鎖を安全で動かない物体に固定し、次に、セキュリティー・システム・ロックを ThinkPad のキーホールにつなぎます。セキュリティー・システム・ロックに付属の説明書を参照してください。

キーホールの位置の説明 → 4 ページ



セキュリティー・システム・ロック装置とセキュリティー機能の評価、選択、実装は、お客様の責任で行っていただきます。IBM では、その機能性、品質、性能についての言及、評価、保証は行いません。

セキュリティーねじの使用

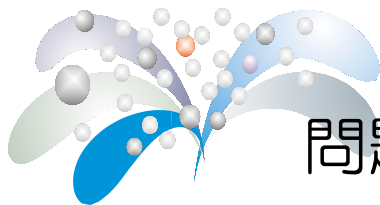
ThinkPad に付属のセキュリティーねじを使用して、ハードディスク・ドライブなどの、デバイスを簡単に取り外せないようにすることができます。



セキュリティーねじ

コイン型ねじをセキュリティーねじに取り替える手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad の電源をオフにし、AC アダプターやケーブル類をすべて取り外します。
- 2** コインを用いてコイン型ねじを取り外し、セキュリティーねじを取り付け、2.5 mm の六角レンチで締めます。
- 3** アダプターを接続し、ThinkPad の電源をオンにします。



第4章

問題が起こったら



| | |
|-----------------------------|-----|
| ヒント | 117 |
| 拡張ユニットの使用 | 119 |
| 汎用シリアル・バス (USB) コネクタの使用 | 119 |
| DVD-ROM ドライブの使用 | 120 |
| PC カードの使用 | 120 |
| 2 枚目の CardBus カードの使用 | 121 |
| マイクロホンの使用 | 121 |
| 問題判別ガイド | 122 |
| 問題判別表 | 123 |
| エラー・コードまたは画面上のメッセージ | 125 |
| エラー・コードや画面上のメッセージで表示されない問題 | 132 |
| 入力装置の問題 | 132 |
| サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題 | 134 |
| LCD の問題 | 138 |
| インジケータの問題 | 139 |
| バッテリーの問題 | 140 |
| ハードディスク・ドライブの問題 | 141 |
| CD-ROM ドライブの問題 | 141 |
| DVD-ROM ドライブの問題 | 143 |
| 赤外線通信の問題 | 145 |
| オーディオまたは電話機能の問題 | 146 |
| 汎用シリアル・バス (USB) の問題 | 149 |
| PC カードまたは PCI モデムの問題 | 149 |
| その他の PC カードの問題 | 151 |
| 拡張ユニットまたはポート・リプリケータの問題 | 154 |
| プリンタの問題 | 158 |
| 外付けディスプレイの問題 | 158 |
| テレビの問題 | 162 |
| その他のオプションの問題 | 163 |
| ソフトウェアの問題 | 165 |

| | |
|--------------|-----|
| その他の問題 | 165 |
|--------------|-----|

ヒント

ここではヒントおよび制限事項について説明します。



Windows 98 の場合：

- Windows 98 では、サスペンド・モードに入る時間および通常の操作に戻る時間が、Windows 95 の場合よりも長くかかります。このパフォーマンスの差は、Windows 98 の設計によるものであり、ThinkPad の設計によるものではありません。
- スタンバイ・モード、サスペンド・モード、およびハイバネーション・モードの3つの省電力モードがあります。これらのモードに入る場合は、それぞれ次のようにキーを使用します。
 - **Fn + F3** スタンバイ・モード
 - **Fn + F4** サスペンド・モード
 - **Fn + F12** ハイバネーション・モード

サスペンド・モードおよびハイバネーション・モードに入る方法はほかにもあります。たとえば、Windows 98 画面の左下の「スタート」ボタンをクリックして、「**Windows** の終了」メニューで「スタンバイ」を選択します。ThinkPad はサスペンド・モードになります。



Windows 98 の画面の「スタンバイ」という用語は、本書で使用されている「スタンバイ・モード」という用語とは意味が異なります。

また、「電源の管理のプロパティ」ウィンドウで「システム・スタンバイ・タイマー」を設定して、サスペンド・モードに入る場合のタイムアウトを指定することもできます。



Windows 95 の場合：

- Intel USB カメラを使用している場合、サスペンド・モードから通常操作を再開すると、USB カメラが使用できなくなります。USB カメラを使用可能にするには、いったんそれを取り外し、もう一度接続してください。
- CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブをウルトラスリムベイに取り付けると、このドライブに対するプロパティ設定値のために、「ThinkPad 機能設定」プログラム内で指定したタイムアウト時間の終了後もサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに入れない場合があります。サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードを使用する場合は、次の手順に従って CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブのプロパティを変更してください。
 1. 「スタート」ボタンをクリックしてから、マウス・ポインターを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。次に、「コントロール パネル」をクリックします。
 2. 「システム」をダブルクリックします。
 3. 「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「**CD-ROM**」をダブルクリックします。
 4. 「**CD-ROM**」の下の CD-ROM ドライブ名または DVD-ROM ドライブ名をクリックしてから、「プロパティ」ボタンをクリックします。
 5. 「設定」タブをクリックし、「オプション」の中の「自動挿入」のチェック・ボックスをクリックして、チェック・マークを外します。
 6. 「**OK**」をクリックして、ThinkPad を再起動します。



Windows NT の場合：

- Windows NT 4.0 の場合、ドライブが NTFS 形式でフォーマットされているとハイバネーション・モードはサポートされません。
- PC カードを PC カード・スロットに差し込んだ場合は、「コントロール パネル」の「PC カード[PCMCIA]デバイス」ウィンドウのカード情報のリストに「**X**」マークが付いていることがあります。ただし、「**X**」がいずれかの機能に影響することはありません。

拡張ユニットの使用

拡張ユニットを使用するときの USB コネクタに関する注意事項 → 『汎用シリアル・バス (USB) コネクタの使用』

拡張ユニットへのホット・ドッキングまたはウォーム・ドッキング (Windows 95 および Windows 98 の場合のみ)

セレクトドック拡張ユニットに特定の PCI カード、PnP ISA カード、および PC カードが取り付けられているときは、ThinkPad をその拡張ユニットにホット・ドッキングしたりウォーム・ドッキングしたりすることができない場合があります。その場合は、システムを再起動してください。

拡張ユニットでの PC カードの使用

Windows 95 または Windows NT の環境で ThinkPad を使用している場合は、ThinkPad を拡張ユニットに接続したあとに、PC カード・サポート・ソフトウェアをインストールする必要があります。すでに PC カード・サポート・ソフトウェアをインストール済みの場合は、いったんそれをアンインストールし、ThinkPad を拡張ユニットに接続してから、再インストールしてください。

汎用シリアル・バス (USB) コネクタの使用

ThinkPad をサスペンド・モードに入れようとして、その要求が拒否された場合、汎用シリアル・バス (USB) コネクタに接続しているデバイスが使用不可になる場合があります。このような場合は、汎用シリアル・バス (USB) デバイスのホット・アンプラグおよびホット・プラグを行ってください。

セレクトドック III 拡張ユニットの PCI カードについて

ThinkPad の汎用シリアル・バス (USB) コネクタの設定を使用可能にしている (省略時の設定) 場合は、セレクトドック III 拡張ユニットで PCI ビデオ・カードと PCI ネットワーク・カードを同時に使用しないようにします。これらのカードが両方とも取り付けられていると、システムが起動できなくなります。

セレクトドック III 拡張ユニットの USB コネクタの設定について

セレクトドック III の USB コネクタは、使用不可にしないでください。これを使用不可にした場合は、ホット・ドッキングまたはウォーム・ドッキング、あるいはホット・アンドドッキングまたはウォーム・アンドドッキングの操作中に、システムが停止するおそれがあります。このような場合は、システムを再起動してください。

DVD-ROM ドライブの使用

DVD ムービーやビジネス・プレゼンテーションなど、ビデオ作品が収められている DVD の表示中は、表示先を LCD から外付けディスプレイ (CRT) に切り替えしないでください。ディスプレイ・モードを変更する場合は、再生する MPEG ファイルをオープンする前に表示先を変更する必要があります。

PC カードの使用

- ThinkPad がスタンバイ・モードから通常の操作に戻った後は、拡張ユニットのスロットに入っている一部のネットワーク PC カードは、ホット・プラグおよびホット・アンプラグの操作が実行できなくなります。このような場合は、システムを再起動してください。
- PC カード・モデムを使用して通信する場合、つまり PC カード・スロットに PC カードを挿入している場合は、ThinkPad をサスペンド・モードにしたり、ハイパネーション・モードにしたり、「Windows の終了」ウィンドウで「スタンバイ」をクリックしたりしないでください。

注: ThinkPad をサスペンド・モードに入れたい場合は、まず次の手順で「PC カード (PCMCIA) プロパティ」ウィンドウを使用して、PC カードを停止します。

1. 「スタート」をクリックし、マウス・ポインターを「設定」に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。
2. 「**PC カード (PCMCIA)**」をダブルクリックします。
3. 停止するカードをリストから選択します。
4. 「停止」ボタンをクリックします。

通信用 PC カードは、PC カード・スロットから取り出し、後で再度入れ直しても、正しく作動しない場合があります。この場合は、ThinkPad を再起動する必要があります。

- CD-ROM ドライブをディスクット・ドライブと交換したあとで、PC カードを取り付け、そのあとで CD-ROM ドライブを再度取り付けた場合は、PC カードはリソースの割り当てが失われて、作動できなくなる場合があります。CD-ROM ドライブ (セカンダリー IDE) には常に IRQ 15 が使用されますが、CD-ROM ドライブをディスクット・ドライブと交換すると、その後は IRQ 15 が空きになり、Windows 95 または Windows 98 では、それを新しい PC カードに割り当てます。このため、CD-ROM が再度取り付けられても、IRQ 15 をセカンダリー IDE に割り当てられなくなるからです。

2 枚目の CardBus カードの使用

ThinkPad 内に CardBus カードがすでに構成されている場合に、2 枚目の CardBus を使用するには、デバイス・マネージャーを使用して手動で構成する必要があります。デバイス・マネージャーを表示するには、「コントロールパネル」の「システム」アイコンをクリックします。

マイクロホンの使用

ThinkPad で外付けマイクロホンを使用する場合は、ThinkPad で使用できることが確認されたものを使用してください。コンデンサー・マイクロホンなど、マイクロホンによっては、バッテリーが必要です。そのマイクロホンに付属の説明書を参照してください。

外付けコンデンサー・マイクロホンの使用

ThinkPad のマイクロホン・ジャックでは、次のタイプのマイクロホンが使用できます。

- ダイナミック・マイクロホン
- 電池を使用するタイプのコンデンサー・マイクロホン
- エレクトレット・コンデンサー・マイクロホン

問題判別ガイド

次の表で、問題の判別方法と解決方法を示します。

ビープ音が鳴った場合、メッセージが表示された場合、または機能に関する問題が発生した場合:

- 1** 表から症状を見付け、問題の解決を試みます。 → 123ページの『問題判別表』
- 2** エラー・コードを記録して、ThinkPad の修理を依頼します。 → 付属の「IBM サービスのご案内」

ThinkPad 内のソフトウェアを誤って消してしまったり、損傷してしまった場合:

- ソフトウェア・セレクション CD またはリカバリー CD を使用して回復します。 → 32ページの『ソフトウェア・セレクション CD の使用』および34ページの『リカバリー CD の使用』

問題判別表

ThinkPad にエラーが発生すると、通常、電源をオンにしたときに、メッセージやエラー・コードが表示されたり、ビープ音が鳴ります。発生した問題を次の問題判別表から探してください。問題が見つかったら対応するページに進み、指示されている処置を実行します。『問題判別表』では、問題全般を扱っているのですが、説明によってはご使用の ThinkPad に該当しない場合や、状況に適合しない場合があります。ご使用の ThinkPad の機能やオプションを本書または付属品チェック・リストと照らし合わせてください。

| | |
|-----------------------------|---------|
| エラー・コードまたは画面上のメッセージ | 125 ページ |
| エラー・コードや画面上のメッセージで表示されない問題 | 132 ページ |
| 入力装置の問題 | 132 ページ |
| サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題 | 134 ページ |
| LCD の問題 | 138 ページ |
| インジケータの問題 | 139 ページ |
| バッテリーの問題 | 140 ページ |
| ハードディスク・ドライブの問題 | 141 ページ |
| CD-ROM ドライブの問題 | 141 ページ |
| DVD-ROM ドライブの問題 | 143 ページ |
| 赤外線通信の問題 | 145 ページ |
| オーディオまたは電話機能の問題 | 146 ページ |
| 汎用シリアル・バス (USB) の問題 | 149 ページ |
| PC カードまたは PCI モデムの問題 | 149 ページ |
| その他の PC カードの問題 | 151 ページ |
| 拡張ユニットまたはポート・リプリケータの問題 | 154 ページ |
| プリンターの問題 | 158 ページ |
| 外付けディスプレイの問題 | 158 ページ |
| テレビの問題 | 162 ページ |
| その他のオプションの問題 | 163 ページ |
| ソフトウェアの問題 | 165 ページ |

エラー・コードまたは画面上のメッセージ

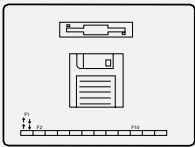
注: この表の中の x は、任意の文字を表します。

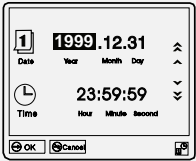
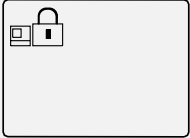

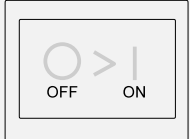
| メッセージ | 原因と処置 |
|---|--|
| 19990301 19990302 19990305 (ハードディスク・ドライブを誤って接続すると、これらのエラー・コードが表示される場合があります。) | ThinkPad が始動ドライブを見付けることができません。次の処置をとってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ThinkPad の電源をオフにします。 2. F1 キーを押しながら、ThinkPad の電源をオンにし、Easy-Setup を始動します。「Easy-Setup」メニューが表示されるまで F1 キーを押し続けます。 3. 「Start up」アイコンを選択します。 4. 「Power-on」アイコンを選択します。始動優先順位を設定できない場合は、ThinkPad の修理を依頼します。 5. 始動優先順位ボックスの装置を調べます。始動優先順位ボックス内に省略時のドライブがありますか? 「はい」このウィンドウを終了して、ThinkPad の電源をオフにしてください。 「いいえ」「Reset」アイコンを選択してください。 6. オペレーティング・システムはインストールされていますか? 「はい」ステップ 8 に進んでください。 「いいえ」ThinkPad にオペレーティング・システムをインストールしてください。 7. オペレーティング・システムのインストールが終わったら、ThinkPad の電源をオフにします。 8. ThinkPad の電源をオンにします。 それでも同じメッセージが表示される場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 199xxxxx (上記の 1999030x エラー以外のエラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 111 (拡張ユニットのエラー) | ポート・リプリケーターまたは拡張ユニットを使用している場合は、それをいったん取り外してから、接続し直します。 それでも問題が解決しない場合は、ポート・リプリケーターまたは拡張ユニットに付属の資料を参照してください。 |

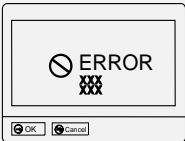
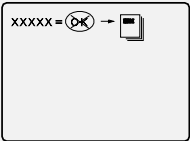
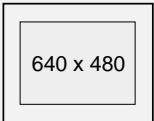

| メッセージ | 原因と処置 |
|-------------------------------------|--|
| <p>158 (スーパーバイザー・パスワード・エラー)</p> | <p>ハードディスク・ドライブが別のスーパーバイザー・パスワードで取り付けられているか、ハードディスク・パスワードが設定されていませんでした。</p> <p>エラーを生じているハードディスク・ドライブは、次のどれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad のメイン・ベイ • ウルトラスリムベイ • ThinkPad に接続された拡張ユニットのウルトラベイ・トレイ <p>問題の解決には、以下の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エラーを生じていないハードディスク・ドライブが、ThinkPad 本体のメイン・ハードディスク・ベイに取り付けられているかどうか確認します。 <p>ハードディスク・ドライブが拡張ユニットのウルトラベイ・トレイに取り付けられている場合は、ThinkPad の電源をオフにし、そのハードディスク・ドライブを ThinkPad 本体のメイン・ハードディスク・ベイに取り付け直します。その上で、ThinkPad の電源を再度オンにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. Enter キーを押します。 3. 始動パスワード・プロンプトでスーパーバイザー・パスワードを入力します。 <p>00158 エラー・メッセージが再度表示された場合は、Enter キーを押して、Easy-Setup の「Password」サブメニューに進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 「Supervisor」アイコンを選択してから、Enter キーを押します。 <p>スーパーバイザー・パスワードと同じパスワードが、メイン・ハードディスク・ベイのハードディスク・パスワードとして設定されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. ThinkPad を再起動します。 |

| メッセージ | 原因と処置 |
|----------------------------------|---|
| 159 (スーパーバイザー・パスワード・エラー) | <p>ハードディスク・パスワードがスーパーバイザー・パスワードと異なります。エラーを生じているハードディスク・ドライブは、次のどれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad 本体のメイン・ハードディスク・ドライブ • ウルトラスリムベイ • ThinkPad に接続された拡張ユニットのウルトラベイ・トレイ <p>問題の解決には、以下の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハードディスク・ドライブ・パスワードとスーパーバイザー・パスワードが異なっているかどうか確認します。 ハードディスク・ドライブが拡張ユニットのウルトラベイ・トレイに取り付けられている場合は、ThinkPad の電源をオフにし、そのハードディスク・ドライブを ThinkPad 本体のメイン・ベイに取り付け直します。ThinkPad の電源を再度オンにします。 2. ハードディスク・パスワード・プロンプトでハードディスク・パスワードをスーパーバイザー・パスワードに変更します。 |
| 16x または 17 x (未定義の日付または構成エラー) | 画面の指示に従ってください。 |
| 174 (デバイスの構成エラー) | ハードディスク・ドライブおよびウルトラスリムベイのデバイスが、しっかり取り付けられていることを確認します。それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 175、177、178 (EEPROM エラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 183 (無効なパスワードのエラー) | スーパーバイザー・パスワード・プロンプトで入力したパスワードが無効です。スーパーバイザー・パスワードを確認します。 |
| 184 (無効なパスワードのエラー) | <p>入力したパスワードは無効です。</p> <p>ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってからもう一度オンにして、正しいパスワードを入力してください。</p> |
| 185 (始動優先順位エラー) | 始動優先順位が無効です。ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってからもう一度オンにして、Easy-Setup で始動優先順位を設定し直します。 |
| 188、189 (EEPROM チェックサム・エラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |

| メッセージ | 原因と処置 |
|----------------------------|---|
| 190 (極めて少量のバッテリー残量のエラー) | <p>バッテリー残量がほとんどなくなったため、ThinkPad の電源がオフになりました。</p> <p>ThinkPad に AC アダプターを接続しバッテリー・パックを充電するか、フル充電したバッテリー・パックに交換してください。</p> |
| 192 (冷却ファンのエラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 195 (ハイバネーションのエラー) | <p>ハイバネーション・モードに入ったときと出たときでシステム構成が異なっているため、ThinkPad は通常の操作状態に戻ることができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ThinkPad がハイバネーション・モードに入る前の状態に、システム構成を変更してください。 メモリー・サイズが変更されている場合は、ハイバネーション・ファイルを作り直してください。 <p>拡張ユニットを使用している場合は、ハイバネーション・モードに入る前に、ThinkPad を拡張ユニットから取り外しておきます。</p> |
| 196 (ハイバネーションのエラー) | <p>ThinkPad がハイバネーション・ファイルを読み取ることができません。</p> <p>ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |
| 225 (サポートされていないメモリー) | <p>取り付けられた DIMM はサポートされていません。</p> <p>注: たとえば、ThinkPad がサポートしていないのに、EDO DRAM や66 MHz SDRAM を取り付けようとするこのエラーが発生します。</p> |
| 2xx (メモリーのエラー) | DIMM オプションが正しく取り付けられているか確認してください。 |
| 30x (キーボードのエラー) | <p>システム・キーボードまたは外付けキーボードの上に何も置かれていないことを確認してください。ThinkPad の本体および接続されているすべてのデバイスの電源をオフにしてください。まず、ThinkPad の電源をオンにしてから、次に、接続されているデバイスをオンにします。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、次の処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外付けキーボードが接続されている場合は、次の処置をとってください。 <ul style="list-style-type: none"> ThinkPad の電源をオフにし、外付けキーボードを外してから、ThinkPad の電源をオンにします。システム・キーボードが正しく作動するかどうかを確認します。正しく作動する場合は、外付けキーボードの修理を依頼します。 外付けキーボードが正しいコネクタに接続されていることを確認します。 |
| 6xx (ディスクのエラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 11xx (シリアル・ポートのエラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |

| メッセージ | 原因と処置 |
|---|--|
| 12xx (赤外線のエラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 17xx (ハードディスクのエラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 1801 (サポートされていないポート・リプリケーターのエラー) | 接続されているポート・リプリケーターがサポートされていません。 |
| 24xx (ビデオのエラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 808x (PC カード・スロットのエラー) | ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 860x (ポインティング・デバイスのエラー) | マウスまたは外付けキーボードが正しく接続されているかどうか確認します。正しく接続されている場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 「ディスク」プロンプト と「F1」プロンプト  | ハードディスク・ドライブが正しく取り付けられているかどうか確認します。 または、ディスク・ドライブに始動可能なディスクが正しく (ラベル面を上にし、金属シャッター部分を奥にして) 挿入されているかどうか確認します。 上記の項目が正しい場合は、F1 キーを押します。それでもこのプロンプトが消えない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。 |

| メッセージ | 原因と処置 |
|--|---|
| <p>エラー 163 の後、「Date and Time」画面が表示される。</p>  | <p>ThinkPad に日付と時刻が設定されていません。</p> <p>数字を入力するか、▲または▼をクリックして日付と時刻を設定し、「OK」をクリックしてください。</p> <p>始動パスワードとスーパーバイザー・パスワードの両方が設定されている場合は、次の処置を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ThinkPad の電源をオンにします。 エラー・コードの後にパスワード・プロンプトが表示されます。 2. 始動パスワードではなく、スーパーバイザー・パスワードを入力します。 エラーの画面が表示されます。 3. 「OK」をクリックするか、Enter キーを押します。 4. 次に表示される画面で日付と時刻を設定して、Enter キーを押します。 システムが再起動します。 <p>注: 始動パスワードが拒否された場合は、Easy-Setup を使用して始動パスワードを設定し直します。</p> |
| <p>始動パスワード・プロンプト</p>  | <p>始動パスワードまたはスーパーバイザー・パスワードが設定されています。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して、Enter キーを押してください(100 ページを参照)。</p> <p>始動パスワードが拒否される場合、スーパーバイザー・パスワードが設定されている可能性があります。スーパーバイザー・パスワードを入力して、Enter キーを押してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |
| <p>ハードディスク・パスワード・プロンプト</p>  | <p>ハードディスク・パスワードが設定されています。ThinkPad を始動するには、正しいパスワードを入力して、Enter キーを押してください(100 ページを参照)。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |
|  | <p>このメッセージは、IDE チャネルを 2 から 3 へ変更して、ThinkPad を再起動すると表示されます。ThinkPad の電源をオフにし、5 秒以上待ってから、電源を再度オンにします。</p> |

| メッセージ | 原因と処置 |
|---|--|
| POST エラー・プロンプト  | POST 中にエラーが検出されました。 エラー・コードを記録し、ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| エラー・プロンプト  | エラー・コードを記録し、ThinkPad の修理を依頼してください。 F1 キーを押せば、エラーを無視してオペレーティング・システムを起動することができます。 |
| DOS 全画面が小さく見える  | 640x480 の解像度 (VGA モード) のみをサポートする DOS アプリケーションを使用すると、画面イメージが多少ゆがんで見えたり、ディスプレイ・サイズより小さく表示される場合があります。これは、ThinkPad が他の DOS アプリケーションとの互換性を保っているためです。画面イメージを拡大して実際の画面と同じサイズにするには、 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動し、「LCD」() をクリックしてから、「スクリーン・エクспанション」機能を選択します(それでもイメージは多少ゆがんで見える場合があります)。 注: 画面拡大機能を備えた ThinkPad の場合は、 Fn + F8 キーを使用して、これと同じ処置を実行することができます。 |
| 『問題判別表』にない画面やメッセージ | エラー・コードを記録し、ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| xxxxx KB OK が表示されて、ThinkPad が停止する。 | ThinkPad の修理を依頼してください。 |

エラー・コードや画面上のメッセージで表示されない問題

| 問題 | 原因と処置 |
|---|---|
| <p>画面に何も表示されず、ビープ音も鳴らない。</p> <p>注 :ビープ音が鳴ったかどうか確かでない場合は、ThinkPad の電源をいったんオフにしてから、もう一度オンにし、ビープ音が鳴るかどうか確認します。外付けディスプレイを使用している場合は、158ページの『外付けディスプレイの問題』に進んでください。</p> | <p>始動パスワードが設定されている場合は、任意のキーを押して始動パスワード・プロンプトを表示させ、正しいパスワードを入力してから Enterキーを押してください(100ページを参照)。</p> <p>始動パスワードが表示されない場合は、ThinkPad の輝度調節つまみが最小輝度に設定されている可能性があります。輝度を正しく調節してください。</p> <p>それでもなお画面に何も表示されない場合は、以下の確認を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バッテリー・パックは正しく取り付けられていますか。 • AC アダプターが ThinkPad に接続されており、電源コードがコンセントに差し込まれていますか。 • ThinkPad の電源がオンになっていますか。(確認のため、電源スイッチをもう一度オンにしてください。) <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず画面に何も表示されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |
| <p>画面に何も表示されず、ビープ音が鳴り続けるか、ビープ音が 2 回以上鳴る。</p> | <p>ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |
| <p>マウス・ポインターだけが表示される。</p> | <p>オペレーティング・システムをインストールし直してから、ThinkPad の電源をオンにしてください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |

入力装置の問題


| 問題 | 原因と処置 |
|---|--|
| <p>ThinkPad が省電力機能のどれかから通常の操作状態に戻ったとき、マウス・ポインターが動かない。</p> | <p>Windows を <i>オンライン・ユーザーズ・ガイド</i> の指示どおり電源管理機能 (APM) オプション付きで正しくインストールしたかどうかを確認してください。</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|---|--|
| ThinkPad のキーボードの全部または一部が作動しない。 | <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad がサスペンド・モードから通常の操作状態に戻った直後にこの問題が発生した場合は、始動パスワードを入力してください。始動パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力が必要です。 • 外付けキーボードが接続されているときは、ThinkPad 本体のキーボードの数値キーボードは作動しません。これは、故障ではありません。 • 数値キーボードまたはマウスが外付けで接続されている場合: <ol style="list-style-type: none"> 1. ThinkPad の電源をオフにします。 2. 外付け数値キーボードまたはマウスを取り外します。 3. ThinkPad の電源をオンにし、もう一度キーボードを操作します。 • これでキーボードの問題が解決しない場合は、数値キーボード、外付けキーボード、またはマウスの接続をチェックします。 <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |
| ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の操作状態に戻ったとき、マウス・ポインターがドリフト (浮動) する。 | <p>通常の操作状態でトラックポイントを使わない場合に、マウス・ポインターがドリフトする場合があります。これは、トラックポイントの特性の 1 つであって、故障ではありません。ドリフトは、次の場合に数秒間発生することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad の電源をオンにしたとき。 • ThinkPad が通常の操作状態に戻ったとき。 • トラックポイントを長時間使用し続けたとき。 • 環境温度が変化したとき。 |
| 「トラックポイントのプロパティ」ウィンドウ内の設定を変更した後で、マウス・ポインターがしばらくの間動かなくなった。 | <p>これは、マウス・ポインターの通常の特性です。数秒間待てば、マウス・ポインターは通常の状態に戻ります。</p> |
| マウスまたはポインティング・デバイスが作動しない。 | <ul style="list-style-type: none"> • 「ThinkPad 機能設定」プログラムでポインティング・デバイスが使用可能になっているかどうか確認します。 • マウスまたはポインティング・デバイスのケーブルが、ThinkPad にしっかりと正しい場所に接続されているか確認してください。 • トラックポイントを操作してみてください。トラックポイントが作動する場合は、マウスに問題がある可能性があります。 • IBM PS/2 マウスと互換性のないマウスを使用する場合は、「ThinkPad 機能設定」プログラムを使ってトラックポイントを使用不可にしてください。 <p>注: 詳細については、マウスに付属のマニュアルを参照してください。</p> |
| マウス・ボタンが作動しない。 | <p>マウス・ドライバーを標準 PS/2 ポートマウスに変更してから、PS/2 TrackPoint をインストールし直してください。このドライバーのインストール方法については、オンライン・ユーザズ・ガイド を参照してください。</p> |
| スクロールまたは拡大表示機能が働かない。 | <p>「マウスのプロパティ」の「情報」タブをクリックし、「PS/2 TrackPoint」ドライバーがインストールされているかどうか確認します。</p> |




| 問題 | 原因と処置 |
|-------------------------|---|
| 英文字を入力したのに数字が表示される。 | ナム・ロック機能が有効になっています。ナム・ロック機能を解除するには、 Shift キーを押しながら NumLk キーを押してください。 |
| 数値キーボードの全部または一部が作動しない。 | 数値キーボードが ThinkPad に正しく接続されているか確認してください。 |
| 外付けキーボードの全部または一部が作動しない。 | <p>外付けキーボードを使用する場合は、キーボード/マウス・ケーブルを ThinkPad に接続する必要があります。次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> キーボード/マウス・ケーブルが ThinkPad に正しく接続されていますか。 キーボード・ケーブルがキーボード/マウス・ケーブルの正しい側に接続されていますか。 <p>上記の項目に問題がない場合は、キーボード/マウス・ケーブルを ThinkPad から取り外し、ThinkPad 本体のキーボードが正しく作動するかどうか確認します。ThinkPad 本体のキーボードが作動する場合は、キーボード/マウス・ケーブルまたは外付けキーボードの修理を依頼してください。</p> |

サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|---|--|
| ThinkPad が自動的にサスペンド・モードに入る。 | プロセッサの温度が許容の温度を超えると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードに入ります。これは、故障ではありません。 |
| POST の直後に ThinkPad がサスペンド・モードに入る (サスペンド・インジケーターがオンになる)。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> バッテリー・パックは充電されていますか。 環境温度が許容される範囲内にありますか。付録A を参照してください。 <p>上記の項目に問題がない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |
| エラー 190 の後、ThinkPad の電源がただちにオフになる。 | バッテリー電源の残量が少なくなっています。ThinkPad に AC アダプターを接続するか、フル充電したバッテリー・パックに交換してください。 |
| 通常の操作状態に戻ったときに LCD に何も表示されません。 | ThinkPad がサスペンド・モードの間に、外付けディスプレイが取り外されなかったかどうか確認します。 ThinkPad がサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードになっているときに、外付けディスプレイを取り外さないでください。 ThinkPad が通常の操作状態に戻ったときに外付けディスプレイが接続されていないと、 LCD には何も表示されません。この制限事項は、いずれの解像度でも同様です。 |

| 問題 | 原因と処置 |
|---|---|
| ThinkPad がサスペンド・モードから戻らないか、サスペンド・インジケータがオンになったままで、ThinkPad が作動しない。 | <p>バッテリー・パックが空になると、ThinkPad は自動的にサスペンド・モードまたはハイバネーション・モードに入ります。次のどちらかの処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フル充電したバッテリー・パックに交換してから、Fn キーを押します。 • ThinkPad に AC アダプターを接続してから、Fn キーを押します。 |
| ポート・リプリケーターを使用している場合は、ハイバネーション・モードまたはサスペンド・モードから通常の操作に戻るまで時間がかかります。 | <p>ネットワーク回線に接続していない場合、ThinkPad は、タイマーでタイムアウトになるまでイーサネットへの照会を続行します。イーサネットを使用する場合は、ネットワーク・ケーブルを接続してください。ネットワークを使用しない場合は、次の方法でイーサネット・ポートを使用不可にしてください。</p> <p>Windows 98 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「コントロール パネル」の「システム」アイコンをダブルクリックします。 2. 「デバイス マネージャ」タブをクリックします。 3. 「ネットワーク アダプタ」をダブルクリックします。 4. 「Intel EtherExpress PRO PCI Adapter」をダブルクリックします。 5. 「このハードウェア プロファイルで使用不可にする」チェック・ボックスを選択します。 6. 「OK」ボタンをクリックします。 7. すべてのウィンドウを閉じます。 8. ThinkPad を再起動します。 <p>Windows NT の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「コントロール パネル」の「デバイス」アイコンをダブルクリックします。 2. 「Intel EtherExpress PRO Adapter」を選択し、「停止」をクリックします。 3. 「スタートアップ」をクリックして、「無効」を選択します。 4. 「OK」ボタンをクリックします。 5. 「閉じる」をクリックします。 6. すべてのウィンドウを閉じます。 7. ThinkPad の電源をオフにし、再びオンにして再始動します。 |
| ThinkPad が、サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードにならない。 | <p>サスペンド・モードまたはハイバネーション・モードを使用不可にするオプションを、ThinkPad で選択していないかどうか確認してください。詳細情報  オンライン・ユーザーズ・ガイド</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|--|---|
| <p>Windows 98 または Windows NT のもとでタイマーによる設定どおりに、ThinkPad がサスペンド・モードに入らない。</p> | <p>Windows 98 の場合: Windows 98 の一般的な CD-ROM または DVD-ROM ドライバーは、3 秒ごとに内蔵 CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブにアクセスして、CD-ROM または DVD-ROM ドライブに CD-ROM が入っているかどうか確認します。これにより、ThinkPad がタイムアウト後にもサスペンド・モードに入ることができません。</p> <p>このようにならないようにするには、次の処置を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 3. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「システム」をダブルクリックします。 4. 「デバイス マネージャ」タブをクリックします。 5. 「CD-ROM」の「+」マークをクリックします。 6. CD-ROM 名または DVD 名をダブルクリックします。 7. 「設定」タブをクリックします。 8. 「挿入の自動通知」のチェック・ボックスのチェック・マークを外します。 <p>これで、Windows 98 が CD-ROM または DVD の挿入を自動的に検出することはなくなります。</p> <p>Windows NT の場合: CD-ROM AutoRun 機能を使用可能にした場合は、ThinkPad がタイマーによってサスペンド・モードに入ることはありません。この状態でタイマーを使用可能にするには、次のようにして、レジストリーの構成情報を編集します。</p> <pre>HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Cdrom\</pre> <p>Autorun: 0x1 → Autorun: 0</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|--|--|
| <p>ThinkPad が Fn + F12 のキーの組み合わせでハイバネーション・モードにならない。</p> | <p>次の手順に従って、ハイバネーション・モードを使用可能にしてください。</p> <p>Windows 98 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「省電力」 () をクリックします。 3. 「ハイバネーション」タブをクリックします。 4. 「ハイバネーションを使用可能にする」をクリックします。 5. 「すぐに作成する」ボタンをクリックします。 <p>IBM 通信 PC カードのいずれか 1 つを使用している場合は、ThinkPad はハイバネーション・モードに入ることができません。</p> <p>ハイバネーション・モードに入るには、通信プログラムを停止してから、PC カードを取り出すか、「コントロール パネル」を使用して PC カード・スロットを使用不可にします。</p> <p>Windows NT の場合 :</p> <p>注: Windows NT でハイバネーション・モードを使うには、ハードディスクを FAT 形式でフォーマットする必要があります。Windows NT の省略時の形式である NTFS 形式でハードディスクをフォーマットすると、ハイバネーション・モードは使用できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「省電力」 () をクリックします 3. 「サスペンド/レジューム・オプション」を () クリックします。 4. 「ハイバネーションを有効/無効」ボタンをクリックします。 5. 「OK」ボタンをクリックします。 <p>IBM 通信 PC カードのいずれか 1 つを使用している場合は、ThinkPad はハイバネーション・モードに入ることができません。</p> <p>ハイバネーション・モードに入るには、通信プログラムを停止してから、PC カードを取り出すか、「コントロール パネル」を使用して PC カード・スロットを使用不可にします。</p> |

LCD の問題

| 問題 | 原因と処置 |
|------------------------------|---|
| <p>画面が判読不能またはゆがんでいる。</p> | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイ・デバイス・ドライバーが正しくインストールされているかどうか。 • ディスプレイの解像度と色数は正しく設定されているかどうか。 • ディスプレイのタイプが正しいかどうか。 <p>この設定を確認するには、次のようにします。</p> <p>Windows 98 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 3. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「画面」をダブルクリックします。 4. 「設定」タブをクリックします。 5. 色数と解像度が正しく設定されているかチェックします。 6. 「詳細...」をクリックします。 7. 「アダプタ」タブを選択します。 <p>“NeoMagic MagicMedia 256ZX” が表示されていることを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 「モニタ」タブをクリックします。 <p>情報が正しいかどうか確認します。</p> <p>Windows NT の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 3. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「画面」をダブルクリックします。 4. 「設定」タブをクリックします。 5. 色数と解像度が正しく設定されているかチェックします。 6. 「ディスプレイ タイプ」をクリックします。 <p>アダプタの種類のところ“NeoMagic MagicMedia 256ZX” が表示されていることを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 「OK」ボタンをクリックします。 8. 「設定」ウィンドウの「Test」ボタンをクリックします。 <p>出力内容が正しいかどうかを確認します。</p> |
| <p>画面に間違っただ文字が表示される。</p> | <p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しくインストールされているか確認してください。</p> <p>インストールと構成が正しい場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |
| <p>電源スイッチをオフにしても画面が消えない。</p> | <p>ThinkPad の電源遮断スイッチをボールペンの先などで押して電源をオフにしてから、もう一度電源をオンにします。</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|---|--|
| ThinkPad の電源をオンにするたびに、画面上に見えないドットや、色の違うドット、または明るいドットが表示される。 | これは TFT テクノロジーの本質的な特性の 1 つです。ThinkPad のディスプレイには、複数の TFT (Thin-Film Transistor) が使用されています。画面上には見えないドット、色が違うドット、または明るいドットが少量存在していることがあります。 |

インジケータの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|--|---|
| バッテリー・パックが取り付けられているのに、バッテリー残量インジケータが消えている。 | バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いています。数時間待って、もう一度バッテリー・パックを使ってみてください。それでもインジケータがオンにならない場合は、バッテリー・パックを交換するか、ThinkPad の修理を依頼してください。 |
| 「ディスク・ドライブ使用中」インジケータが表示されたままである。 | <ul style="list-style-type: none"> • ディスクがドライブにある場合は、次のことを確かめてください。 <ul style="list-style-type: none"> – 内蔵または外付けディスク・ドライブが、ThinkPad にしっかり接続されていますか。 – ディスクに、システムを始動するために必要なファイルが入っていませんか。 – アプリケーション・プログラムに問題はありますか。 – ディスクに問題はありますか。 – ディスクが、ディスク・ドライブに正しく (ラベル面を上、金属シッター部分を奥) 挿入されていますか。 <p>上記の項目に問題がない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> • ドライブにディスクが入っていない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。 |


バッテリーの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|---|--|
| 電源オフの状態でバッテリー・パックを 3 時間半充電してもフル充電にならない。 | <p>バッテリー・パックが過放電状態になっている可能性があります。次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ThinkPad の電源をオフにします。 2. 過放電状態と思われるバッテリー・パックが取り付けられていることを確認します。 3. AC アダプターを ThinkPad に接続し、バッテリー・パックを充電します。 <p>バッテリー・パックを 24 時間充電してもフル充電にならない場合は、新しいバッテリー・パックを使用してください。</p> <p>オプションのクイック・チャージャーが使用可能であれば、それを使用して放電過剰になっているバッテリー・パックを充電します。</p> |
| <p>バッテリー残量インジケータが空になる前に ThinkPad の電源が遮断される。</p> <p>-または-</p> <p>バッテリー残量インジケータが空を示した後も ThinkPad を操作できる。</p> | <p>バッテリー・パックを放電してから、充電します。</p> |
| フル充電したバッテリー・パックの動作時間が短い。 | <p>バッテリー・パックを放電してから、充電します。それでも問題が解決しない場合は、新しいバッテリー・パックを使用してください。</p> |
| ThinkPad がフル充電したバッテリー・パックで作動しない。 | <p>バッテリー・パック内の過電流保護装置が働いている可能性があります。ThinkPad の電源をオフにして、この機能がリセットするまで 1 分以上待ってから、もう一度電源をオンにします。</p> |
| バッテリー・パックを充電できない。 | <p>バッテリー・パックが熱くなっているときは、充電できないことがあります。その場合、ThinkPad からバッテリー・パックを取り外し、室温環境でしばらく放置しておきます。冷えてから、取り付け直して、再充電します。それでも充電できないときは、修理を依頼してください。</p> |

ハードディスク・ドライブの問題


| 問題 | 原因と処置 |
|-----------------------------|---|
| ハードディスク・ドライブが断続的にカタカタ音を立てる。 | <p>カタカタという音は、次のような場合に聞こえる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードディスク・ドライブがデータへのアクセスを開始するとき、または停止するとき。 ハードディスク・ドライブを持ち運んでいるとき。 ThinkPad を持ち運んでいるとき。 <p>これは、ハードディスク・ドライブの通常の特性であり、故障ではありません。</p> |

CD-ROM ドライブの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|---------------------------------|---|
| CD-ROM ドライブが作動しない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ThinkPad の電源がオンになっていて、CD-ROM が CD-ROM ドライブの中央の回転軸に正しく収まっていますか。(カチッという音がするはずです。) CD-ROM ドライブ・コネクターが、ThinkPad にしっかり接続されていますか。 CD-ROM ドライブ・トレイはしっかりと閉じていますか。 デバイス・ドライバーが正しくインストールされていますか。 <p>拡張ユニット内の CD-ROM ドライブが作動しない場合は、以下の処置を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「スタート」ボタンをクリックします。 マウス・ポインターを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。 「拡張ユニット」() をクリックします。 「IDE デバイス」タブで「拡張ユニット中の IDE デバイス」が「使用する」になっているかどうか確認します。 <p>注: PCI デバイス設定に IRQ 11 と IRQ 15 は使用しないでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「OK」ボタンをクリックします。 |
| CD-ROM の回転時に、CD-ROM ドライブが音を立てる。 | <p>CD-ROM ドライブのカバーが変形している可能性があります。CD-ROM ドライブの修理を依頼してください。</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|--|---|
| <p>CD-ROM イジェクト・ボタンを押しても CD-ROM トレイが出てこない。</p> | <p>非常用取り出し用穴にピンの先などを入れて CD-ROM トレイを出してください。</p> |
| <p>CD-ROM のデータを読むことができない。</p> | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CD-ROM が汚れていませんか。汚れている場合は、CD-ROM クリーナー・キットで汚れを取り除いてください。 • CD-ROM に欠陥がありませんか。別の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて確認してください。 • CD が正しい向き (ラベルのある側を上にする) でトレイにセットされていますか。(カチッという音がするはずです。) • その CD は、次に示すものと互換性のある形式ですか。 <ul style="list-style-type: none"> – 音楽 CD – CD-ROM または CD-ROM XA – マルチセッション・フォト CD – ビデオ CD |

DVD-ROM ドライブの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|-----------------------------------|--|
| DVD が作動しない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad の電源がオンになっていて、DVD またはコンパクト・ディスクが DVD ドライブの中央の回転軸に正しく収まっていますか。(カチッという音がするはずです。) • DVD ドライブ・コネクタが、ThinkPad にしっかり接続されていますか。 • DVD ドライブ・トレイがしっかり閉じていますか。 • デバイス・ドライバーが正しくインストールされていますか。 <p>拡張ユニット内の DVD ドライブが作動しない場合は、以下の処置を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。 3. 「拡張ユニット」()をクリックします。 4. 「IDE デバイス」タブで「拡張ユニット中の IDE デバイス」が「使用する」になっているどうか確認します。 <p>注: PCI デバイス設定に IRQ 11 と IRQ 15 は使用しないでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 「OK」ボタンをクリックします。 |
| DVD の回転時に、DVD ドライブが音を立てる。 | DVD ドライブのカバーが変形している可能性があります。DVD ドライブの修理を依頼してください。 |
| DVD イジェクト・ボタンを押しても、DVD トレイが出てこない。 | 非常用取り出し用穴にペンの先などを差し込んで、DVD トレイを出します。 |
| DVD が読み取れない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DVD が汚れていませんか。汚れている場合は、汚れを取り除いてきれいにします。 • DVD に欠陥はありませんか。欠陥がある場合は、別の DVD を試してみます。 • DVD が、ラベル側を上にして、DVD ドライブの中央の回転軸に収まっていますか。(カチッという音がするはずですが。) • DVD は次のものと互換性のある形式ですか。 <ul style="list-style-type: none"> – 音楽 CD – CD-ROM または CD-ROM XA – マルチセッション・フォト CD – ビデオ CD – DVD (DVD ビデオ) |

| 問題 | 原因と処置 |
|---|---|
| <p>Windows 98 または Windows 95 で DVD Express を再生すると、「No valid Disk/Drive found」というメッセージが表示されます。</p> | <p>このメッセージは、DVD を DVD ドライブに入れたまま ThinkPad をリポートしたり、再始動すると表示されます。ドライブから DVD を取り出してから再度挿入してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ドライブの割当を確認してください。割り当てるときは、文字を飛ばさないでください。たとえば、ハードディスク・ドライブに C を割り当て、D を使わずに、DVD ドライブに E を割り当てた場合などです。この場合は、DVD ドライブに D を割り当ててください。ドライブを E から D に変更するには、次のようにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」をクリックし、マウス・ポインターを「設定」に移動し、「コントロール パネル」をクリックします。 2. 「デバイス マネージャ」をダブルクリックします。 3. DVD ドライブに現在割り当てられている文字 (たとえば E) をダブルクリックします。 4. 「設定」タブをクリックします。 5. 「予約ドライブ文字」の下に「開始ドライブ文字」にある D を選択します。 6. 「OK」ボタンをクリックして、ThinkPad を再起動します。 |

赤外線通信の問題

| 問題 | 原因と処置 |
|--|---|
| ThinkPad が赤外線ポートを使って他の装置と通信することができない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通信速度は同じですか。 • 赤外線ポートは汚れていませんか。 • ThinkPad と通信先デバイスの間に障害物はありませんか。 • ThinkPad と通信先デバイスの間の距離と角度は、指定された範囲内にありますか。 • 直射日光が当たる場所で操作していませんか。 • 赤外線ポートが通信先ポートと直接向き合っていますか。 • 通信が ThinkPad の LCD の光で妨げられていませんか。これを避けるため、LCD を広い角度に開いてください。 • ThinkPad で実行している通信アプリケーションと通信先のコンピューターで実行されている通信アプリケーションは、互換性がありますか。詳細については、アプリケーションの説明書を参照してください。 |
| ThinkPad と通信先デバイスとの間で誤ったデータが送信される。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad と通信先デバイスの間の距離と角度は、指定された範囲内にありますか。 • 通信速度は同じですか。 • ThinkPad や通信先デバイスの近くにリモコン装置やワイヤレス・ヘッドホンなど、赤外線を出す装置がありませんか。 • 直射日光が当たる場所で操作していませんか。 • ThinkPad や通信先デバイスの近くに蛍光灯がありませんか。 |
| パラレル・ポートと赤外線ポートの両方に対する DMA チャンネルが使用できない。 | <p>ECP を使用可能にしているパラレル・ポート用に DMA3 (初期値) を選択すると、赤外線ポート用の DMA を使用不可にするかどうかを確認するプロンプトが表示されます。パラレル・ポートと赤外線ポートの両方に DMA チャンネルを使用する手順は、次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「OK」をクリックして、赤外線ポートに対するDMA を使用不可にします。 2. パラレル・ポートの画面をクローズします。 3. 「赤外線」ボタンをクリックして、「赤外線」ウィンドウをオープンします。 4. 画面上で、赤外線ポートに対し DMA0 または DMA1 を選択します。 5. オーディオ・デバイスに対する DMA を使用不可にするかどうかを確認する画面が表示されたら、「OK」をクリックします。 |

オーディオまたは電話機能の問題

| 問題 | 原因と処置 |
|--|--|
| <p>マイクロホンからの録音レベルが低すぎる。</p> | <p>「マイクロフォン ブースト」が使用可能になっていることを確認してください。「マイクロフォン ブースト」は、次のようにして表示される「録音マスター」ウィンドウの「マイクロフォンの詳細設定」ウィンドウにあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タスクバーの「音量」アイコンをダブルクリックして、「出力マスター」ウィンドウを表示します。 2. 「オプション」メニューで「プロパティ」をクリックし、「プロパティ」ウィンドウを表示します。 3. 「録音」ラジオ・ボタンを選択して、「OK」をクリックします。(このとき「表示するコントロール」フィールドの「マイクロフォン」にチェックが付いていることを確認します。) 4. 「マイクロフォン」の音量の下にある「トーン」ボタンをクリックします。(「トーン」ボタンが表示されていないときは、「オプション」メニューで「トーン調整」を選択してください。) 5. 「マイクロフォン ブースト」を選択して、「閉じる」をクリックします。 |
| <p>「出力マスター」ウィンドウで、バランスおよび音量の 슬라이ダーが動かない。</p> | <p>スライダーがグレーで表示されていることがあります。これは、その位置がハードウェアで固定であり、変更できないことを表しています。</p> |
| <p>特定のオーディオ・アプリケーションを使用する場合に、バランスや音量の 슬라이ダーが勝手に移動する。</p> | <p>特定のサウンド・アプリケーションを使用する場合に、スライダーの位置が変わることは、正常な現象です。アプリケーションがミキサーのパネルに気づき、自分で設定を変更します。たとえば、Windows Media Player などがそうです。通常、スライダーを使用して、アプリケーション内からもサウンドをコントロールすることが可能です。</p> |
| <p>音がひずんだり、ノイズが入ったりする。</p> | <p>まず、音が正しく聞こえるように、音源の音量スライダーを下げます。イコライザーや3D エフェクトを使用している場合、ミキサーの能力よりも音量が大きくなる場合があります。音源の音量を下げたあと、「出力マスター」ウィンドウで「出力マスター」の音量とキーボードの音量調節を再確認してください。</p> |
| <p>音量スライダーがミキサーのパネルにすべて表示されない。</p> | <p>タスクバーの「音量」アイコンにフォーカスがあるときに、Ctrl+S キーを押します。</p> |
| <p>バランス・スライダーによって、片方のチャンネルを完全にミュートしない。</p> | <p>左右のバランスで低い方を補正するように設計されているので、片方のチャンネルを完全にミュートにすることはありません。</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|---|---|
| <p>(Windows 98 または Windows 95 のユーザー) Wave または MIDI のサウンドが正しく再生できない。</p> | <p>内蔵のオーディオ・デバイスが正しく構成されているかどうかを確認してください。</p> <p>Windows 98および Windows 95:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「プログラム」に移動します。次に「コントロール パネル」をクリックします。 3. 「システム」をダブルクリックします。 4. 「デバイス マネージャ」タブをクリックします。 5. 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の横の「+」マークをクリックします。 6. 次のデバイスが使用可能になっていて、正しく構成されていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • Crystal SoundFusion Game Device • Crystal SoundFusion Joystick • Crystal SoundFusion PCI Audio Accelerator • Crystal SoundFusion Virtual MPU401 |
| <p>(Windows 95 ユーザー)オーディオ・ドライバーの再インストール中に、エラー・メッセージが表示される。</p> | <p>オーディオ・ドライバーを次のようにインストールします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows 95 を起動します。 2. ドライバーのあるディレクトリーの SETUP.EXE を実行します。「Crystal Audio Setup」ウィンドウが表示されます。 3. 「Uninstall Crystal Drivers」ボタンをクリックします。 4. 「Shutdown」ボタンをクリックします。 5. ThinkPad の電源をオンにします。システムが PCI Multimedia Audio Device を検出します。「デバイス ドライバ ウィザード」が表示されます。 6. 「次へ」ボタンをクリックします。 7. 「場所の指定」ボタンをクリックします。「場所の指定」ウィンドウが表示されます。 8. ロケーションの場所に、ドライバーがあるディレクトリー名を入力します。 9. 「OK」ボタンをクリックします。 10. Windows 95 が更新されたドライバーを検出します。 11. 「完了」ボタンをクリックします。「ディスクの挿入」ウィンドウが表示されます。 12. 「OK」ボタンをクリックします。「ファイルのコピー」ウィンドウが表示されます。 13. ドライバーの場所を入力して、「OK」ボタンをクリックします。これでオーディオ・ドライバーがインストールされました。Windows 95 がオーディオ・ドライバーを検出します。 |


| 問題 | 原因と処置 |
|--------|---|
| その他の問題 | <p>他にも次の要因で問題が生じる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ThinkPad のモデム機能と拡張ユニット内のその他のアダプター・カードとのあいだに互換性がない場合。この問題がどのカードまたはデバイスによるかを判断するには、拡張ユニットのアダプター・カードを 1 枚ずつ取り外して再起動します。 • 電話ケーブルの配線が、使用しているアプリケーションに適していない場合。 • 電話ケーブルが損傷している場合。 • 電話機が故障している場合。 • オーディオ・ケーブルの配線が、使用しているアプリケーションに適していない場合。 • オーディオ・ケーブルが損傷している場合。 • オーディオ機器が故障している場合。 |

汎用シリアル・バス (USB) の問題

| 問題 | 原因と処置 |
|--------------------------------------|--|
| 汎用シリアル・バス (USB) コネクタに接続したデバイスが作動しない。 | <p>次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 汎用シリアル・バス (USB) デバイスが正しく接続されていることを確認します。 2. 「デバイス マネージャ」ウィンドウを開きます。USB デバイスのセットアップが正しく行われ、ThinkPad のリソース割り当ておよびデバイス・ドライバのインストールが正しく行われているか確認します。 <p>注: 「スタート」ボタンをクリックしてから、マウス・ポインターを、「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。「コントロール パネル」をクリックします。次に「システム」をダブルクリックします。続いて、「システム・プロパティ」ウィンドウで「デバイス マネージャ」タブをクリックします。</p> |

PC カードまたは PCI モデムの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|----------------|---|
| PCI モデムが作動しない。 | <p>オペレーティング・システムがモデムと同じ IRQ レベルを共用している可能性があります。このような状況では、PCI モデムが作動しない場合があります。モデムを使用するには、IRQ の共用を取り消す必要があります。</p> <p>IRQ 共用状態の取り消し ➡ オンライン・ユーザズ・ガイド</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|----------------------------------|--|
| <p>モデムのアプリケーションが、内蔵モデムで働かない。</p> | <p>「デバイス マネージャ」ウィンドウをオープンして「モデム ウィザード」を実行するか、あるいは次の手順に従って「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動して、内蔵モデムが使用可能になっていることを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。 3. 「内蔵モデム」() をクリックします。 4. 「使用する」を選択します。 5. 「OK」ボタンをクリックします。 <p>モデムが正しく作動しない場合 → オンライン・ユーザズ・ガイド モデムが正しく作動する場合は、モデムを次のように設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 3. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「モデム」をダブルクリックします。 「Lucent Win Modem」が強調表示されます。 4. 「ダイヤルのプロパティ」ではなく「プロパティ」をクリックします。 5. 「接続」タブをクリックします。 6. 「トーンを待ってからダイヤルする」のチェック・ボックスのチェックを外します。 7. 「詳細」ボタンをクリックします。 8. 「エラー制御を使う」チェック・ボックスのチェックを外します。 9. 「フロー制御を使う」チェック・ボックスを選択し、「ハードウェア (RTS/CTS)」が選択されていることを確かめます。 10. 「OK」をクリックして、ウィンドウをクローズします。 11. 「OK」ボタンをクリックして、「モデムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。 12. 「ダイヤルのプロパティ」をクリックして、すべてのボックスを埋め、「トーン」または「パルス」のどちらかをクリックします。 <p>注: 現在は、パルス・ダイヤルではなく、各ボタンが異なるトーンを発信するトーンを使用する電話が増えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 13. 「OK」ボタンをクリックします。 14. 「閉じる」をクリックして、ウィンドウをクローズします。 15. すべてのアクティブ・ウィンドウを閉じます。 <p>モデム・アプリケーションを再び実行します。</p> |


| 問題 | 原因と処置 |
|-----------------------------------|--|
| Windows 95 環境でモデム・アプリケーションが作動しない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モデムは正しく接続されていますか。 • 「デバイス マネージャ」ウィンドウにある「Lucent Win Modem」の左に「！」マークがありますか。 <p>「！」マークがある場合は、システム・リソースがほかのポートと対立していることが考えられます。</p> |
| PC カード・モデムが作動しない。 | 赤外線ポートが使用不可で、モデムが正しくセットアップされているかどうか、本書および PC カード・モデムに付属の資料の説明に従って確認します。 |

その他の PC カードの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|-------------------------------|--|
| PC カードが「使用可」と表示されるが、正しく作動しない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PC カード用に確保されたシステム・リソースが、他のシステム・デバイスと競合していませんか。 <p>➡ <i>オンライン・ユーザズ・ガイド</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • PC カード用に確保されたリソースの設定が、アプリケーション・プログラムでの設定と一致していますか。 <p>モデム・カードを使用している場合は、COM ポート番号、入出力ポート・アドレス、および IRQ レベルを確認してください。ネットワーク・カードを使用している場合は、入出力ポート・アドレス、IRQ レベル、およびメモリー・ウィンドウ・アドレスを確認してください。PC カードに割り当てられているリソースを調べるには、「ThinkPad 機能設定」プログラムの「デバイス マネージャを開く」ボタンをクリックし、使用しているネットワーク・アダプターを選択してダブルクリックします。そのプロパティのウィンドウで「リソース」タブをクリックします。</p> |
| PCカード使用時に、システム・リソースの競合が起こる。 | ➡ <i>オンライン・ユーザズ・ガイド</i> |

| 問題 | 原因と処置 |
|--|--|
| PC カードをインストールして構成しても、作動しない。 | <ul style="list-style-type: none"> • モデム・カード: 「モデム コントロール」パネルと使用している通信アプリケーションの設定がすべて対応していて、正しいかを確認します。 • SCSI カード: SCSI カード用の正しいドライバーがインストールされているか確認します。 注: ThinkPad を操作中に SCSI カードを挿入することはできませんが、できるだけ起動前に挿入しておくようにしてください。 • ネットワーク・カード: すべてのネットワーク構成要素が正しくインストールされているか確認します。 • コンボ・カード: コンボ・カード用の正しいドライバーがインストールされているか確認します。システムを再始動してから、コンボ・カードを差し込みます。 |
| バッテリー操作で PC カードを使用してアクセスしようすると、ネットワークへの接続が切断される。 | <p>ThinkPad では、バッテリー寿命を伸ばすために、プロセッサの速度と操作時間に制限がありますが、ネットワーク・カードによっては、プロセッサ制御ができないものがあります。次の手順を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」に移動します。次に「コントロール パネル」をクリックします。 3. 「ThinkPad 機能設定」アイコンをダブルクリックします。 4. 「省電力」ボタンをクリックします。 「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが表示されます。 5. 「パワー・モード」タブをクリックします。 6. 「パワー源」リスト・ボックスの「バッテリー」が選択されているかどうか確認します。選択されていない場合は、「バッテリー」を選択します。 7. 「カスタマイズ」ラジオ・ボタンをクリックします。 8. 「省電力オプション」の下の「プロセッサ速度」リスト・ボックスの「最高速」を選択します。 9. 「OK」をクリックして、変更を適用します。 |

拡張ユニットまたはポート・リプリケーターの問題


| 問題 | 原因と処置 |
|--|--|
| <p>拡張ユニットの IDE CD-ROM ドライブまたはハードディスク・ドライブが作動しない。</p> | <p>拡張ユニットのセカンダリー IDE デバイスに対するシステム・リソースが、他のデバイスのシステム・リソースと競合していないか確認してください。次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。 3. 「拡張ユニット」() をクリック、そして「デバイス マネージャ」タブをクリックします。 4. 「CD-ROM」またはその他のドライバーの左横に「！」マークがないことを確かめます。 <p>デバイスを使用可能にするには → 87ページの『拡張ユニットの IDE ドライブの使用』</p> |
| <p>ポート・リプリケーターの MIDI コネクターが作動しない。</p> | <p>ポート・リプリケーターの MIDI コネクターを作動させるには、「ThinkPad 機能設定」プログラムを使用します。次の手順によって、MIDI コネクターが使用可能になっているかどうか確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「MIDI/ジョイスティック・ポート」ボタンをクリックします。 3. MIDI ポートが使用可能になっているかどうか確認します。使用不可になっている場合は、「使用する」をクリックしてから、「適用」をクリックします。 4. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを終了し、ThinkPad を再起動します。 <p>注: ThinkPad の再始動時に、ThinkPad のオペレーティング・システムに MIDI ドライバーをインストールする必要がある場合があります。画面の指示に従ってください。</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|---|--|
| <p>ThinkPad の電源をオンにしたとき、または通常の操作状態に戻ったときに ThinkPad がハング (停止) する。</p> | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AC アダプターがポート・リプリケーターに、または電源コードが拡張ユニットに接続されていますか。これを実行するには、本書の説明にしたがってください。 → 82 ページ • 拡張ユニットの電源インジケーターが点灯していますか。 • ThinkPad がポート・リプリケーターにしっかり接続されていますか。または ThinkPad とポート・リプリケーターが拡張ユニットにしっかり接続されていますか。 <p>それでも問題が解決されない場合は、ポート・リプリケーターおよび拡張ユニットに付属の資料を参照してください。</p> |
| <p>拡張ユニットに取り付けられている PC カードが認識されず、PC カード・スロットが使用できない。</p> | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AC アダプターがポート・リプリケーターに接続されていますか。 • 拡張ユニットの電源インジケーターがオンになっていますか。 • ThinkPad がポート・リプリケーターにしっかり接続されていますか。または ThinkPad とポート・リプリケーターが拡張ユニットにしっかり接続されていますか。 |
| <p>(Windows 98 または Windows 95 ユーザー) ThinkPad は、セレクトアベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き) が接続されていると、ホット・アンドッキングやウォーム・アンドッキングのときにハングします。</p> | <p>セレクトアベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き) をシステムに接続した状態で、次のようにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。 3. 「システム」をダブルクリックします。 4. 「デバイス マネージャ」タブをクリックします。 5. 「ネットワーク アダプタ」をダブルクリックします。 6. 「イーサネット アダプタ」をダブルクリックします。 「イーサネット アダプタのプロパティ」ウィンドウが表示されます。 7. 「すべてのハードウェア プロファイルで使用する」チェック・ボックスのチェックを外し (Windows 98 または Windows 95 OSR2 以降のバージョン)、または「Undocked (使用中)」チェック・ボックスのチェックを外します (Windows 95 OSR0 または OSR1)。 8. 「OK」をクリックして、変更を適用します。 |

| 問題 | 原因と処置 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • Windows 95 環境で、ThinkPad をポート・リプリケーターにウォーム・ドッキングしたあと、拡張ユニット内の PC カード、またはセレクトデータベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き) が認識されない。 • Windows 95 環境で、ThinkPad をパワー・マネージメントからレジュームしたあと、拡張ユニット内の PC カード・モデム、SCSI カード、ATA カード、3Com Combo カード、または CardBus カード、あるいはセレクトデータベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き) が作動しない。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows 95 を起動します。 2. ソフトウェア・セレクション CD を CD-ROM または DVD-ROM ドライブに差し込みます。 3. DOS プロンプトで、次のように入力します。 <pre>COPY src_cd:¥DATA¥WIN95¥JP¥W95UPD¥QFE703¥PCI.VXD C:¥WINDOWS¥SYSTEM</pre> <p>「Enter」キーを押します。 ファイルを上書きしてもよいかどうかを問われます。</p> 4. 「Y」と入力して、Enterキーを押してください。 <p>注: src_cd は、CD-ROM または DVD-ROM のドライブ名です。</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|---|---|
| <p>セレクトベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き) ドライバーのインストール中にエラー・メッセージが表示される。</p> | <p>ドライバーを次のようにインストールしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セレクトベース 600 を使用して、ThinkPad をセレクトベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き) に接続します。 2. Windows 95 を起動します。 3. ドッキング構成の作成中に、ThinkPad が PCI Ethernet Controller を検出します。 「デバイス ドライバー ウィザード」ウィンドウが表示されます。 4. 「次へ」ボタンをクリックします。 5. 「場所の指定」ボタンをクリックします。 「場所の指定」ウィンドウが表示されます。 6. セレクトベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き) のドライバーがあるディレクトリー名を入力します。 7. 「OK」ボタンをクリックします。 Windows 95 が更新されたドライバーを検出します。 8. 「完了」ボタンをクリックします。 「ディスクの挿入」ウィンドウが表示されます。 9. ドライバーの場所を入力して、「OK」ボタンをクリックします。 「ネットワーク」ウィンドウが表示されます。 10. 「OK」ボタンをクリックします。 11. ThinkPad の名前とワークグループの名前を入力します。 12. 「閉じる」をクリックします。 「ディスクの挿入」ウィンドウが表示されて、Windows 95 CD-ROM を要求します。 13. 「OK」ボタンをクリックします。 これでセレクトベース PC カード・イネーブラー (EtherJet 機能付き) ドライバーがインストールできました。 「ディスクの挿入」ウィンドウが表示されます。 14. 「OK」ボタンをクリックします。 15. ドライバーの場所を入力して、「OK」ボタンをクリックします。 16. ThinkPad を再起動します。 |

プリンターの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|--------------|---|
| プリンターが作動しない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パラレル・ポートが使用可能になっていますか。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動してから、「ThinkPad 機能設定」をクリックします。 3. 「パラレル・ポート」()をクリックします。 4. 「使用する」を選択します。 5. 「OK」ボタンをクリックします。 • プリンターの電源がオンで、印刷可能になっていますか。 • プリンターの信号ケーブルが ThinkPad の正しいコネクタに接続されていますか。 <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず、プリンターが作動しない場合は、プリンターの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストでプリンターの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> |

外付けディスプレイの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|---------------------|---|
| 外付けディスプレイに何も表示されない。 | <p>次の処置をとってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外付けディスプレイを他の ThinkPad に接続し、動作するかどうかを確認します。 2. 外付けディスプレイを、ご使用の ThinkPad にもう一度接続します。 3. 外付けディスプレイに付属の資料を参照して、サポートされている解像度をチェックします。 4. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを起動します。 5. 「ThinkPad 機能設定」プログラムのツールバーの「ディスプレイ装置」ボタンを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 外付けディスプレイがサポートする解像度が、LCD の解像度と同じかそれ以上である場合は、「CRT ディスプレイ単独」または「LCD と CRT ディスプレイ両方」をクリックします。 • 外付けディスプレイがサポートする解像度が、LCD の解像度より低い場合は、「CRT ディスプレイ単独」をクリックします。（「LCD と CRT ディスプレイ両方」をクリックした場合は、外付けディスプレイの画面は何も表示されないかゆがんでいます。） |

| 問題 | 原因と処置 |
|--|--|
| <p>外付けディスプレイに現在の解像度よりも高い解像度を設定することができない。</p> | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の手順に従って、ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。 <p>Windows 98 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 3. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「画面」をダブルクリックします。 4. 「設定」タブをクリックします。 5. 「詳細」をクリックします。 6. 「アダプタ」タブを選択します。 <p>“NeoMagic MagicMedia 256ZX” が表示されていることを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 「OK」ボタンをクリックします。 <p>ディスプレイ・ドライバーがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> <p>Windows NT の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 3. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「画面」をダブルクリックします。 4. 「ディスプレイの設定」タブをクリックします。 5. 「ディスプレイの種類」をクリックします。 <p>アダプタの種類のところ“NeoMagic MagicMedia 256ZX” が表示されていることを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 確認ができれば、「キャンセル」をクリックして終了します。 <p>違うときは、「変更」をクリックし、ドライバーをインストールします。</p> <p>ディスプレイ・ドライバーがインストールされているかどうか不確かな場合は、再インストールしてください。</p> <p>(次のページに続く)</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|--|---|
| <p>外付けディスプレイに現在の解像度よりも高い解像度を設定することができない。</p> | <p>(前のページからの続き)</p> <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 適切なディスプレイ・タイプは、次のようにして選択します。 <p>Windows 98 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動します。 3. 「コントロール パネル」をクリックしてから、「画面」をダブルクリックします。 4. 「設定」タブをクリックします。 5. 「詳細」をクリックします。 6. 「モニター」タブをクリックします。 モニター情報ウィンドウに正しいモニター・タイプが表示されていることを確認します。モニター・タイプが正しければ、「OK」ボタンをクリックして、11 のステップに進みます。正しくないときは、次のようにします。 7. 「変更」をクリックします。 「デバイス・ドライバの更新ウィザード」が表示されます。 8. 「次へ」をクリックし、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」、「すべてのハードウェアを表示」の順に選択して、画面の指示に従います。 9. ディスプレイの「製造元」と「モデル」を選択し、画面の指示に従います。 10. ドライバを更新してから、「閉じる」をクリックして、「プロパティ」ウィンドウをクローズします。 11. 「画面のプロパティ」ウィンドウで、「色」および「画面の領域」を設定します。 12. 「OK」ボタンをクリックします。 <p>注: Windows NT を使用している場合は、使用できるディスプレイ・モード (解像度と色数) およびリフレッシュ・レートを選択します。Windows NT では、ディスプレイの製造元やモデル名を選択するようにはなっていません。</p> |



| 問題 | 原因と処置 |
|-------------------|--|
| 画面が判読不能またはゆがんでいる。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされていますか。(外付けモニターで高解像度の設定に関する「原因と処置」を参照してください (159ページ))。 • 適切なディスプレイ・タイプが選択されていますか。(外付けモニターで高解像度の設定に関する「原因と処置」を参照してください (160ページ))。 • 適切なリフレッシュ・レートが設定されていますか。(Windows 98 の場合) <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows 98 の場合のステップ 1 から 6 (159ページ) を実行します。 2. ディスプレイの正しいリフレッシュ・レートを選択します。正しいリフレッシュ・レートが不確かな場合は、「最適」を選択します。 <p>設定が正しい場合は、外付けディスプレイの説明書に記載されているテストを実行してください。このテストで外付けディスプレイの問題が検出されない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 適切なリフレッシュ・レートが設定されていますか。(Windows NT の場合) <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows NT の場合のステップ 1 から 4 (159ページ) を実行します。 2. 「リフレッシュ・レート」フィールドにあるリフレッシュ・レートがご使用のモニターでサポートされていることを確認します。サポートされていない場合は、正しい速度を選択します。 |
| 画面に間違った文字が表示される。 | <p>オペレーティング・システムとアプリケーション・プログラムが正しい手順でインストールされているか確認してください。</p> <p>正しくインストールされている場合は、外付けディスプレイの修理を依頼してください。</p> |

テレビの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|--------------|--|
| 画面に何も表示されない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テレビ設定を使用可能にしていますか。TV を使用するためには、ThinkPad を起動するつど TV を使用可能に設定する必要があります。 • 次のようにして、ビデオ出力ポート (TV 出力) を使用可能にしたかどうか確認します。 <p>Windows 98 の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。 3. 「画面」をダブルクリックします。 4. 「設定」タブを選択します。 5. 「詳細」をクリックします。 6. 「NeoMagic」タブを選択します。 7. 「TV」チェック・ボックスが選択されていることを確認します。 8. 「詳細」ボタンをクリックします。 9. 「TV オプション」タブを選択します。 <p>手順で「標準 TV 出力」および「出力の選択」を設定する必要がある場合は、「標準 TV 出力」の下の「NTSC」ラジオ・ボタン、および「出力の選択」の下の該当するラジオ・ボタンを、必ず選択します。</p> <p>Windows NT の場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」ボタンをクリックします。 2. マウス・ポインターを「設定」、「コントロール パネル」の順に移動してから、「コントロール パネル」をクリックします。 3. 「画面」をダブルクリックします。 4. 「NeoMagic」タブを選択します。 5. 「TV」チェック・ボックスが選択されていることを確認します。 6. 「詳細」ボタンをクリックします。 7. 「TV オプション」タブを選択します。 <p>手順で「標準 TV 出力」および「出力の選択」を設定する必要がある場合は、「標準 TV 出力」の下の「NTSC」ラジオ・ボタン、および「出力の選択」の下の該当するラジオ・ボタンを、必ず選択します。</p> |

その他のオプションの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|-----------------------------|--|
| 取り付けたばかりの IBM 製オプションが作動しない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オプションは ThinkPad 用に設計されたものですか。 • オプションが、オプションに付属の説明書または本書に従って正しく取り付けられていますか。 • 取り付けられている他のオプションやケーブル類がしっかりと接続されていますか。 • I/O アドレス、割り込み (IRQ) レベル、DMA チャンネルの設定に競合はありませんか。システム・リソースの状況を確認するには、「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動して、各装置のアイコンをクリックしてください。 <p>オプションのテスト・プログラムで問題が検出されなかった場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p> |
| 今まで動いていた IBM 製オプションが作動しない。 | <p>次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オプションが ThinkPad にしっかりと接続されていますか。 • そのオプションはその自己テストが正常に終了していますか。オプションにテスト・プログラムが付属していれば、その指示に従ってオプションをテストしてください。 • システム・リソースの競合がありませんか (➡ オンライン・ユーザズ・ガイド)。 <p>上記の項目に問題がなく、テスト・プログラムでも問題が検出されない場合は、ThinkPad とオプションの修理を依頼してください。</p> |

| 問題 | 原因と処置 |
|------------------------|--|
| <p>シリアル・ポートが作動しない。</p> | <p>次の手順に従って、シリアル・ポートが使用可能になっていることを確認してください。</p> <p>Windows 98 の場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「シリアル・ポート」 () をクリックします。 3. 「使用する」を選択します。 4. 「デバイス マネージャ」ボタンをクリックします。 5. 「デバイス マネージャ」ウィンドウでポートをチェックし、設定が正しいかどうか確認します。 6. 「OK」ボタンをクリックします。 <p>Windows NT の場合 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ThinkPad 機能設定」プログラムを始動します。 2. 「シリアル・ポート」 () をクリックします。 3. 「使用する」を選択してから、「COM1」、「COM2」、「COM3」、または「COM4」を選択します。 4. 「OK」ボタンをクリックします。 |

ソフトウェアの問題

| 問題 | 原因と処置 |
|---|---|
| アプリケーション・プログラムが正しく作動しない。 | <p>問題の原因がアプリケーションにあるかどうかを調べるために、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> そのアプリケーションを使用するために最低限必要なメモリーが ThinkPad にありますか。アプリケーションに付属の説明書を参照してください。 そのアプリケーションがオペレーティング・システムで実行できるように設計されていますか。 問題のアプリケーション以外は、ThinkPad で正しく実行されますか。 必要なデバイス・ドライバーがインストールされていますか。 ➡ オンライン・ユーザーズ・ガイド 問題のアプリケーションは、別のコンピューターで正しく作動しますか。 <p>アプリケーション・プログラムを使用しているときにエラー・メッセージが表示された場合は、アプリケーション・プログラムに付属の説明書を参照してください。</p> <p>上記の項目に問題がないにもかかわらず、問題が解決されない場合は、アプリケーション・プログラムの供給元にご連絡ください。</p> |
| 「ThinkPad 機能設定」プログラムのメイン画面がゆがんでいる (Windows NT の場合のみ)。 | <p>「アクティブ・デスクトップ」に Internet Explorer バージョン 4.0 を組み込んで、Windows NT にインストールすると、この問題が生じる可能性があります。次のどちらかの処置をとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> アクティブ・デスクトップをアンインストールします。(アクティブ・デスクトップを使用不可にするだけでは、この問題は解決しません。) 「ThinkPad 機能設定」プログラムをいったんクローズし、あらためて始動します。(これは一時的な回復です。) |

その他の問題

| 問題 | 原因と処置 |
|---|---|
| ThinkPad がハングアップした、またはどんな入力もまったく受け付けない。 | <ul style="list-style-type: none"> 通信操作をしているときにサスペンド・モードに入ると、ThinkPad がハングアップすることがあります。ネットワークに接続しているときは、サスペンド・タイマーを使用不可にしてください。 OS/2 Warp がインストールされている ThinkPad の電源をオンにする場合は、CD-ROM または DVD-ROM ドライブにディスクが入っていないことを確認します。入っている場合は、そのディスクを取り出し、ボールペンの先などで電源遮断スイッチを押して、ThinkPad の電源をいったんオフにします。電源を再びオンにします。 |

| 問題 | 原因と処置 |
|--|---|
| <p>電源スイッチをオフにしても ThinkPad の電源がオフにならない。</p> | <p>バッテリー電源を使っていて、サスペンド・インジケータがオンになっている場合は、バッテリーをフル充電されたものに交換するか、AC アダプターを接続してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ボールペンの先などで電源遮断スイッチを押してください。</p> |
| <p>ThinkPad をディスクから始動できない。</p> | <p>ThinkPad がディスク・ドライブから始動するように、Easy-Setup の始動順位の設定を確認します(➡ 17ページの『Easy-Setup』)。</p> |

付録A. 製品仕様

ここでは、ThinkPad の機能と仕様について説明します。

機能

プロセッサ

- Intel® モバイル Pentium® III processor

メモリー

- 標準装備：64 MB

ストレージ・デバイス

- 2.5 型のハードディスク・ドライブ

ディスプレイ

TFT テクノロジー使用のカラー・ディスプレイ:

- LCD での最大解像度 1024 x 768
- 外付けモニターでの最大解像度 1280 x 1024
- 輝度調節

キーボード

- 84 キー、85 キー、または 89 キー
- トラックポイント
- **Fn** キー機能

外付けディスク・ドライブ

高品質のディスク (IBM のディスクなど) をご使用になることをお勧めします。

- **2DD 3.5 型ディスク**
 - ANSI (米国規格協会) X3.137
 - ISO (国際標準化機構) 8860
 - ECMA (欧州電子計算機工業会) 100
- **2HD 3.5 型ディスク**
 - ANSI X3.171
 - ISO 9529
 - ECMA 125

外付けインターフェース

- シリアル・コネクタ (EIA-RS232D)
- パラレル・コネクタ (セントロニクス)
- 外付け入力装置コネクタ
- 外付けディスプレイ・コネクタ
- 外付けディスク・ドライブ・コネクタ
- 拡張コネクタ
- PC カード・スロット (タイプ I またはタイプ II の PC カードを 2 枚、またはタイプ III の PC カードを 1 枚使用可能)
- ヘッドホン・ジャック
- ライン入力ジャック
- マイクロホン・ジャック (ダイナミック・マイクロホン、バッテリー電源コンデンサー・マイクロホン、およびエレクトレット・コンデンサー・マイクロホンをサポート)
- 赤外線ポート
- 汎用シリアル・バス (USB) コネクタ
- 電話用コネクタ

仕様

寸法

- 幅: 300 mm
- 奥行き: 240 mm
- 高さ: 36.5 mm

環境

注:
バッテリー・パックを
充電する場合、温度は
最低 10°C なければな
りません。

- 温度 (高度 2,438 m 以下):
 - ディスケットが入っていない場合の動作時: 5° ~ 35°C
 - ディスケットが入っている場合の動作時: 10° ~ 35°C
 - 非動作時: 5° ~ 43°C
- 相対湿度:
 - ドライブにディスクが入っていない場合の動作時:
8% ~ 95%
 - ドライブにディスクが入っている場合の動作時:
8% ~ 80%
- 最大高度動作時: 圧力を受けない状態で 3,048 m
 - 最大温度 (高度 3048 m): 31.3°C

発熱量

- 最大 56 W (1 時間当たり 191 BTU)

電源 (AC アダプター)

- 50 ~ 60 Hz での正弦波入力が必要。
- AC アダプターの定格入力: 100 ~ 240 V AC、50/60 Hz

リチウム・イオン・バッテリー・パック

- 公称電圧: 10.8 V DC
- 容量: 3.2 AH

IBM 電源コード

重要

不適切な電源コードを使用すると、ThinkPad に重大な損害を与えることがあります。

ThinkPad を購入した国または地域の外で、AC アダプターを使用するには、その国または地域で認められている AC 電源コードを使用してください。AC 電源コードは、各国または各地域の IBM 特約店または IBM 営業担当員を通じて購入できます。

注意

MPRII¹ に完全に準拠するためには、アース付きのアダプターが必要です。3 ピンの電源コードを使用する場合 → xiii ページの『安全に正しくお使いいただくために』

¹ MPRII は、低周波無線波規制として解釈できる用語の略語です。

3 ピンの電源コード:

| IBM 電源コード パーツ番号 | 使用されている国または地域 |
|--------------------|--|
| 02K0539 | 中華人民共和国 (香港を除く) |
| 36L8867 | アルゼンチン |
| 76H3514 | オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、パラグアイ、ウルグアイ |
| 76H3516 | アルバ島、バハマ、バーミューダ、ボリビア、ブラジル、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、キュラソー、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、韓国、リベリア共和国、メキシコ、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、スリナム、台湾、タイ、トリニダード (西インド諸島)、アメリカ合衆国、ベネズエラ |
| 76H3518 | オーストリア、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、エジプト、フィンランド、フランス、旧ユーゴスラビア・マケドニア共和国 (FYROM)、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、マカオ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、トルコ、ユーゴスラビア |
| 76H3520 | デンマーク |
| 76H3522 | バングラデシュ、ミャンマー、パキスタン、南アフリカ、スリランカ |
| 76H3524 | アブダビ、アルバニア、アンティグア、バーレーン、ブルネイ、ドバイ、フィジー、香港、インド、アイルランド、ケニア、クウェート、マレーシア、ナイジェリア、オマーン、カタール、シンガポール、英国 |
| 76H3528 | リヒテンシュタイン、スイス |
| 76H3530 | チリ、エチオピア、イタリア、リビア |
| 76H3532 | イスラエル |
| 76H3535 | 韓国 |

付録B. 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

西暦 2000 年対応および説明

以下は、西暦 2000 年対応に関する開示情報です。

製品の西暦 2000 年対応 (Year 2000 Ready) とは、その製品を関連資料にしたがって使用した場合に、20 世紀から 21 世紀にわたる日付データの処理、引き渡し、または受け取りが正しく行われることをいいます。ただし、その製品とともに使用されるすべての製品（たとえば、ハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェア）が正確な日付データをその製品と正しく交換できることが条件となります。

この IBM 製のパーソナル・コンピューターは、西暦 2000 年対応の製品です。ただし、西暦 2000 年になる時に、このコンピューターの電源が立ち上がっている場合、一度電源を落とし、再度立ち上げるか、オペレーティング・システムを再起動してください。これにより、このコンピューターの内部クロックがリセットされます。

なお、お客様が、西暦 2000 年対応でないソフトウェアを使用される場合、または、処理するデータが西暦 2000 年対応でない場合には、この IBM パーソナル・コンピューターは、正しく日付データを処理することはできません。

なお、この製品の西暦 2000 年対応状況についてのご説明は、ハードウェア製品のみにも適用されるものであり、ハードウェアとともに提供されるソフトウェアの対応状況を示すものではありません。IBM は、他社製のソフトウェアの日付処理について責任を負いません。他社製ソフトウェアの日付処理、その制約または更新版については、他社製ソフトウェアの提供元にお問い合わせください。

西暦 2000 年の概要および IBM 製のパーソナル・コンピューターの 2000 年対応状況については、IBM Year 2000 Web サイト (<http://www.ibm.co.jp/ad2000>) でご覧いただくことができます。お客様の西暦 2000 年対応作業をご支援するための情報およびツールが含まれており、情報は必要に応じて更新されます。

商標

以下は、IBM の商標です。

IBM
PS/2
RediSafe

ThinkPad
トラックポイント

Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

ActionMedia、LANDesk、MMX、Pentium、および ProShareは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。(Intel 社の全商標または登録商標は、<http://www.intel.com/tradmarx.htm> を参照してください)

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

Electronic emission notices

Federal Communications Commission (FCC) Statement

ThinkPad 600X, model number 2645 and 2646

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult an IBM authorized dealer or service representative for help.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Proper cables and connectors are available from IBM authorized dealers. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible Party:

International Business Machines Corporation
New Orchard Road
Armonk, NY 10504
Telephone 1-919-543-2193

Industry Canada Class B Emission Compliance Statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

European Community Directive Conformance Statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 89/336/EEC on the approximation of the laws of the Member States relating to electro-magnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

A declaration of Conformity with the requirements of the Directive has been signed by IBM United Kingdom Limited, PO BOX 30 Spango Valley Greenock Scotland PA160AH.

This product satisfies the Class B limits of EN 55022.

Telecommunication notice

Federal Communications Commission (FCC) and telephone company requirements

1. This device complies with Part 68 of the FCC rules. A label is affixed to the device that contains, among other things, the FCC registration number, USOC, and Ringer Equivalency Number (REN) for this equipment. If these numbers are requested, provide this information to your telephone company.

注: If the device is an internal modem, a second FCC registration label is also provided. You may attach the label to the exterior of the computer in which you install the IBM modem, or you may attach the label to the external DAA, if you have one. Place the label in a location that is easily accessible, should you need to provide the label information to the telephone company.

2. The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have those devices ring when your number is called. In most, but not all areas, the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.
3. If the device causes harm to the telephone network, the telephone company may discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance; if advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will be advised of your right to file a complaint with the FCC.
4. Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice to give you an opportunity to maintain uninterrupted service.
5. If you experience trouble with this product, contact your authorized reseller, or call IBM. In the United States, call IBM at **1-800-772-2227**. In Canada, call IBM at **1-800-565-3344**. You may be required to present proof of purchase.

The telephone company may ask you to disconnect the device from the network until the problem has been corrected, or until you are sure the device is not malfunctioning.

6. No customer repairs are possible to the device. If you experience trouble with the device, contact your Authorized Reseller or see the Diagnostics section of this manual for information.
7. This device may not be used on coin service provided by the telephone company. Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission or corporation commission for information.
8. When ordering network interface (NI) service from the local Exchange Carrier, specify service arrangement USOC RJ11C.

Canadian Department of Communications certification label

NOTICE: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets telecommunications network protective, operational and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirements documents. The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.

Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection. The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations. Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines, and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

Caution: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate.

NOTICE: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

Étiquette d'homologation du ministère des Communications du Canada

AVIS : L'étiquette d'Industrie Canada identifie le matériel homologué. Cette étiquette certifie que le matériel est conforme aux normes de protection, d'exploitation et de sécurité des réseaux de télécommunications, comme le prescrivent les documents concernant les exigences techniques relatives au matériel terminal. Le ministère n'assure toutefois pas que le matériel fonctionnera à la satisfaction de l'utilisateur.

Avant d'installer ce matériel, l'utilisateur doit s'assurer qu'il est permis de le raccorder aux installations de l'entreprise locale de télécommunications. Le matériel doit également être installé en suivant une méthode acceptée de raccordement. L'abonné ne doit pas oublier qu'il est possible que la conformité aux conditions énoncées ci-dessus n'empêche pas la dégradation du service dans certaines situations.

Les réparations de matériel homologué doivent être coordonnées par un représentant désigné par le fournisseur. L'entreprise de télécommunications peut demander à l'utilisateur de débrancher un appareil à la suite de réparations ou de modifications effectuées par l'utilisateur ou à cause de mauvais fonctionnement.

Pour sa propre protection, l'utilisateur doit s'assurer que tous les fils de mise à la terre de la source d'énergie électrique, des lignes téléphoniques et des canalisations d'eau métalliques, s'il y en a, sont raccordés ensemble. Cette précaution est particulièrement importante dans les régions rurales.

Avertissement : L'utilisateur ne doit pas tenter de faire ces raccordements lui-même; il doit avoir recours à un service d'inspection des installations électriques ou à un électricien, selon le cas.

AVIS : L'indice d'équivalence de la sonnerie (IES) assigné à chaque dispositif terminal indique le nombre maximal de terminaux qui peuvent être raccordés à une interface. La terminaison d'une interface téléphonique peut consister en une combinaison de quelques dispositifs, à la seule condition que la somme d'indices d'équivalence de la sonnerie de tous les dispositifs n'excède pas 5.

製品の注記要件

次の注意が該当するのは、DVD およびテレビ出力機能を備えた ThinkPad の場合です。

この装置は、米国特許番号 4631603、4577216、4819098、4907093、およびその他の知的
所有権によって保護されています。この装置に組み込まれている Macrovision のコピー・プロ
テクト・テクノロジーの使用には、Macrovision による許可が必要であり、Macrovision の文
書による許可がない限り、自家およびその他の限定有料使用 (1 回の表示ごとに料金を支払う) の
みに限られます。 リバース・エンジニアリングまたは逆アセンブルは禁じられています。

オーストラリアで使用する時の注意

次の注意が該当するのは、電話機能を使用する場合です。

FOR SAFETY REASONS, ONLY CONNECT AUSTEL PERMITTED OR CERTIFIED
EQUIPMENT.

日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

〔ア行〕

安全に正しくお使いいただくために xiii
位置
正面図 2
底面図 4
背面図 4
インジケーター 6
問題 139
ウォーム・アンドドッキング 84
ウォーム・スワップ 92
ウォーム・ドッキング 84
ウルトラスリムベイ 16
ストレージ・デバイスの交換 91
液晶ディスプレイ
問題 138
エラー・コード 125
エラー・メッセージ 125
オーディオの問題 146
オプション
拡張ユニット 80
入力装置、接続 60
ポート・リプリケーター 80
問題 163
PC カード、取り付け 76
オペレーティング・システムの再インストール 32
オンライン・ユーザズ・ガイド、使用 31
音量の変更 14

〔カ行〕

解像度 67

拡大表示、トラックポイント 47
拡張ユニット
ウォーム・アンドドッキング 84
ウォーム・ドッキング 84
コールド・アンドドッキング 84
コールド・ドッキング 81
使用、制限 119
接続 (ドッキング) または切り離し (アンドドッキング) 81
ホット・アンドドッキング 84
ホット・ドッキング 84
問題 154
リソースの競合 86
IDE デバイスの使用 87
カスタマイズ
システム 32
トラックポイント 45
内蔵デバイス 27
仮想画面機能 68
画像の拡大 14
画像の縮小 14
画面
画像の拡大または縮小 14
配色の変更 18
問題 132, 138
キーボード
参照: 外付けキーボード
キーボードの機能
数値キーパッド 15
トラックポイント 9
Fn キー 12
記憶域
デバイスの取り付け 91
容量の増加 56
記憶容量の増加 56
機能設定
セットアップ 18
プログラム 27

記録用紙 41
コールド・アンドドッキング 84
コールド・ドッキング 81

〔サ行〕

サービス体制 40
サウンドのミュート 14
サウンド・ミュート 14
サスペンド・モード
 入る 13
 入る、Windows 98 の場合 117
 問題 134
 CD-ROM ドライブの使用、Windows 95
 の場合 118
 PC カードを使用する場合の制限 76
時刻の設定 21
システム状況インジケター 7
 問題 139
システム設定情報の一時保存 36
システム設定情報の復元 36
始動
 最適化 20
 優先順位の設定 22
始動パスワード 98
 設定 100
 取り外し 103
 変更 103
使用可能 26
 数値キーボード、キーボード上の 15
 デュアル・ディスプレイ機能 72
 トラックポイント 64
 ネットワーク管理 26
 LAN のリモート・オペレーション 26
 Wake on LAN 26
消去
 パスワード 103
省電力モード 117
使用不可
 数値キーボード、キーボード上の 15
 デュアル・ディスプレイ機能 74
 トラックポイント 64

使用方法に関するヒント xix
シリアル・コネクタの問題 164
シンプル・ブート・フラグ機能 20
スーパーバイザー・パスワード 99
 失念 102
 設定 100
 取り外し 105
 変更 105
数値キーボード
 キーボードの設定 15
 参照：外付け数値キーボード
スクロール、トラックポイント 47
スタンバイ・モード
 入る 13
 入る、Windows 98 の場合 117
スペース・セーバー・キーボードの使用 63
制限
 拡張ユニット 119
 サスペンド・モードと PC カード 76
 外付け付けディスプレイの取り外し 67
 外付けマウスとトラックポイント 64
 ディスプレイ・モードの切り替え 120
 デュアル・ディスプレイ機能 75
 トラックポイントと外付けマウス 48, 64
 ハイバネーション・モードと PC カード
 38
 リカバリー CD 34
 PC カード 25, 120
赤外線ポートの問題 145
セキュリティー
 セキュリティー・システム・ロック 113
 ねじ 114
 パーソナライゼーション・エディター
 109
 パスワード 98
セキュリティーねじの使用 114
セットアップ 17
外付けキーボード
 数値キーボードとの併用 62
 設定 62
 問題 133
外付け数値キーボード
 設定 60
 外付けマウスの使用 61

外付けディスク・ドライブ取り付けキット
の使用 96
外付けディスプレイ
解像度 67
設定 65
デュアル・ディスプレイ機能 72
取り外し、制限 67
変更、表示出力先の 66
問題 158
LCD への切り替え 14
外付けマウス
設定 60
外付け数値キーボードの使用 61
トラックポイントと併用する場合の制限
64
問題 133
ソフトウェアの回復 32
ソフトウェアの再インストール 32
ソフトウェアの問題 165
ソフトウェア・セレクション CD 32

〔タ行〕

ディスク・ドライブ 94
取り外し 96
取り付けキットの使用 94
ディスプレイ
出力先の変更 66
デュアル・ディスプレイ機能 72
LCD と外付けディスプレイとの切り替え
14
制限 120
参照：外付けディスプレイ
参照：外付けディスプレイ、LCD
デュアル・ディスプレイ機能 72
考慮事項 75
使用可能 72
使用不可 74
テレビ
接続 69
問題 162
電源コード、パーツ番号 170

電話機能の問題 146
トークンリング操作の設定 25
ドライバー
Web サイトからの入手 37
トラックポイント 9
拡大表示 47
カスタマイズ 45
感度 46
キャップの交換 11
使用可能 64
使用不可 64
スクロール 47
外付けマウスと一緒に使用する場合の制限
48, 64
の使用 10
プレス・セレクト 45
トラックポイントの感度 46
取り外し
メモリー 54
PC カード 79
取り付け
ストレージ・デバイス、ウルトラスリムベ
イ用 91
メモリー 50
PC カード 76

〔ナ行〕

内蔵デバイスのセットアップ 27
入力装置の問題 132
ネットワーク管理の使用可能化 26

〔ハ行〕

パーソナライゼーション・エディター
削除 112
設定 109
ハードディスク
アップグレード 56
内容の回復 34
問題 141
ハードディスクのアップグレード 56
ハードディスク・ドライブ・パスワード 98
失念 102

- ハードディスク・ドライブ・パスワード (続き)
 - 設定 100
 - 取り外し 103
 - 変更 103
 - 配色の変更、画面の 18
 - ハイパネーション・モード
 - 入る 13
 - 入る、Windows 98 の場合 117
 - 問題 134
 - CD-ROM ドライブの使用、Windows 95 の場合 118
 - NTFS フォーマット、Windows NT の場合 118
 - PC カードを使用する場合の制限 38
 - パスワード 98
 - スーパーバイザー権限 107
 - 設定 100
 - 取り外し 103
 - 入力 100
 - プロンプトの表示 100
 - 変更 103
 - 文字、設定 101
 - バックアップ 32
 - バッテリー
 - 交換 38
 - 残量のチェック 13
 - 寿命を長もちさせるには xxii
 - 問題 140
 - パワー・モード
 - 変更 13
 - 汎用シリアル・バス (USB)
 - カメラ、使用可能 118
 - コネクタ、考慮事項 119
 - 問題 149
 - 日付の設定 21
 - ブート
 - 最適化 20
 - 優先順位の設定 22
 - ファンクション・キーと Fn キー 12
 - 復元、システム設定情報の 36
 - プリンターの問題 158
 - プレス・セレクト、トラックポイント 45
 - 抵抗力の調整 46
 - フロッピー・ディスク・ドライブ
 - 参照：ディスク・ドライブ変更
 - 画面の配色 18
 - キャップ、トラックポイント 11
 - パスワード 103
 - date and time 21
 - startup sequence 23
 - ポート・リプリケーターの問題 154
 - ポインター
 - 参照：トラックポイント
 - 保護、データの 36
 - ホット・アンドッキング 84
 - ホット・ドッキング 84
- ## 〔マ行〕
- マイクロホン
 - タイプ 121
 - の使用 121
 - マウス
 - 参照：外付けマウス、トラックポイント
 - マウス・ポインター
 - 参照：トラックポイント
 - マウス・ポインターのドリフト (浮動) 10
 - メモリー 49
 - サイズの計算 53
 - 増加 56
 - 取り外し 54
 - 取り付け 50
 - メモリー・サイズの計算 53
 - モデム、PC カードまたは PCI
 - 問題 149
 - 問題判別
 - インジケーターの問題 139
 - エラー・コード 125
 - エラー・コードが表示されない 132
 - エラー・メッセージ 125
 - オーディオの問題 146
 - 拡張ユニットの問題 154
 - 画面上のメッセージが表示されない 132
 - サスペンド・モードの問題 134

問題判別 (続き)

- 赤外線通信の問題 145
- 外付けディスプレイの問題 158
- その他のオプションの問題 163
- その他の問題 165
- ソフトウェアの問題 165
- テレビの問題 162
- 電話機能の問題 146
- 入力装置の問題 132
- ハードディスク・ドライブの問題 141
- ハイバネーション・モードの問題 134
- バッテリーの問題 140
- 汎用シリアル・バス (USB) の問題 149
- プリンターの問題 158
- ポート・リプリケーターの問題 154
- モデムの問題 149
- CD-ROM ドライブの問題 141
- DVD-ROM ドライブの問題 143
- LCD の問題 138
- PC カードの問題 151

問題判別ガイド 122

〔ラ行〕

- リカバリー CD
 - 制限 34
 - の使用 34
- リソースの競合 86
- リモート・オペレーションの使用可能化 26
- ロック、セキュリティー・システム 113

C

- CardBus カード、2 枚目の設定 121
- CD-ROM ドライブ
 - プロパティの変更、Windows 95 の場合 118
 - 問題 141
- ConfigSafe 36
- CRT
 - 参照：外付けディスプレイ

D

- DIMM
 - 取り外し 54
 - 取り付け 50
- DVD-ROM ドライブの問題 143

E

- Easy-Setup 17
 - パスワード 98
- EDO DRAM 49

F

- Fn キーの組み合わせ 13
- Fn キー・ロック機能 12

L

- LAN リモート・オペレーションの使用可能化 26
- LCD (液晶ディスプレイ)
 - 外付けディスプレイへの切り替え 14

P

- PC カード
 - サポートされる 76
 - 制限 25, 120
 - タイプ 77
 - 停止 79, 120
 - 取り外し 79
 - 取り付け 76
 - 問題 151

R

- RPL の設定 25

S

SDRAM 49

T

「ThinkPad 機能設定」プログラム 27

 ウィンドウ、Windows NT の 29

 ウィンドウ、Windows 98 の 28

ThinkPad のお手入れ xxi

ThinkPad の最新情報 37

ThinkPad の持ち運び xxi

U

USB

 カメラ、使用可能 118

 コネクタ、考慮事項 119

 問題 149

W

Wake on LAN の使用可能化 26

Web サイト 37

 ヘルプ 40